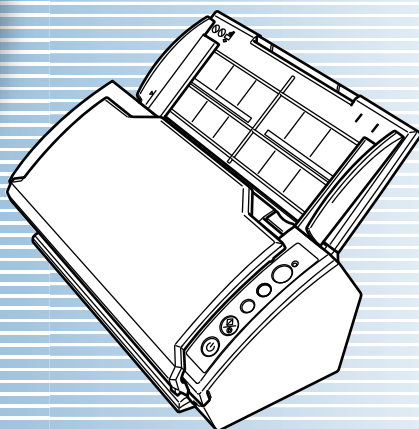


fi-6110

## イメージスキャナ

## オペレーターガイド

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本書では、本製品の基本的な操作および取り扱い方法について説明しています。スキャナの設置、接続、およびソフトウェアのインストールについては、スタートアップガイドを参照してください。



TOP

目次

索引

はじめに

各部の名称と働きおよび基本的な操作について説明しています。

スキャナについて

原稿をスキャナにセットする方法について説明しています。

原稿のセット方法

スキャナドライバの設定項目について説明しています。

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法について説明しています。

操作パネルの操作方法

いろいろな原稿を読み取る方法について説明しています。

いろいろな読み取り方

清掃方法について説明しています。

日常のお手入れ

消耗品の交換について説明しています。

消耗品の交換

トラブルの対処方法など、困ったときの対処方法について説明しています。

困ったときには

Software Operation Panel を使ったスキャナの設定方法について説明しています。

スキャナの動作設定

付録

用語集

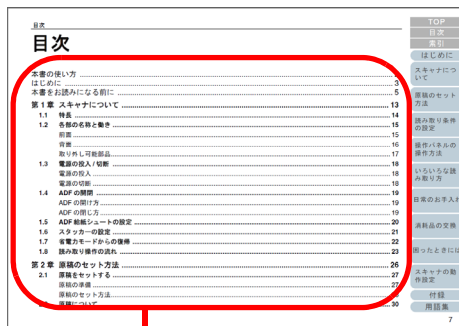
# 本書の使い方

本書の使い方について説明します。  
表紙ページ



TOP : 表紙ページに移動します。  
目次 : 目次ページに移動します。  
索引 : 索引ページに移動します。

## 目次ページ

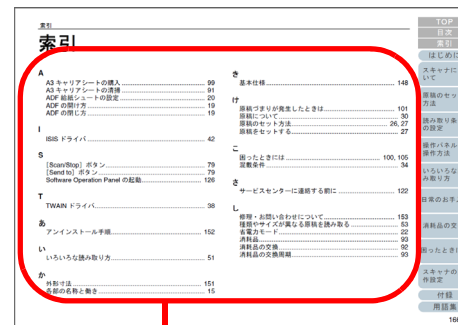


クリックしたタイトルのページに移動します。

各章の  
先頭ページに  
移動します。


本書の使い方  
ページに  
移動します。

## 索引ページ



クリックした索引のページに移動します。

## 共通

- 本書を表示/印刷するには、アドビ システムズ社の Adobe® Acrobat® 7.0 以降、または Adobe® Reader® 7.0 以降が必要です。
- 本文中の青字（マウスがリンク選択時の形状（ など）に変わる箇所）をクリックすると、参照先に移動します。
- 本文中の検索は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® の検索機能が使えます。  
詳細は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® のヘルプを参照してください。
- キーボードを使う場合は、「PageUp」キーで前ページ、「PageDown」キーで次ページに移動します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

# はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 本製品をお使いいただき、誠にありがとうございます。

本書では、ScandAll PRO を使用した読み取り方法について説明しておりますが、本製品に添付されている ScandAll PRO は、今後予告なくバージョンを変更する可能性があります。その際に、本書の説明が実際の画面と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ScandAll PRO については、別マニュアルの「ScandAll PRO ユーザーズガイド」を参照してください。

## 本製品について

両面読み取りが可能な ADF (Automatic Document Feeder) スキャナ部を搭載しています。

## マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
安全上のご注意 (紙)	本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。
スタートアップガイド (紙、PDF)	設置から運用開始までの手順を説明しています。PDF 版は Setup DVD-ROM で提供されています。

マニュアル	内容
オペレーターガイド (本書) (PDF)	基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法などを説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
ScandAll PRO ユーザーズガイド (PDF)	ScandAll PRO を使用した原稿の読み取り方法について説明しています。
TWAIN ドライバ取扱説明書 (PDF)	TWAIN ドライバのインストール手順および操作方法について説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
画像処理ソフトウェアオプションユーザーズガイド (PDF)	画像処理ソフトウェアオプションのインストール手順および操作方法について説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
Error Recovery Guide (HTML ヘルプ)	エラーが発生した場合に、スキャナの状態と対処方法を表示します。また、消耗品の交換方法なども動画で説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
スキャナドライバヘルプ	各スキャナドライバの使い方や設定方法などを説明しています。各スキャナドライバから参照できます。
アプリケーションヘルプ	各アプリケーションの使い方や設定方法などを説明しています。必要に応じてご使用ください。各アプリケーションから参照できます。

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 商標および登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、および SharePoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ISIS は、EMC Corporation の米国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

ABBYY™ FineReader™ Engine © ABBYY. OCR by ABBYY  
ABBYY および FineReader は、いくつかの法域で登録されている場合がある ABBYY Software Ltd. の商標です。

ScanSnap、ScanSnap Manager、および PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5

(横浜アイマークプレイス)

© PFU LIMITED 2010-2014

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

# 本書をお読みになる前に

## 安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

## 本書で使用している記号について

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告表示をしています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。次に、警告レベルの記号とその意味について説明します。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があります。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害だけが発生する可能性があることを示しています。

本書では、警告表示とは別に、説明中に次の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

## 本書の表記について

本文中では製品名を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
Windows® XP Home Edition、 Windows® XP Professional、 Windows® XP Professional x64 Edition	Windows XP	Windows (*1)
Windows Server® 2003, Standard Edition、 Windows Server® 2003, Standard x64 Edition、 Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、 Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	Windows Server 2003	
Windows Vista® Home Basic (32/64 ビット)、 Windows Vista® Home Premium (32/64 ビット)、 Windows Vista® Business (32/64 ビット)、 Windows Vista® Enterprise (32/64 ビット)、 Windows Vista® Ultimate (32/64 ビット)	Windows Vista	
Windows Server® 2008 Standard (32/64 ビット)、 Windows Server® 2008 R2 Standard (64 ビット)	Windows Server 2008	

製品名称	本文中の表記	
Windows® 7 Home Premium (32/64 ビット)、 Windows® 7 Professional (32/64 ビット)、 Windows® 7 Enterprise (32/64 ビット)、 Windows® 7 Ultimate (32/64 ビット)	Windows 7	Windows (*1)
Windows Server® 2012 Standard (64 ビット)、 Windows Server® 2012 R2 Standard (64 ビット)	Windows Server 2012	
Windows® 8 (32/64 ビット)、 Windows® 8 Pro (32/64 ビット)、 Windows® 8 Enterprise (32/64 ビット)	Windows 8	
Windows® 8.1 (32/64 ビット)、 Windows® 8.1 Pro (32/64 ビット)、 Windows® 8.1 Enterprise (32/64 ビット)	Windows 8.1	
Microsoft® Office SharePoint® Portal Server 2003	SharePoint Server	
Microsoft® Office SharePoint® Server 2007		
Microsoft® SharePoint® Server 2010		

\*1: すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

## 連続する操作の表記について

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。

例: 「スキャン」メニュー → 「スキャナの設定」をクリックします。

## 本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。なお、本書に掲載している画面は、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバ、および ScandAll PRO (画像読み取り用アプリケーション) のものです。本書では、Windows Vista の画面を例に説明しています。お使いのオペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、スキャナによっては、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバをアップデートすると、本書で記載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供されるマニュアルを参照してください。

# 目次

本書の使い方 .....	2
はじめに .....	3
本書をお読みになる前に .....	5
<b>第 1 章 スキャナについて .....</b>	<b>14</b>
<b>1.1   </b> 特長 .....	<b>15</b>
<b>1.2   </b> 各部の名称と働き .....	<b>16</b>
前面 .....	16
背面 .....	17
取り外し可能部品 .....	18
<b>1.3   </b> 電源の投入 / 切断 .....	<b>19</b>
電源の投入 .....	19
電源の切断 .....	19
<b>1.4   </b> ADF の開閉 .....	<b>20</b>
ADF の開け方 .....	20
ADF の閉じ方 .....	20
<b>1.5   </b> ADF 給紙シュートの設定 .....	<b>21</b>
<b>1.6   </b> スタッカークの設定 .....	<b>22</b>
<b>1.7   </b> 省電力モードからの復帰 .....	<b>23</b>
<b>1.8   </b> 読み取り操作の流れ .....	<b>24</b>
<b>1.9   </b> 画像読み取り用アプリケーションの紹介 .....	<b>27</b>
<b>第 2 章 原稿のセット方法 .....</b>	<b>28</b>
<b>2.1   </b> 原稿のセット .....	<b>29</b>
原稿の準備 .....	29
原稿のセット方法 .....	30

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

<b>2.2</b>	<b>原稿について</b> .....	<b>32</b>
	原稿のサイズ .....	32
	原稿の紙質 .....	32
	セットできる原稿の枚数 .....	34
	穴をあけてはいけない領域 .....	34
	マルチフィードを正しく検出するための条件 .....	35
	混載条件 .....	36
	A3 キャリアシートを使用する場合の条件 .....	38
<b>第3章</b>	<b>読み取り条件の設定</b> .....	<b>39</b>
<b>3.1</b>	<b>TWAIN ドライバの場合</b> .....	<b>40</b>
	解像度 .....	41
	給紙 .....	41
	用紙サイズ .....	41
	画像タイプ .....	41
	[読取] ボタン .....	41
	[プレビュー] ボタン .....	42
	[閉じる] / [了解] ボタン .....	42
	[リセット] ボタン .....	42
	[ヘルプ] ボタン .....	42
	[バージョン情報] ボタン .....	42
	[オプション] ボタン .....	42
	[詳細] ボタン .....	43
	[管理] ボタン .....	43
	[参照] ボタン .....	43

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナにつ  
いて原稿のセット  
方法読み取り条件  
の設定操作パネルの  
操作方法いろいろな読  
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動  
作設定

付録

用語集



<b>3.2</b>	<b>ISIS ドライバの場合</b> .....	<b>44</b>
	「メイン」タブ .....	45
	「レイアウト」タブ .....	45
	「画像処理」タブ .....	46
	「用紙処理」タブ .....	47
	「ガンマ」タブ .....	47
	「ドロップアウトカラー」タブ .....	48
	「圧縮」タブ .....	48
	「ブランクページスキップ」タブ .....	49
	「バージョン情報」タブ .....	49
<b>第 4 章</b>	<b>操作パネルの操作方法</b> .....	<b>50</b>
<b>4.1</b>	<b>操作パネルについて</b> .....	<b>51</b>
	操作パネルの名称と働き .....	51
	ファンクションナンバーディスプレイの表示内容 .....	52
<b>第 5 章</b>	<b>いろいろな読み取り方</b> .....	<b>53</b>
<b>5.1</b>	<b>読み取り方一覧</b> .....	<b>54</b>
<b>5.2</b>	<b>種類やサイズが異なる原稿の読み取り</b> .....	<b>55</b>
	両面を一度に読み取りたいとき .....	55
	幅の違う原稿を読み取りたいとき .....	56
	A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき .....	57
	写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき .....	60
	長尺帳票を読み取りたいとき .....	63
<b>5.3</b>	<b>読み取り方の変更</b> .....	<b>65</b>
	指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき .....	65
	白紙ページをスキップして読み取りたいとき .....	68
	明るめに画像を読み取りたいとき .....	69

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

<b>5.4</b>	<b>読み取り後の動作や処理の設定</b> .....	<b>71</b>
	原稿の傾きを自動で補正したいとき .....	71
	原稿の向きを自動で補正したいとき .....	73
	原稿を2分割して読み取りたいとき .....	75
	マルチイメージ出力したいとき .....	77
	読み取った原稿の色（カラー/モノクロ）を自動判別したいとき .....	79
<b>5.5</b>	<b>読み取り時のスキャナ動作の変更</b> .....	<b>81</b>
	スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき .....	81
	マルチフィードを検出したいとき .....	83
	決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき .....	85
<b>第6章</b>	<b>日常のお手入れ</b> .....	<b>88</b>
<b>6.1</b>	<b>清掃用品および清掃が必要な場所</b> .....	<b>89</b>
	清掃用品 .....	89
	清掃箇所と清掃頻度 .....	89
<b>6.2</b>	<b>スキャナ外部の清掃</b> .....	<b>90</b>
<b>6.3</b>	<b>スキャナ内部の清掃</b> .....	<b>91</b>
<b>6.4</b>	<b>A3 キャリアシートの清掃</b> .....	<b>93</b>
<b>第7章</b>	<b>消耗品の交換</b> .....	<b>94</b>
<b>7.1</b>	<b>消耗品と交換周期</b> .....	<b>95</b>
<b>7.2</b>	<b>パッドユニットの交換</b> .....	<b>96</b>
<b>7.3</b>	<b>ピックアップユニットの交換</b> .....	<b>97</b>
<b>7.4</b>	<b>A3 キャリアシートの購入</b> .....	<b>101</b>

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

<b>第 8 章 困ったときには</b> .....	<b>102</b>
<b>8.1 原稿づまりが発生したときは</b> .....	<b>103</b>
<b>8.2 操作パネルのエラー表示</b> .....	<b>104</b>
一時的エラー .....	105
装置異常 .....	105
<b>8.3 困ったときには</b> .....	<b>107</b>
電源が入らない .....	108
ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える .....	109
読み取りが開始されない .....	110
白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる .....	111
文字や線の読み取り結果が良くない .....	112
画像がゆがむまたは鮮明ではない .....	113
読み取った画像に縦線が出る .....	114
スキャナに電源が入ったあとで、ファンクションナンバーディスプレイに異常（「E」またはその他の数字や文字） が表示されている .....	115
マルチフィードが頻繁に起こる .....	116
原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる .....	118
原稿づまり / ピックミスが頻繁に起こる .....	119
読み取った画像が間延びする .....	120
読み取った画像の先端または後端に影がある .....	121
原稿に黒い跡が残る .....	122
A3 キャリアシートで読み取ると原稿づまりが頻繁に発生する .....	123
<b>8.4 サービスセンターに連絡する前に</b> .....	<b>124</b>
概要 .....	124
エラーの状況 .....	125
<b>8.5 装置ラベルの確認</b> .....	<b>126</b>
ラベルの位置 .....	126

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナにつ  
いて原稿のセット  
方法読み取り条件  
の設定操作パネルの  
操作方法いろいろな読  
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動  
作設定

付録

用語集

<b>第 9 章 スキャナの動作設定</b> .....	<b>127</b>
<b>9.1 Software Operation Panel の起動</b> .....	<b>128</b>
<b>9.2 Software Operation Panel のパスワード設定</b> .....	<b>129</b>
パスワードの設定.....	129
「閲覧モード」の設定 .....	130
「閲覧モード」の設定解除 .....	131
パスワードの変更.....	132
パスワードの設定解除 .....	133
パスワード紛失時の対応.....	134
<b>9.3 設定できる項目</b> .....	<b>135</b>
装置設定 .....	135
装置設定 2 .....	137
<b>9.4 枚数カウンタに関する設定</b> .....	<b>140</b>
枚数カウンタの確認およびリセット.....	140
消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）.....	142
<b>9.5 読み取りに関する設定</b> .....	<b>143</b>
読み取り開始位置の調整（オフセット設定 / 倍率調整）.....	143
読み取った画像の端にできる影やスジの消去（縁消し（ADF））.....	145
指定した色を除いた読み取りの設定（ドロップアウトカラー）.....	146
給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数）.....	147
<b>9.6 マルチフィード検出に関する設定</b> .....	<b>148</b>
マルチフィード検出方法の設定（マルチフィード）.....	148
マルチフィード検出範囲の指定（マルチフィード原稿チェック領域指定）.....	150
マルチフィード検出しない範囲の設定（インテリジェントマルチフィード設定）.....	153
<b>9.7 待機時間に関する設定</b> .....	<b>154</b>
省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）.....	154
<b>9.8 電源投入 / 切断に関する設定</b> .....	<b>155</b>
電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）.....	155

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付録	156
付 .1 スキャナ基本仕様	157
付 .2 設置諸元	159
付 .3 外形寸法	160
付 .4 スキャナのオプション	161
付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順	163
付 .6 e- 文書法に適合した電子文書の作成	165
修理・お問い合わせについて	167
用語集	170
索引	180

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

# 第1章 スキャナについて

この章では、各部の名称と働きおよび基本的な操作方法について説明します。

1.1 特長 .....	15
1.2 各部の名称と働き .....	16
1.3 電源の投入 / 切断 .....	19
1.4 ADF の開閉 .....	20
1.5 ADF 給紙シュートの設定 .....	21
1.6 スタッカーの設定 .....	22
1.7 省電力モードからの復帰 .....	23
1.8 読み取り操作の流れ .....	24
1.9 画像読み取り用アプリケーションの紹介 .....	27

## 1.1 特長

ここでは、本製品の特長について説明します。  
本製品には、次のような特長があります。

### 毎分 20 枚 /40 面 (JPEG 圧縮時) の読み取り速度を実現

カラー A4 原稿で毎分 20 枚 /40 面 (300dpi) の読み取り速度を実現しました。さらに、一度に 50 枚までの連続読み取りが可能ですので、大量の原稿をスピーディーに電子化できます。

### A4 サイズより大きい原稿の読み取りを実現

添付の A3 キャリアシートを使用すると、A4 サイズより大きい原稿を読み取りできます。

### ファンクションナンバーディスプレイを搭載

エラー状況を表示するファンクションナンバーディスプレイが搭載されています。これにより、スキャナの状態を簡単に確認できます。

### 読み取り前処理を効率化

厚さ・サイズの異なる原稿を一度に読み取る「混載読み取り」ができます。読み取り前の原稿仕分け作業を簡略化できます。

### マルチフィードによる業務ロスを低減

一度に 2 枚以上の原稿が重なって給紙 (マルチフィード) されたことを確実に検出する超音波方式マルチフィードセンサーが搭載されています。厚さ・サイズが異なる原稿を混載読み取りする場合でも、マルチフィードを確実に検出でき、業務ロスを未然に防止できます。

### インテリジェントマルチフィード機能を搭載

原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼り付けてある場合、その貼り付け位置をスキャナに認識させるインテリジェントマルチフィード機能が搭載されています。スキャナに認識させた貼り付け位置部分は、マルチフィードを検出せずに読み取りを継続できます。

### e- 文書法 (\*1) の画質要件を満たす画像を生成

2005 年 4 月に施行された e- 文書法により、紙での保存が義務付けられていた税務関連書類 (申込書、請求書、検収書など) を、電子化して保存できるようになりました。e- 文書法では、府省令により解像度や階調など画質要件が規定されている場合があります。本製品は、府省令に合わせた読み取り設定を行うことにより、e- 文書法の画質要件を満たす画像を生成できます。

### 高度な画像処理機能を搭載

原稿に合わせて自動的にカラー / モノクロの出力を行う自動判別機能が搭載されています。

### スキャナを集中管理

添付のアプリケーション「Scanner Central Admin Agent」を使用することで、複数台のスキャナを集中管理できます。例えば、スキャナの設定情報やドライバをアップデートしたり、スキャナの稼働状況を監視したりできます。  
詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

\*1 : e- 文書法とは、民間事業者などに対してこれまで紙による原本保存が義務付けられていた公的文書や書類について、スキャナなどにより電子化した画像を保存文書として容認するという法律です。正式名称は、「民間事業者等が行う書面保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。各種文書の電子的保存の実施にあたっては各関連省庁の定める一定の条件に基づいて紙文書を電子化し、管理する必要があります。  
これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、この法律の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます (紙による原本保存が不要になります)。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 1.2 各部の名称と働き

スキャナの各部名称について説明します。

### 前面

#### サイドガイド

ADF 給紙シュートにセットした原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。

#### ADF（自動給紙機構）

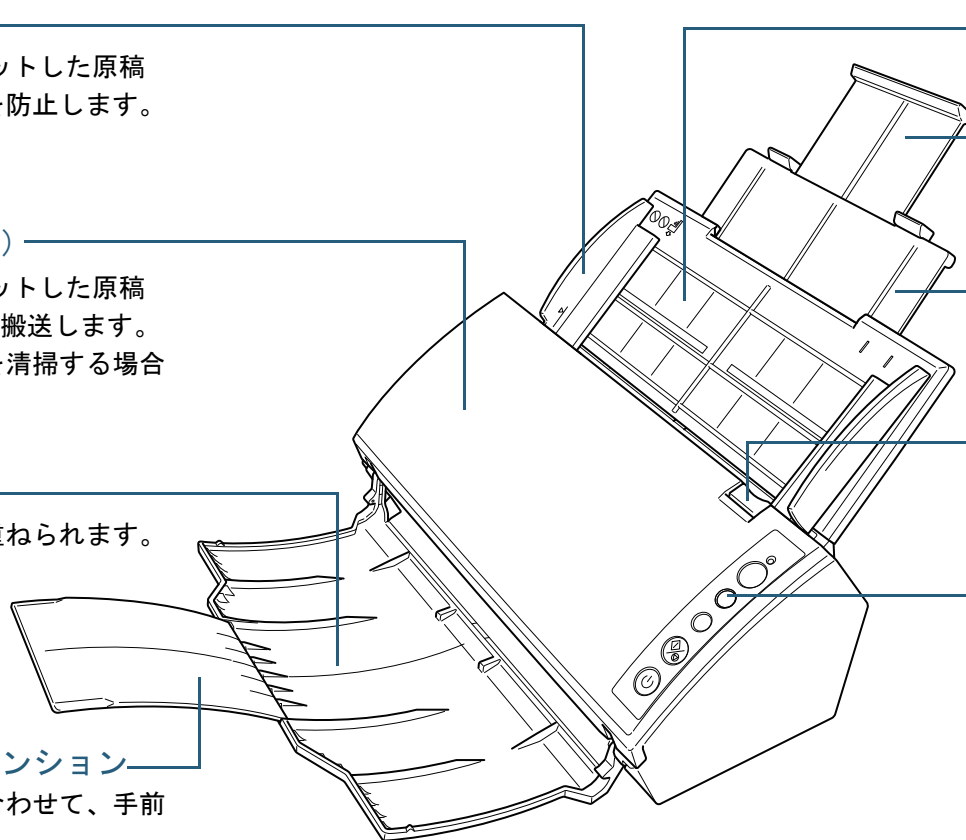
ADF 給紙シュートにセットした原稿を、1枚ずつ引き込んで搬送します。消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開きます。

#### スタッカー

排出された原稿が積み重ねられます。

#### スタッカーエクステンション

読み取る原稿の長さに合わせて、手前に起こして使います。



#### ADF 給紙シュート

読み取る原稿をセットするための台です。

#### シュートエクステンション2

読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

#### シュートエクステンション1

読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

#### ADF オープンレバー

ADF オープンレバーを手前に引くと、ADF が開きます。

#### 操作パネル

ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、Check ランプ（LED）から構成されています。スキャナを操作したり、スキャナの状態を確認したりできます。操作パネルの詳細については、「[第4章 操作パネルの操作方法](#)」（P.50）を参照してください。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

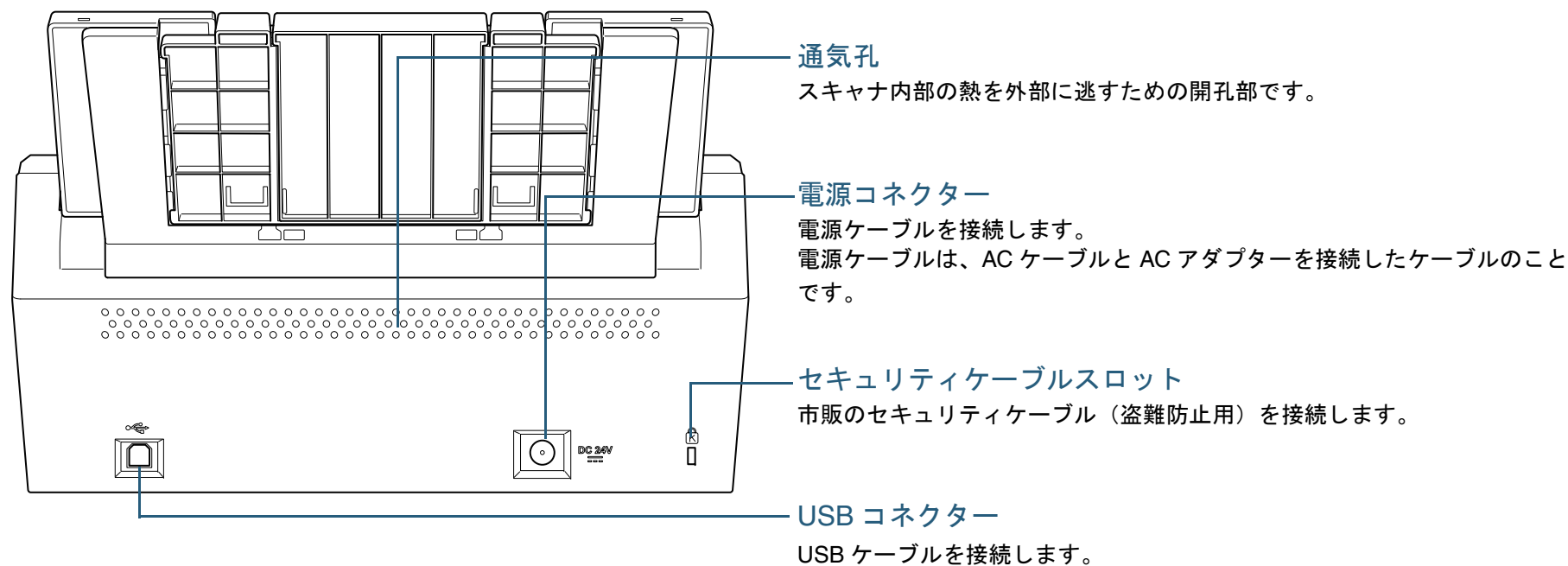
スキャナの動作設定

付録

用語集



## 背面



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

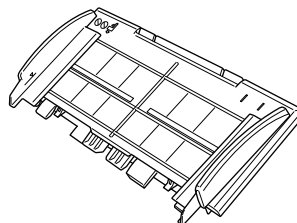
付録

用語集

## 取り外し可能部品

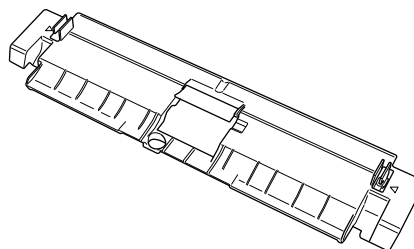
### ADF 給紙シュート

ADF 給紙シュートの取り外し方法は、「7.3 ピックローラユニットの交換」(P.97) を参照してください。



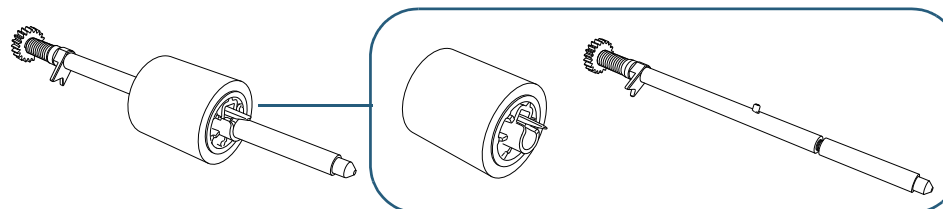
### シートガイド

シートガイドの取り外し方法は、「7.3 ピックローラユニットの交換」(P.97) を参照してください。



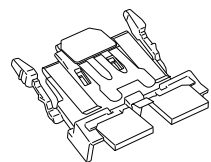
### ピックアップユニット

ピックアップユニットの取り外し方法は、「7.3 ピックローラユニットの交換」(P.97) を参照してください。



### パッドユニット

パッドユニットの取り外し方法は、「7.2 パッドユニットの交換」(P.96) を参照してください。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 1.3 電源の投入 / 切断

電源の投入 / 切断について説明します。



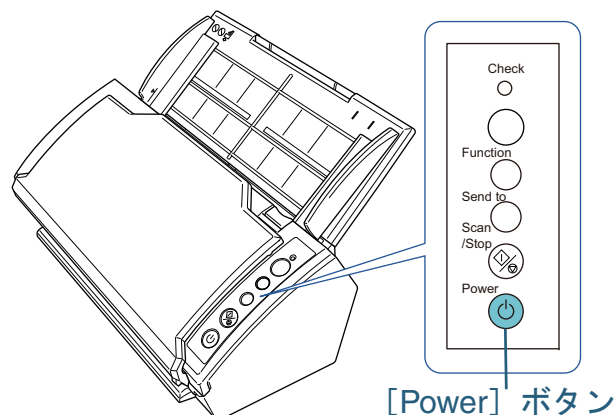
スキャナの電源の投入 / 切断方法を、次のどれかに設定できます。

- スキャナの操作パネルの [Power] ボタンでスキャナの電源を投入 / 切断する
- 電源ケーブルを抜き挿ししてスキャナの電源を投入 / 切断する
- コンピュータの電源の投入 / 切断と連動してスキャナの電源を投入 / 切断する

詳細については、「[電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）](#)」（P.155）を参照してください。

### 電源の投入

- 1 スキャナの操作パネルの [Power] ボタンを押します。



[Power] ボタン

⇒ 電源が投入され、[Power] ボタンが緑色に点灯します。

初期化処理実行中は操作パネルのファンクションナンバーディスプレイが「8」→「P」→「0」→「1」の順に変化します。操作パネルが「1」の状態が、レディ状態です。



[Power] ボタンを押したとき、Check ランプ (LED) が一瞬点灯しますが、初期診断によるものであり、故障ではありません。

### 電源の切断

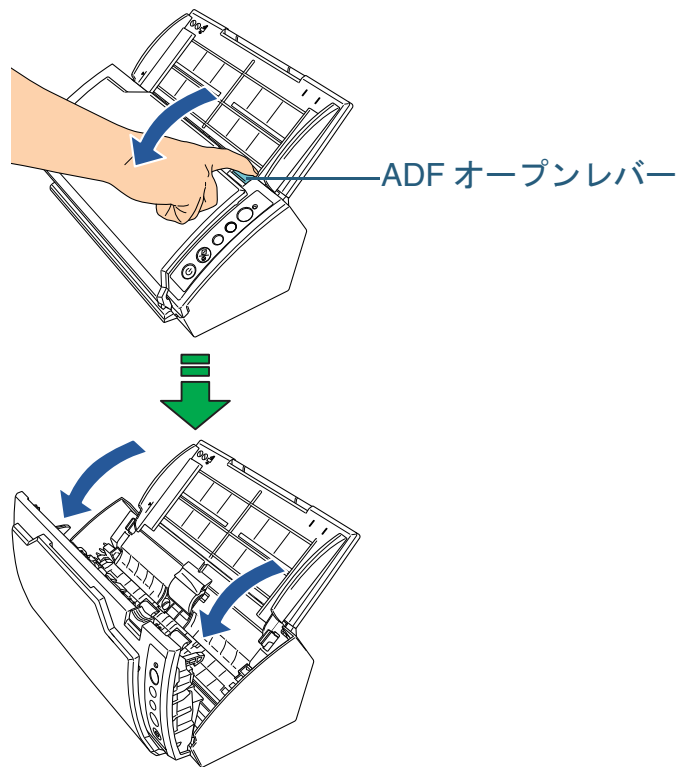
- 1 スキャナの操作パネルの [Power] ボタンを2秒間以上押します。  
⇒ 電源が切断され、[Power] ボタンが消灯します。

## 1.4 ADF の開閉

ADF の開閉について説明します。

### ADF の開け方

- 1 ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF オープンレバーを手前に引いて、ADF を開きます。

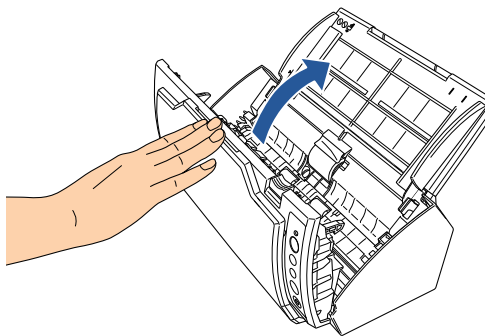


**注意**

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。ご注意ください。

### ADF の閉じ方

- 1 ADF を閉じます。  
「カチン」という音がするまで、ADF の中央を押し込んでください。



- 閉じるときは、異物が ADF 内にはさまれていないこと確認してください。
- 指をはさまないように注意してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

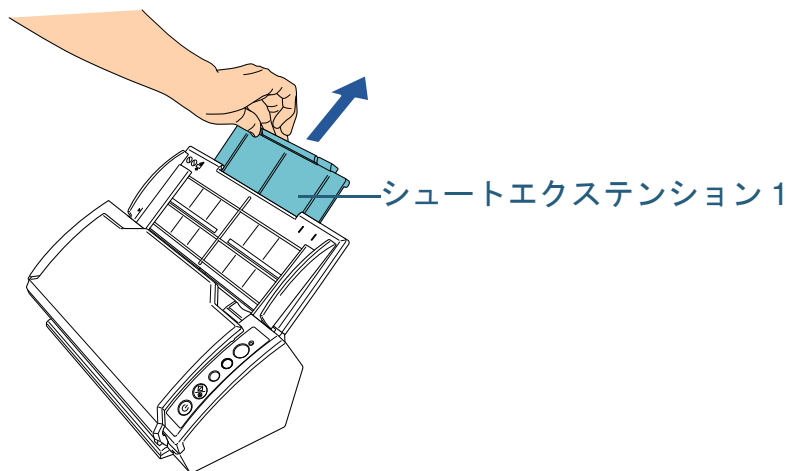
用語集

## 1.5 ADF 給紙シュートの設定

ADF 給紙シュートにセットした原稿は、読み取りすると、順次読み込まれていきます。

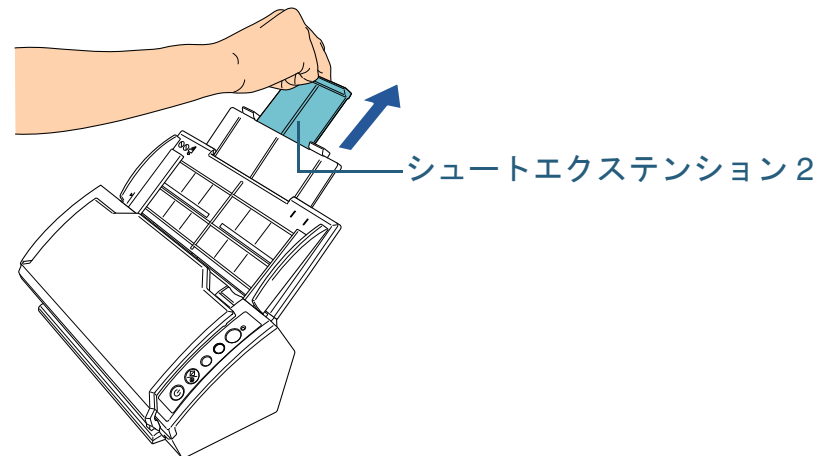
A4 サイズの原稿を読み取る場合などは、次の手順のように、シュートエクステンション1やシュートエクステンション2を使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに読み込めます。

1 シュートエクステンション1を引き上げます。



スキャナを押さえながら、シュートエクステンション1をまっすぐに引き上げるとスムーズに操作できます。

2 シュートエクステンション2を引き上げます。



スキャナを押さえながら、シュートエクステンション2をまっすぐに引き上げるとスムーズに操作できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

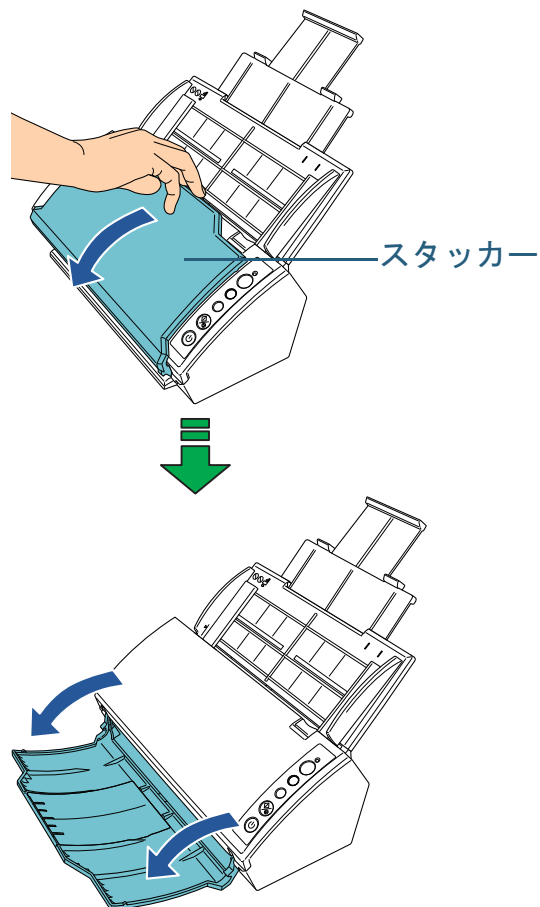
付録

用語集

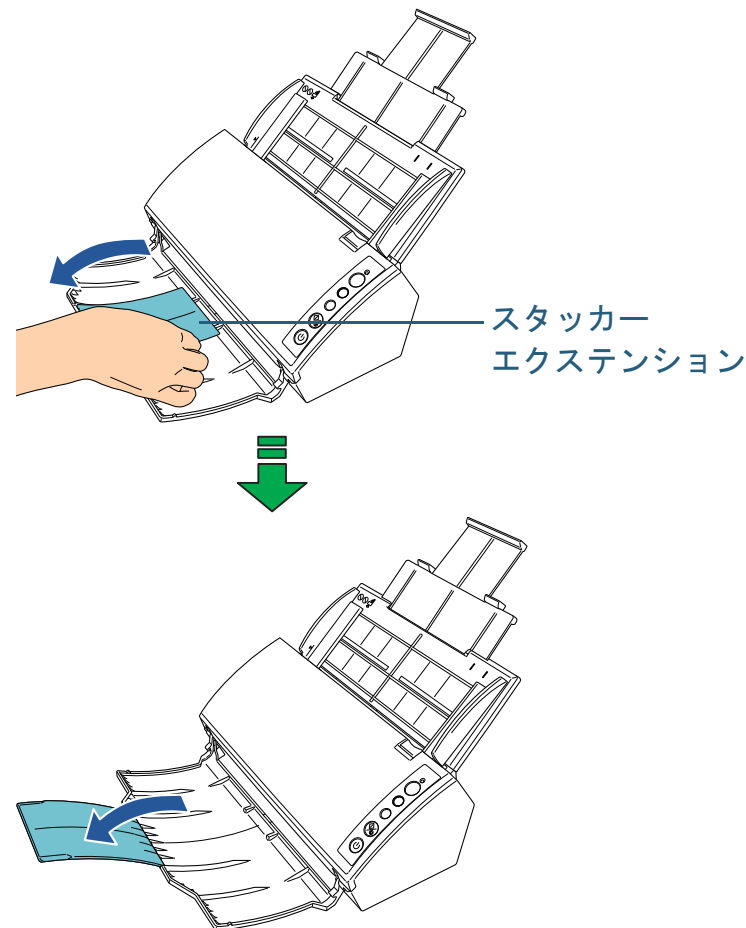
## 1.6 スタッカーの設定

ADF 給紙シュートにセットした原稿は、読み取りすると、順次スタッカーに排出されて積み重ねられていきます。  
A4 サイズの原稿を読み取る場合などは、次の手順のように、スタッカーやスタッカーエクステンションを使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに積み重ねられます。

**1** スタッカーの上部に指をかけて、手前に起こします。



**2** スタッカーエクステンションに指をかけて、手前に起こします。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 1.7 省電力モードからの復帰

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナが一定時間操作されない場合に、消費電力を低い状態に保つことです。スキャナの電源を投入したままで15分以上何も操作しないと、自動的に省電力モードに切り替わります。

省電力モードに切り替わると、操作パネルのファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。[Power] ボタンは緑色に点灯したままです。

省電力モードから復帰するためには、次のどれかの操作を行います。

- ADF 給紙シュートに原稿をセットする。
- 操作パネルのボタンを押す。  
ただし、スキャナの操作パネルの [Power] ボタンは2秒以上押さないでください。
- スキャナドライバから読み取る。

また、スキャナの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動的にスキャナの電源が切断されるように設定できます。

自動的にスキャナの電源が切断されるように設定すると、スキャナが待機中の消費電力を低減できます。

自動的にスキャナの電源が切断されるようにするには、Software Operation Panel の「装置設定」で、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスをチェックしてください。詳細については「[省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）](#)」（P.154）を参照してください。

自動的にスキャナの電源が切断された場合に、再度スキャナの電源を投入するには、スキャナの電源ボタンを押します。

詳細については、「[1.3 電源の投入 / 切断](#)」（P.19）を参照してください。



- 使用するアプリケーションによっては、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスをチェックしても、スキャナの電源が切断されない場合があります。
- 画像読み取り用アプリケーションを使用中にスキャナの電源が自動的に切断された場合は、再度スキャナの電源を投入する前に、一度アプリケーションを終了してください。



省電力モードに切り替わるまでの時間は、Software Operation Panel で変更できます。詳細については、「[省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）](#)」（P.154）を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 1.8 読み取り操作の流れ

スキャナを使って原稿を読み取る操作の流れについて説明します。

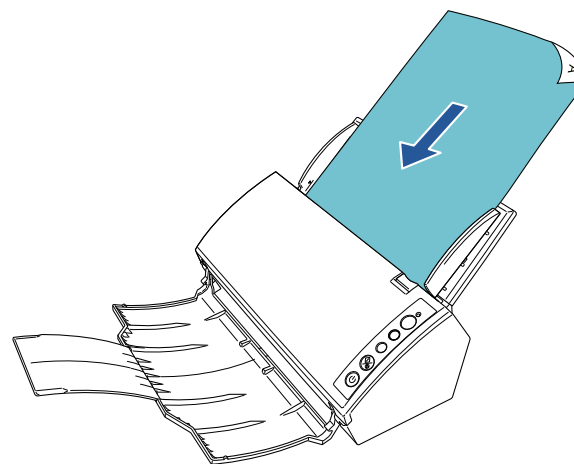
スキャナで原稿を読み取るためには、スキャナドライバと、そのドライバに対応したアプリケーションが必要です。本製品には、TWAIN 規格に準拠した「TWAIN ドライバ」と ISIS 規格に準拠した「ISIS ドライバ」の2種類のドライバと、それぞれに対応したアプリケーション「ScandAll PRO (TWAIN ドライバ/ISIS ドライバ両対応)」が添付されています。



- スキャナドライバの詳細については、次を参照してください。
  - 「第3章 読み取り条件の設定」(P.39)
  - TWAIN ドライバのヘルプ
  - ISIS ドライバのヘルプ
- ドライバに対応したアプリケーション (ScandAll PRO) の詳細については、次を参照してください。
  - ScandAll PRO ユーザーズガイド
  - ScandAll PRO のヘルプ

読み取り操作の流れを次に示します。

- 1 スキャナの電源を投入します。  
電源の投入方法については、「[1.3 電源の投入/切断](#)」(P.19)を参照してください。
- 2 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿の表面(読み取り面)が ADF 給紙シュート側になるように、原稿をセットします。



原稿をセットする方法については、「[第2章 原稿のセット方法](#)」(P.28)を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

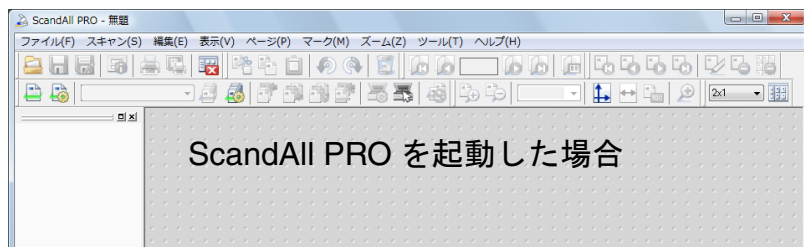
スキャナの動作設定

付録

用語集

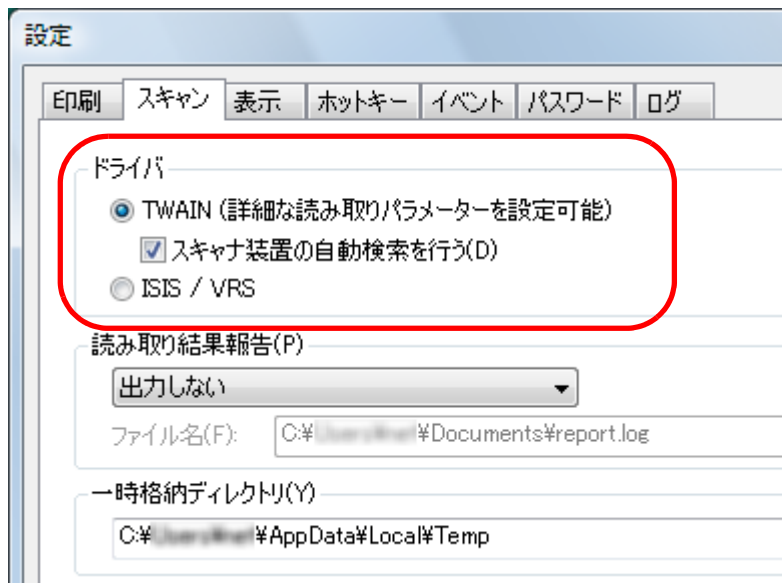


- 3 読み取りに使用するアプリケーションを起動します。  
ここでは、例として ScandAll PRO を使用して説明します。

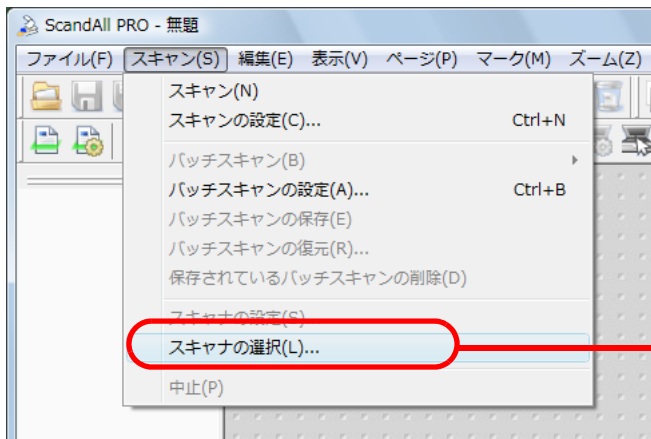


ScandAll PRO の起動方法については、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。

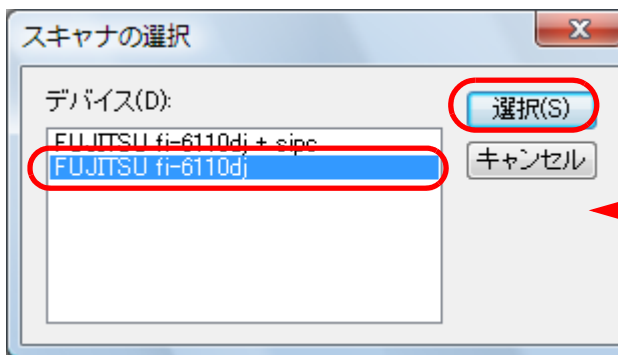
- 4 読み取りに使用するスキャナドライバを指定します。



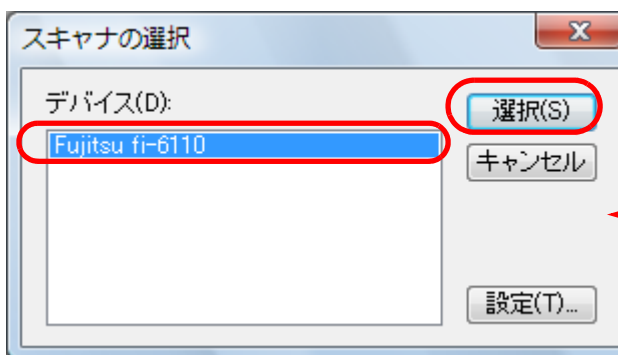
- 5 読み取りに使用するスキャナを指定します。



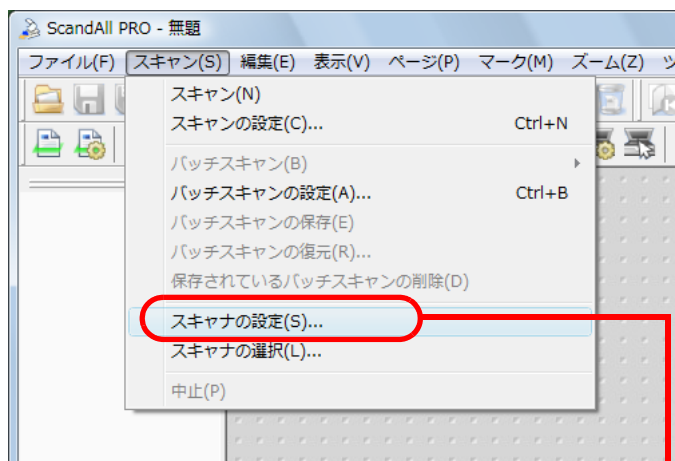
TWAIN ドライバの場合



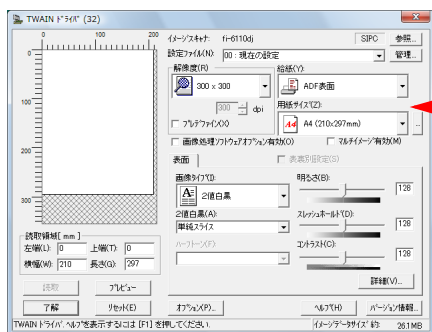
ISIS ドライバの場合



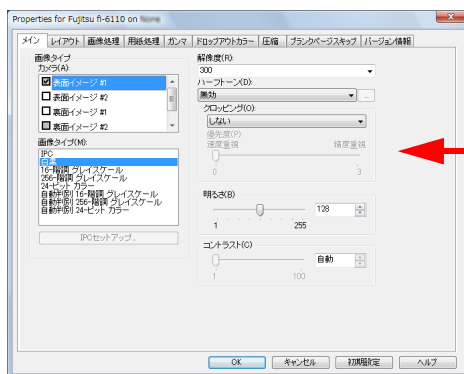
6 アプリケーションから、スキャナドライバを呼び出します。



TWAIN ドライバの場合



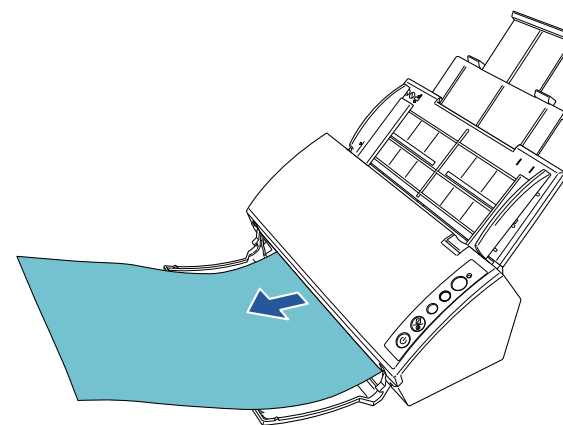
ISIS ドライバの場合



7 スキャナドライバの設定画面で、スキャナの読み取り条件を設定します。

- TWAIN ドライバの場合  
読み取り条件を設定し、[了解] ボタンをクリックします。
- ISIS ドライバの場合  
読み取り条件を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

8 「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。



ScandAll PRO を使用した読み取り方法については、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。

9 読み取った画像をファイルに保存します。



読み取り中などスキャナとコンピュータが通信しているときに、USB ケーブルを抜かないように注意してください。ユーザーログオフなども行わないでください。



使用するアプリケーションによって、手順や操作が若干異なります。ScandAll PRO を使った読み取り方法の詳細については、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。ほかのアプリケーションを使用して読み取る場合は、そのアプリケーションに添付されているマニュアルを参照してください。

## 1.9 画像読み取り用アプリケーションの紹介

画像読み取り用アプリケーションについて紹介します。  
本書では、画像読み取り用アプリケーションとして、  
ScandAll PRO を例に説明しています。

ScandAll PRO は、TWAIN/ISIS 両規格に準拠した画像読み取り用アプリケーションです。スキャナの読み取り処理の設定をプロファイルに定義し、業務内容に応じた読み取り処理を実行できます。

本書の「[第5章 いろいろな読み取り方](#)」(P.53)では、例として ScandAll PRO から TWAIN ドライバを起動してスキャナでいろいろな原稿を読み取る方法を説明しています。ScandAll PRO の詳細については、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

# 第2章 原稿のセット方法

この章では、原稿をスキャナにセットする方法について説明します。

2.1 原稿のセット.....	29
2.2 原稿について.....	32

## 2.1 原稿のセット

原稿をセットする方法について説明します。

### 原稿の準備



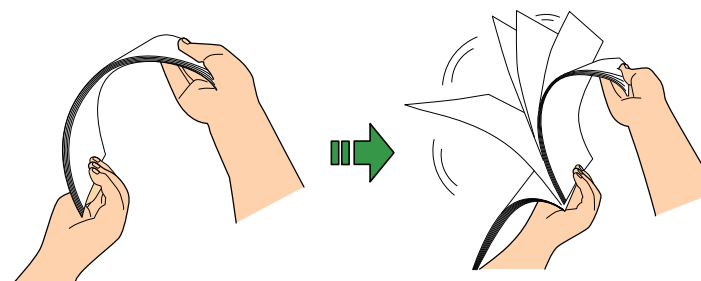
スキャナが正しく動作するために必要な原稿のサイズと原稿の紙質の詳細については、「[2.2 原稿について](#)」(P.32)を参照してください。

#### 1 原稿を確認します。

- 1 セットする原稿の幅がすべて同じか、異なるかを確認します。原稿の幅が同じか異なるかによって、原稿のセット方法が異なります。幅の違う原稿の場合は、「[混載条件](#)」(P.36)および「[幅の違う原稿を読み取りたいとき](#)」(P.56)を参照してください。
- 2 原稿の枚数を確認します。セットできる原稿枚数は50枚までです(厚さ80g/m<sup>2</sup>(69kg/連)の原稿、原稿の総厚みが5mm以下)。詳細については、「[セットできる原稿の枚数](#)」(P.34)を参照してください。

#### 2 原稿をさばきます。

- 1 原稿を5mm以下の厚みで取り出します。
- 2 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2～3回さばきます。



- 3 原稿の向きを90度回転し、同じようにさばきます。
- 4 すべての原稿に対して、手順1～3を行います。
- 5 原稿の端をそろえます。



原稿のさばきかたの詳細については、Error Recovery Guideを参照してください。Error Recovery Guideは、Setup DVD-ROMに収録されています。インストール方法については、スタートアップガイドの「ソフトウェアをインストールします」を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

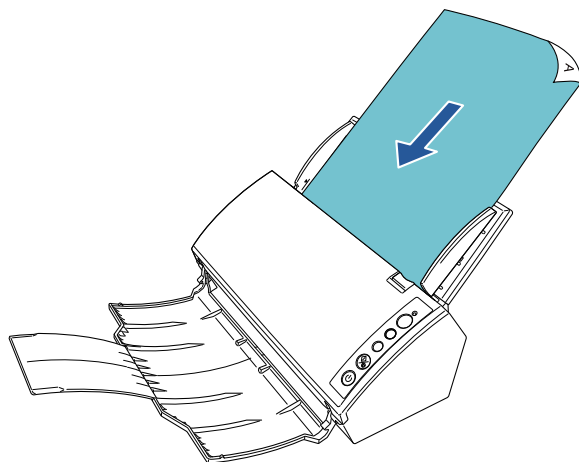
付録

用語集

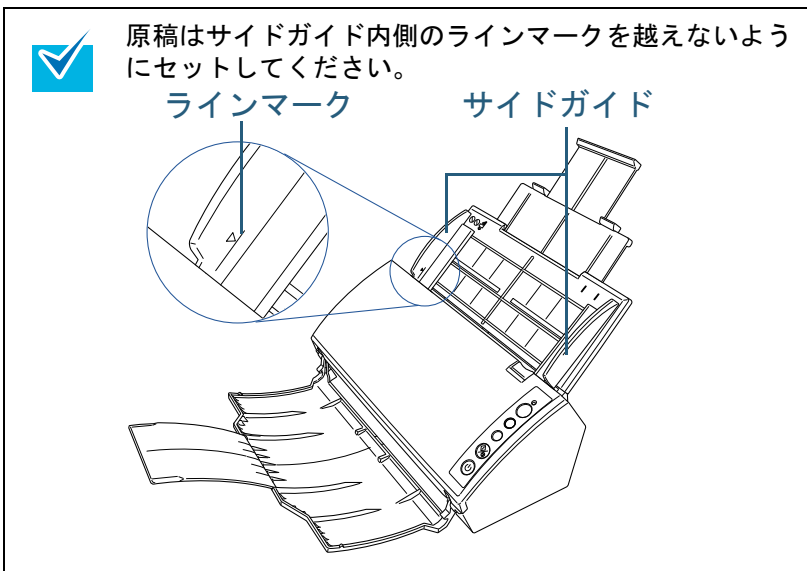
## 原稿のセット方法

**1** 原稿の長さに合わせて、シュートエクステンション1やシュートエクステンション2を引き上げます。  
詳細については、「1.5 ADF 給紙シュートの設定」(P.21)を参照してください。

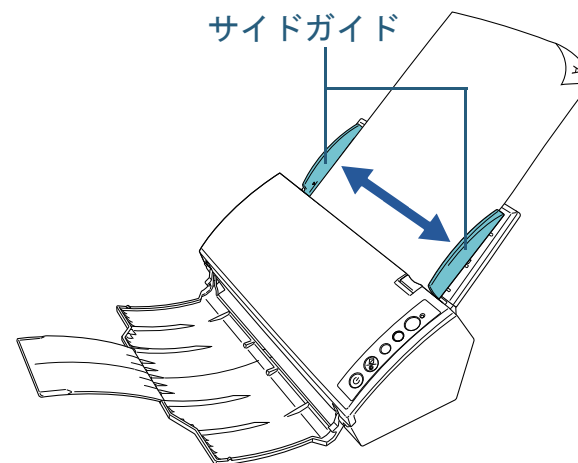
**2** ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿の表面(読み取り面)が ADF 給紙シュート側になるように、原稿をセットします。



クリップ、ステープルは取り除いてください。マルチフィードやピックアップが発生する場合は、原稿の分量を減らしてください。



**3** 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。  
サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。  
サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。



- 4 原稿の長さに合わせて、スタッカーやスタッカーエクステンションを手前に起こします。  
詳細については、「[1.6 スタッカーの設定](#)」(P.22)を参照してください。
- 5 スキャナを使用できるアプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。  
ScandAll PRO からの読み取り手順については、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

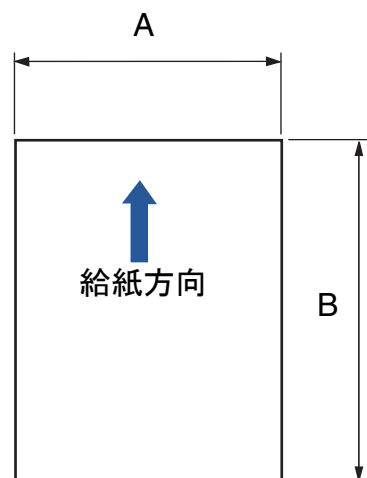
付録

用語集

## 2.2 原稿について

### 原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズを次に示します。



A : 52 ~ 216mm (2.1 ~ 8.5 インチ)

B : 74 ~ 355.6mm (2.9 ~ 14.0 インチ) (\*1)

\*1 : 長尺帳票読み取り時は、給紙方向 (長さ方向) 最大 3048mm (120 インチ) まで読み取り可能です。

### 原稿の紙質

#### 原稿の種類

推奨される原稿の種類は次のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙
- PPC 用紙 (再生紙)

上記以外の種類の原稿を読み取る場合には、読み取り操作を実行する前に、読み取りできるかどうかを同質の原稿で確認してください。

#### 原稿の紙厚

使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

52 ~ 127g/m<sup>2</sup> (45 ~ 110kg/ 連)

ただし、A8 サイズは 127g/m<sup>2</sup> (110kg/ 連) だけです。

#### 事前の注意

次の原稿はうまく読み取れない場合があります。

- 紙厚が一定していない原稿 (封筒、写真を貼り付けた原稿など)
- しわが寄っているまたはカールしている原稿
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- 感光紙
- 端にミシン目のある原稿
- 四角形ではない原稿
- 非常に薄い原稿
- 写真 (印画紙)

また、次の原稿は読み取らないでください。

- クリップまたはステープルが付いた原稿



## 第2章 原稿のセット方法

- インクが乾いていない原稿
- A8 サイズより小さい原稿
- 幅が 216mm (8.5 インチ) より大きい原稿
- 紙以外のもの：布、金属箔、OHP フィルムなど
- 証書や金券など、媒体が傷ついたりよごれたりしてはならない重要書類



- ノーカーボン紙は、パッドユニットやローラー類（ピックアップローラーユニットなど）を損なうような化学物質を含んでいますので、次のことに注意してください。

**清掃** : 原稿づまりが頻繁に起きるときは、パッドユニットとピックアップユニットを清掃してください。  
清掃方法については、「第6章 日常のお手入れ」(P.88)を参照してください。

**部品の交換** : パッドユニットとピックアップユニットの寿命は、中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。

- 中質紙の原稿を読み取った場合、パッドユニットとピックアップユニットの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。
- 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取る際にパッドユニットやピックアップユニットに接触すると、パッドユニットやピックアップユニットが傷つく可能性があります。
- 写真などの光沢紙を読み取った場合、原稿の表面に傷がつく可能性があります。



- 半透明の原稿を読み取るときは、裏写りを防止するために「明るさ」を明るめに設定してください。
- 鉛筆書きの原稿を読み取る際は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、できる限り頻繁にローラーを清掃してください。ローラー類のよごれ、原稿送り不良の原因となります。  
清掃方法については、「第6章 日常のお手入れ」(P.88)を参照してください。
- マルチフィード、ピックアップミス、原稿づまりが頻繁に発生する場合は、「8.3 困ったときには」(P.107)を参照してください。
- すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカールは次の数値を満たしている必要があります。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

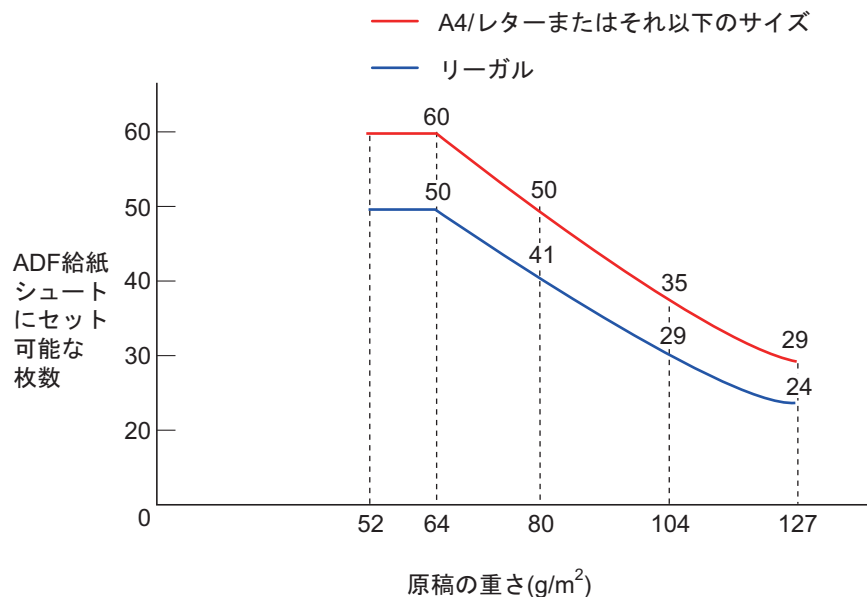
スキャナの動作設定

付録

用語集

## セットできる原稿の枚数

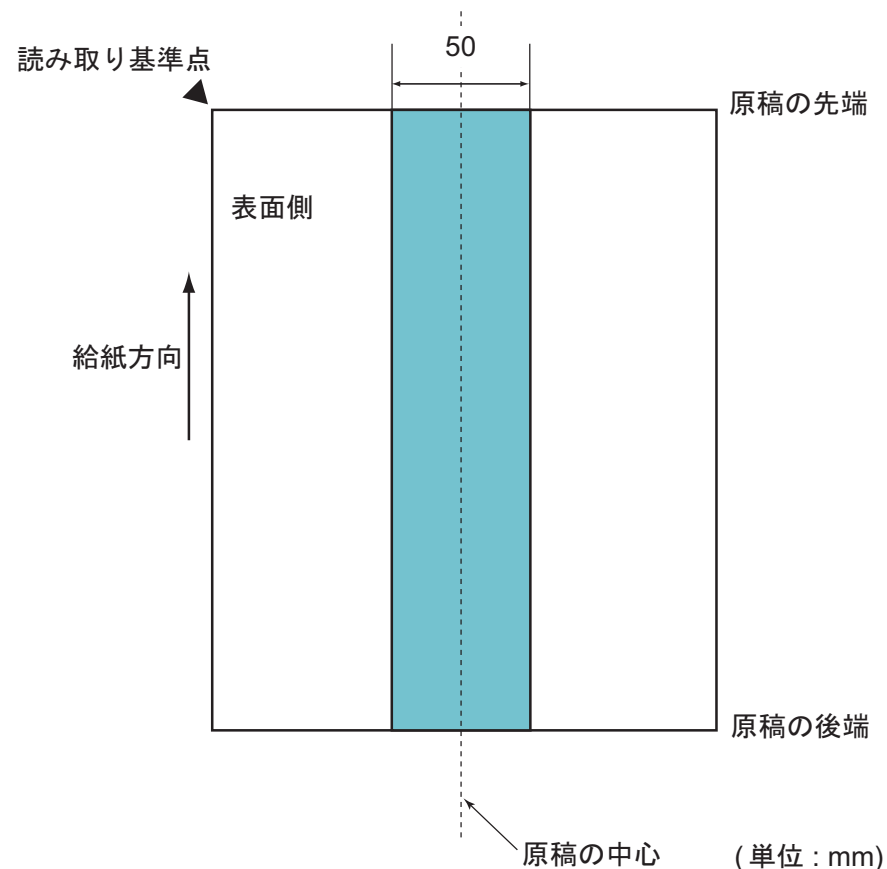
ADF 給紙シュートにセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと厚さで決まります。次のグラフを参照してください。



厚さの単位	変換表						
g/m <sup>2</sup> (坪量)	52	64	75	80	90	104	127
lb	14	17	20	21	24	28	34
kg (連量)	45	55	64.5	69	77.5	90	110

## 穴をあけてはいけない領域

次の図にある水色の領域に穴があるとエラーの原因になることがあります。



この条件は、原稿がピックアップユニット幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。



原稿の中央 50mm の領域については、原稿セット位置を左右にずらすことによって回避できます。

## マルチフィードを正しく検出するための条件

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。

マルチフィード検出は原稿の重なり、原稿の長さ、またはこれらを組み合わせてチェックします。検出を正しく行うには、次に示す条件が必要です。

### 原稿の重なりを検出する場合

- ADF 給紙シュートにセットして一度に読み取る原稿の厚さは同じものを使用してください。
- 原稿の厚さ：52～127g/m<sup>2</sup>（45～110kg/連）（0.065～0.15mm）
- 原稿の中央線をはさむ50mmの領域に、穴をあけないでください。図1を参照してください。
- 原稿の中央線をはさむ50mmの領域に、のりなどでほかの原稿を貼り付けしないでください。図1を参照してください。

### 原稿の長さを検出する場合

- ADF 給紙シュートにセットして一度に読み取る原稿の長さは同じものを使用してください。
- 原稿の長さのばらつき：1% またはそれ以下
- 原稿の中心線をはさむ50mmの領域に、穴をあけないでください。図1を参照してください。

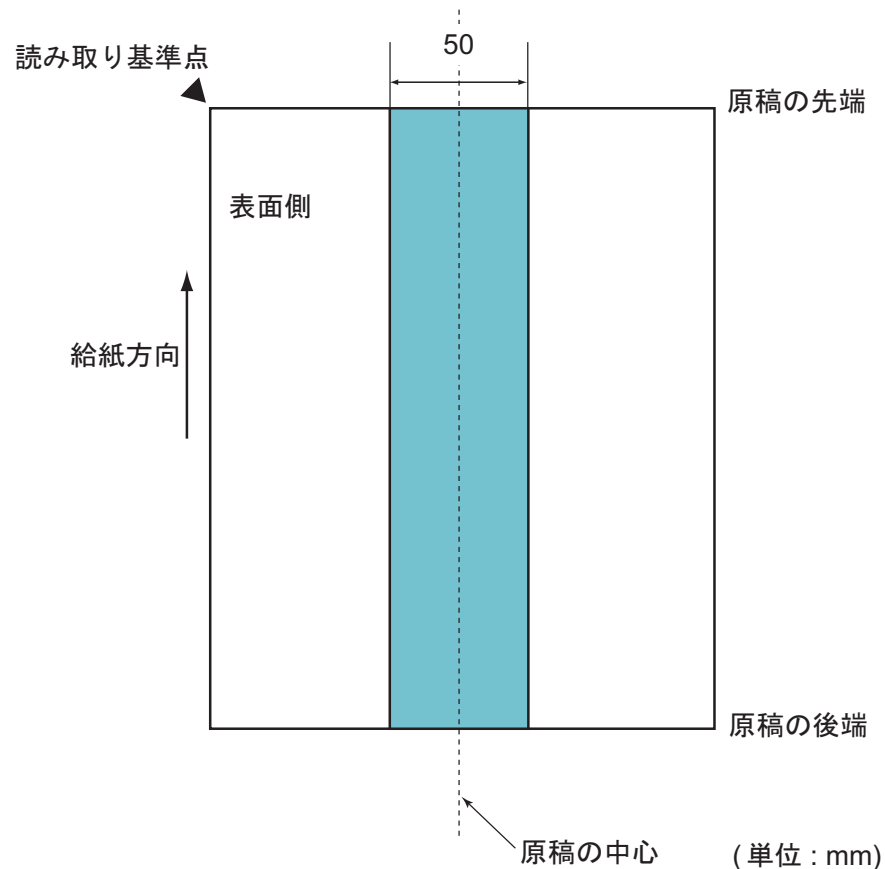
### 原稿の重なりと長さの両方を検出する場合

- ADF 給紙シュートにセットして一度に読み取る原稿の厚さおよび長さは同じものを使用してください。
- 原稿の厚さ：52～127g/m<sup>2</sup>（45～110kg/連）（0.065～0.15mm）
- 原稿の長さのばらつき：1% またはそれ以下
- 原稿の中心線をはさむ50mmの領域に、穴をあけないでください。図1を参照してください。
- 原稿の中心線をはさむ50mmの領域に、のりなどでほかの原稿を貼り付けしないでください。図1を参照してください。



この条件は、原稿がピックアップユニット幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。

図1



- 原稿によっては、マルチフィードの検出率が低下する場合があります。原稿の先端から約30mmは、マルチフィードを検出できません。
- 図1の領域でマルチフィードを検出しない長さ（給紙方向の長さ）を Software Operation Panel で設定できます。詳細については、「[9.6 マルチフィード検出に関する設定](#)」(P.148) を参照してください。

## 混載条件

厚み / 摩擦係数 / サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、次の制限があります。混載して読み取る場合は、必ず、事前に搬送性能の確認を行ってください。

読み取り方法については、「幅の違う原稿を読み取りたいとき」(P.56)を参照してください。

### 原稿の向き

原稿のスキ目方向（紙の繊維の並んだ方向）を、搬送方向に合わせてください。

### 原稿の紙厚

厚さの異なる原稿を混載する場合、使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

52 ~ 127g/m<sup>2</sup> (45 ~ 110kg/連)

### 原稿の摩擦係数

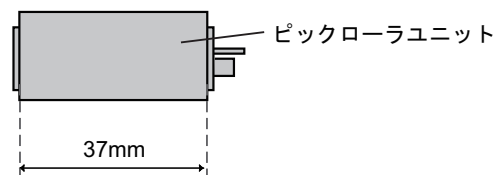
原稿に使う用紙は、同一メーカーの同一銘柄のものをお勧めします。いろいろな用紙メーカー / 銘柄が混載されると、摩擦係数の差が大きくなり、搬送性能に影響をおよぼす場合があります。

推奨摩擦係数は次のとおりです。

0.35 ~ 0.60 (紙間摩擦係数参考値)

### 原稿のセット位置条件

中央約 37mm のピックアップユニット幅にすべての原稿がかかるサイズの組み合わせで使用してください。



## 原稿のサイズ

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、原稿が傾いて搬送されると、スキューによる画像欠けや原稿づまりなどが発生することがあります。

事前に十分確認し、大きくスキューしたときには画像を確認することをお勧めします。



- 異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、すべての原稿に対して、サイドガイドが機能しないので、スキューしやすくなります。
- 「長さの違いを検出」および「重なりと長さの違いを検出」によるマルチフィード検出を使用しないでください。

## 混載できない原稿

次の原稿は混載して読み取れません。

- ノーカーボン紙
- ボンド紙
- 端にミシン目のある原稿
- 感熱紙
- 裏カーボン紙
- OHP 紙
- トレーシングペーパー
- A3 キャリアシート

### 定型サイズの混載での組み合わせ例

サイズの異なる原稿を混載する場合は、次の範囲が混載可能な組み合わせの目安となります。

ただし、原稿が傾いて搬送されると、スキューによる画像欠けや原稿づまりなどが発生することがあります。

事前に十分確認し、大きくスキューしたときには画像を確認することをお勧めします。

最大原稿サイズ		LTR	A4	B5	A5	B6	A6	B7	A7	B8	A8
	幅 (mm)	216	210	182	149	129	105	91	74.3	64.3	52.5
最小原稿サイズ	LTR	216									
	A4	210									
	B5	182	混載可能範囲								
	A5	149									
	B6	129									
	A6	105									
	B7	91									
	A7	74.3									
	B8	64.3									
	A8	52.5									

LTR：レターサイズ



B8 サイズ、A8 サイズは混載できません。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## A3 キャリアシートを使用する場合の条件

### ■原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズを次に示します。

- A3 キャリアシートサイズ (216 × 297mm)
- A3 (297 × 420mm) (\*1)
- A4 (210 × 297mm)
- A5 (148 × 210mm)
- A6 (105 × 148mm)
- B4 (257 × 364mm) (\*1)
- B5 (182 × 257mm)
- B6 (128 × 182mm)
- はがき (100 × 148mm)
- 名刺 (91 × 55mm、55 × 91mm)
- レター (8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)
- ダブルレター (11 × 17 インチ、279.4 × 431.8mm) (\*1)
- 写真E版 (83 × 117mm、117 × 83mm)
- 写真L版 (89 × 127mm、127 × 89mm)
- 写真LL版 (127 × 178mm、178 × 127mm)
- カスタムサイズ  
幅 : 25.4 ~ 216mm (1 ~ 8.5 インチ)  
長さ : 25.4 ~ 297mm (1 ~ 11.69 インチ)

\*1 : 2つ折りにして読み取ります。

### ■原稿の紙質

#### 原稿の種類

推奨される原稿の種類は次のとおりです。  
一般的なオフィス用紙

#### 原稿の紙厚

使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。  
63.5g/m<sup>2</sup> まで (55kg/ 連まで)

### 事前の注意

次のことに注意してください。

- A3 キャリアシートは同時に最大3枚までセットできます。
- A3 キャリアシートで「見開き」読み取りをするときに、高解像度で読み取ると、使用するアプリケーションによっては、メモリが不足して読み取りができない場合があります。このような場合は解像度を下げて読み取ってください。
- A3 キャリアシート先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、汚したり、切り取ったりしないでください。A3 キャリアシートが正しく認識できなくなります。
- A3 キャリアシートを逆向きにして、スキャナにセットしないでください。原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートおよびA3 キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。
- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。印刷がA3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。また、高温環境下でA3 キャリアシートを使用しないでください。A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損したA3 キャリアシートは使用しないでください。スキャナが破損、または故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。指を切るおそれがあります。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC用紙(再生紙)を50枚ほど連続給紙したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。PPC用紙(再生紙)は、印刷済みのものでも無地のものでもかまいません。
- A3 キャリアシートに小型原稿(写真・はがきなど)を複数枚並べて読み取ると、原稿づまりが発生する可能性があります。A3 キャリアシートには、1枚ずつ原稿をセットして読み取することを推奨します。

# 第3章 読み取り条件の設定

この章では、スキャナドライバの設定項目について説明します。

3.1 TWAIN ドライバの場合 .....	40
3.2 ISIS ドライバの場合 .....	44

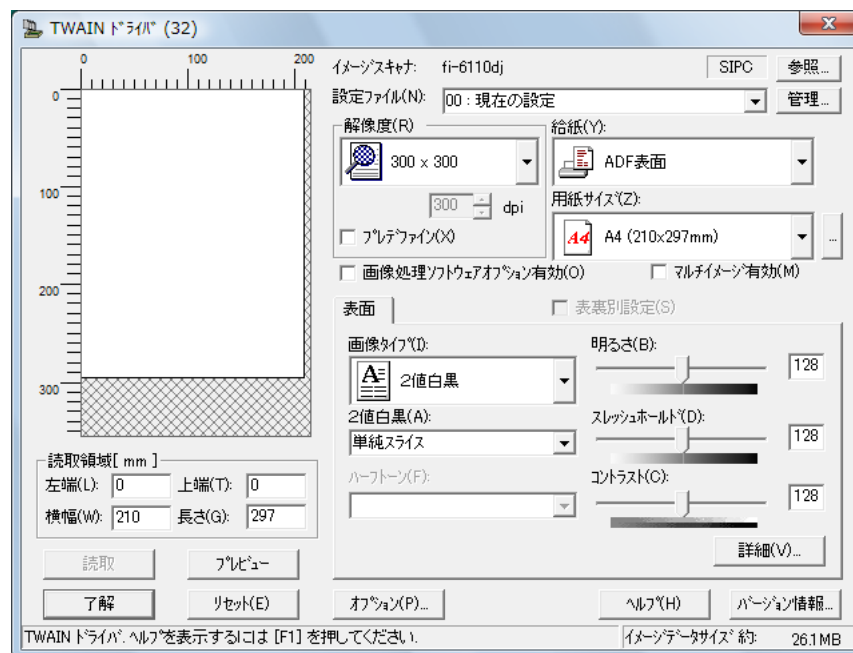
## 3.1 TWAIN ドライバの場合

TWAIN ドライバは、TWAIN 規格に準拠したドライバです。TWAIN 規格に対応したアプリケーションを使用して、スキャナから読み取りできます。

通常、スキャナの読み取りに関する設定は、アプリケーションからスキャナドライバを呼び出して、スキャナドライバの設定画面から行います（アプリケーションの設定によっては、この設定画面を表示しない場合もあります）。



スキャナドライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。詳しくは、ご使用のアプリケーションのマニュアルまたはヘルプを参照してください。



TWAIN ドライバの設定は、この画面で行います。次に、代表的な設定項目について説明します。詳細については、TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集



## 解像度

原稿を読み取る際の解像度を指定します。  
 定型（リストから選択）およびカスタム指定（50～600dpiの範囲で、1dpi刻みで任意の解像度を指定）ができます。  
 また、「プレデファイン」をチェックすると、事前に設定された、「スーパーファイン」、「ファイン」、「ノーマル」の3つの解像度設定によって、簡単に読み取りできます。  
 プレデファインの設定は、[...] ボタンでお好みの設定に変更することもできます。

## 給紙

原稿の読み取り面を設定します。  
 設定できる読み取り面は、次のとおりです。

- ADF 表面
- ADF 両面
- 長尺帳票表面
- 長尺帳票両面
- ADF 裏面
- 見開き
- 切り出し表面
- 切り出し両面

## 用紙サイズ

読み取る原稿のサイズを、表示されるリストの中から指定します。  
 [...] ボタンで、任意の原稿サイズを、最大3つまでカスタム設定として登録できます。  
 また、表示されるリスト内の項目の並び順を変更することもできます。

## 画像タイプ

読み取った画像のタイプを指定します。

項目	説明
2値白黒	白と黒の2階調で読み取ります。
ハーフトーン	白と黒の2階調で中間調処理を行って読み取ります。
グレースケール	読み取った画像を白黒の明暗で階調表示します。256階調および4ビット（16階調）のどちらかを選びます。
カラー	カラーで読み取ります。24ビット、256色、8色のどれかから選びます。

## [読取] ボタン

現在の設定で、読み取りを開始します。

## [プレビュー] ボタン

読み取り結果を事前に確認できます。  
現在の設定で試し読みを行い、プレビューウィンドウに表示  
します。

## [閉じる] / [了解] ボタン

現在の設定を保存して、画面を閉じます。

## [リセット] ボタン

変更した設定項目を元に戻します。

## [ヘルプ] ボタン

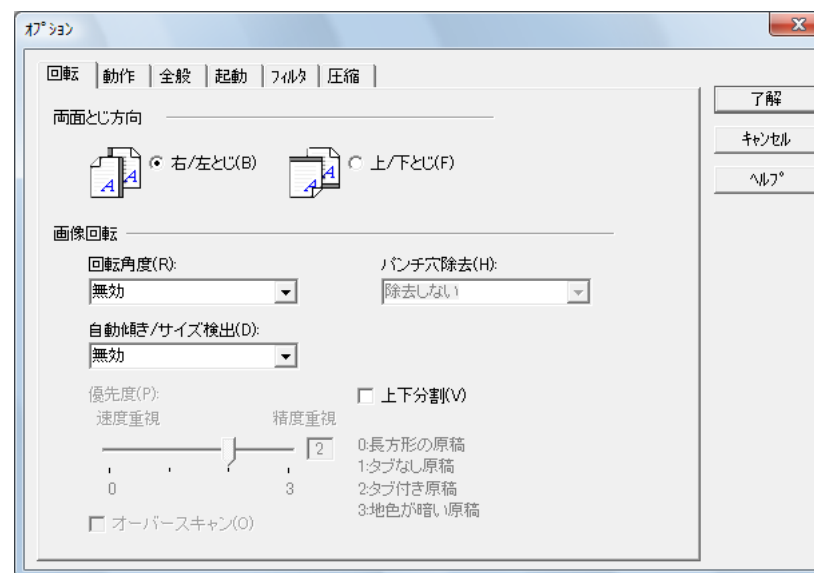
TWAIN ドライバのヘルプを表示します。「F1」キーでも表示  
できます。

## [バージョン情報] ボタン

TWAIN ドライバのバージョン情報を表示します。

## [オプション] ボタン

次の画面で、オプション機能を設定します。



- 「回転」タブ  
両面原稿のとじ方向、画像の回転、原稿の傾き補正、原稿サイズ検  
出、後端検出、オーバースキャン、および上下分割などを設定しま  
す。
- 「動作」タブ  
キャッシュ、マルチフィード検出、およびブランクページスキップ  
などを設定します。
- 「全般」タブ  
「TWAIN ドライバ (32)」画面に表示される単位を設定します。  
インチ (inch)、ミリ (mm)、またはピクセル (pixel) の中から選択  
します。
- 「起動」タブ  
スキャナ上の操作パネルに関する設定を行います。

### ●「フィルタ」タブ

画像処理フィルターの設定を行います。

項目	説明
デジタルエンコーサ	読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加します。
縁消し	読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶします。

### ●「圧縮」タブ

JPEG 転送時の圧縮率を設定します。

## [詳細] ボタン

画像処理に関するさらに詳細な設定を行います。  
ガンマ補正、ドロップアウトカラー、白黒反転、輪郭処理などの設定が可能です。

## [管理] ボタン

設定ファイルの管理を行います。  
「TWAIN ドライバ (32)」画面で設定した内容を、「設定ファイル」に保存しておくことによって、簡単に読み取り設定を変更できます。

## [参照] ボタン

接続スキャナ一覧を表示します。

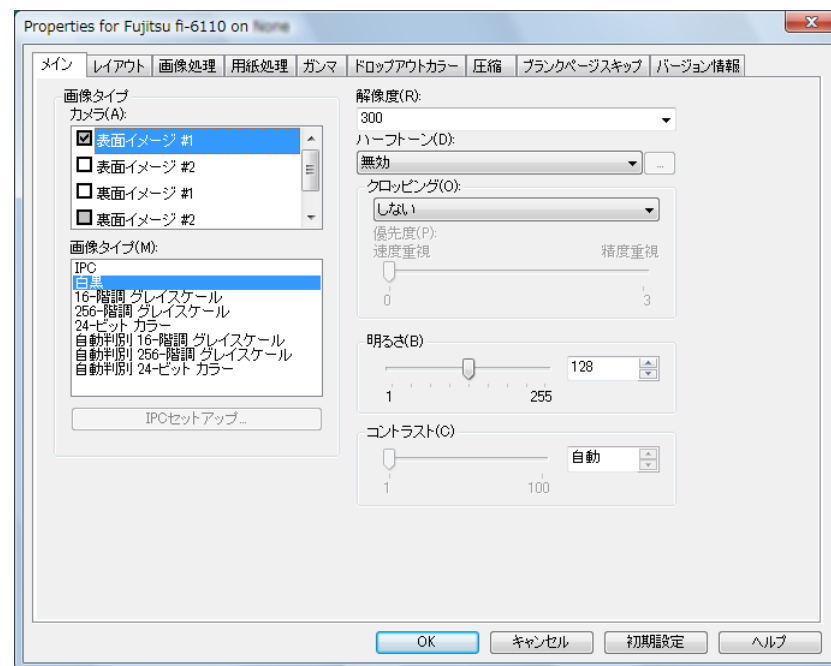
## 3.2 ISIS ドライバの場合

ISIS ドライバは、ISIS 規格に対応したドライバです。ISIS 規格に対応したアプリケーションを使用して、スキャナから読み取りできます。

通常、スキャナの読み取りに関する設定は、アプリケーションからスキャナドライバを呼び出して、スキャナドライバの設定画面から行います（アプリケーションの設定によっては、この設定画面を表示しない場合もあります）。



スキャナドライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。  
詳しくは、ご使用のアプリケーションのマニュアルまたはヘルプを参照してください。



ISIS ドライバの設定は、この画面で行います。  
詳細については、ISIS ドライバのヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

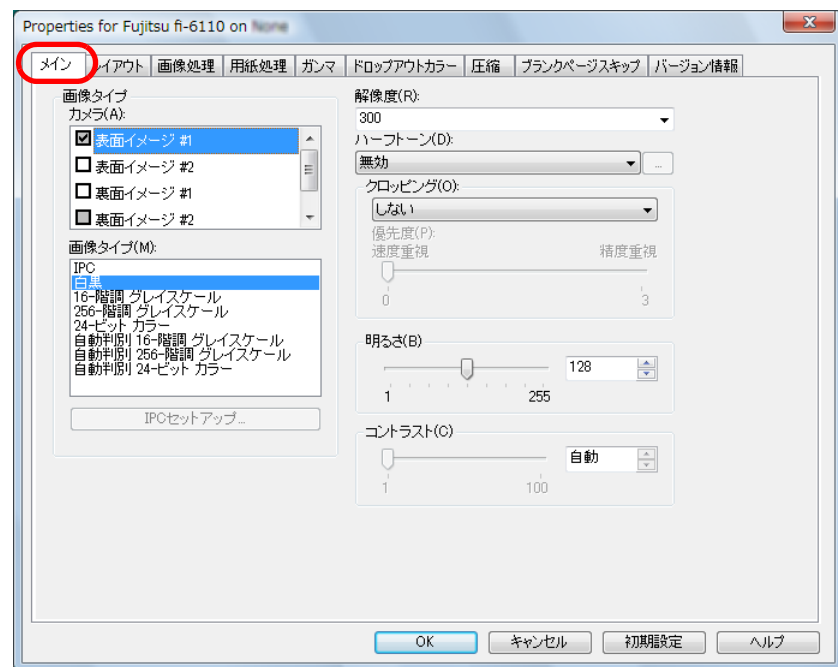
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

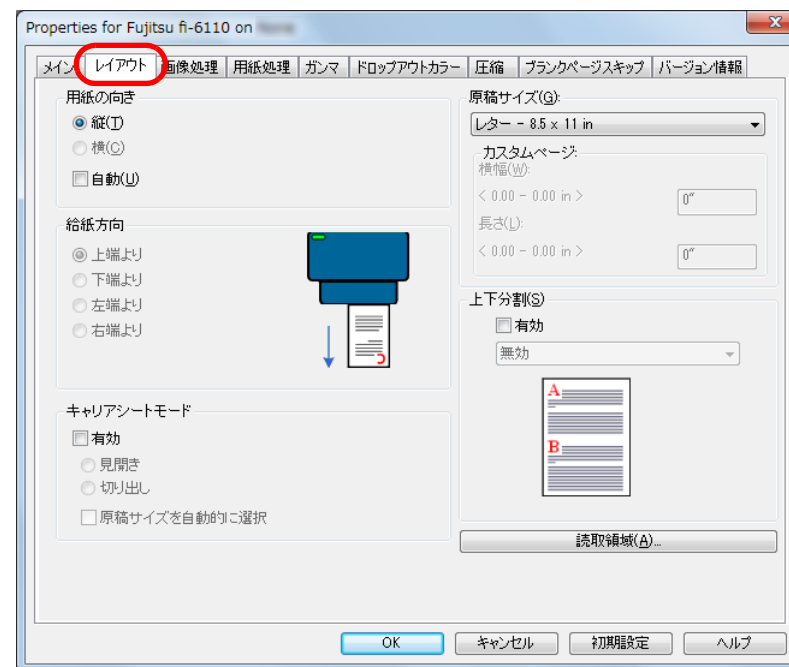
用語集

## 「メイン」タブ



原稿の読み取り面、色（カラー/グレースケール/白黒）、解像度、明るさ、およびコントラストなどが設定できます。

## 「レイアウト」タブ



原稿の読み取る向き、給紙方向、原稿のサイズ、および上下分割などが設定できます。  
 [読取領域] ボタンをクリックすると、「読取領域」画面が表示されます。



「用紙の向き」の「自動」は、ScandAll PRO をインストールしている場合だけ設定できます。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

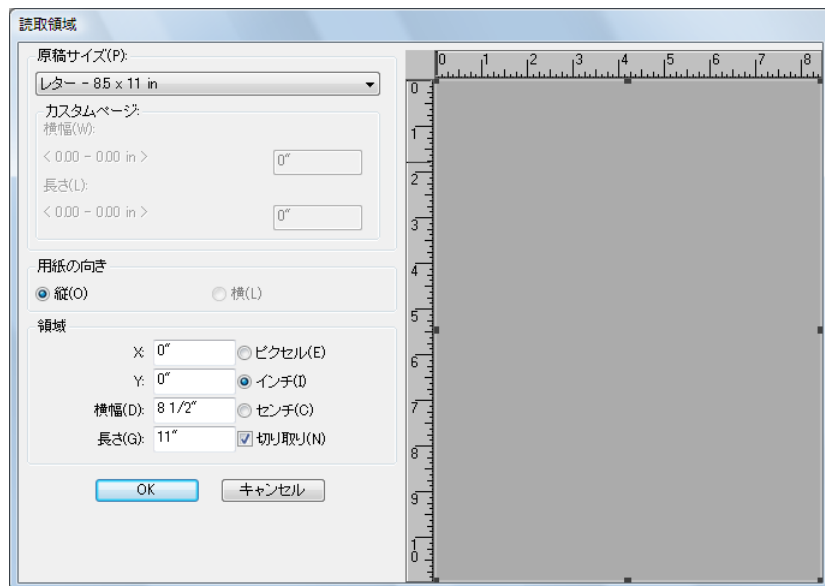
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

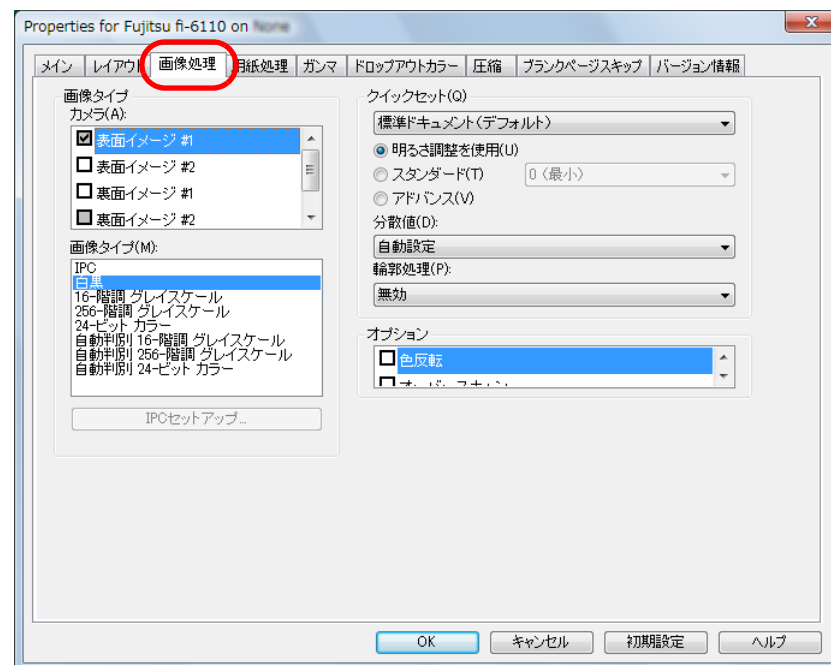
用語集

「読取領域」画面



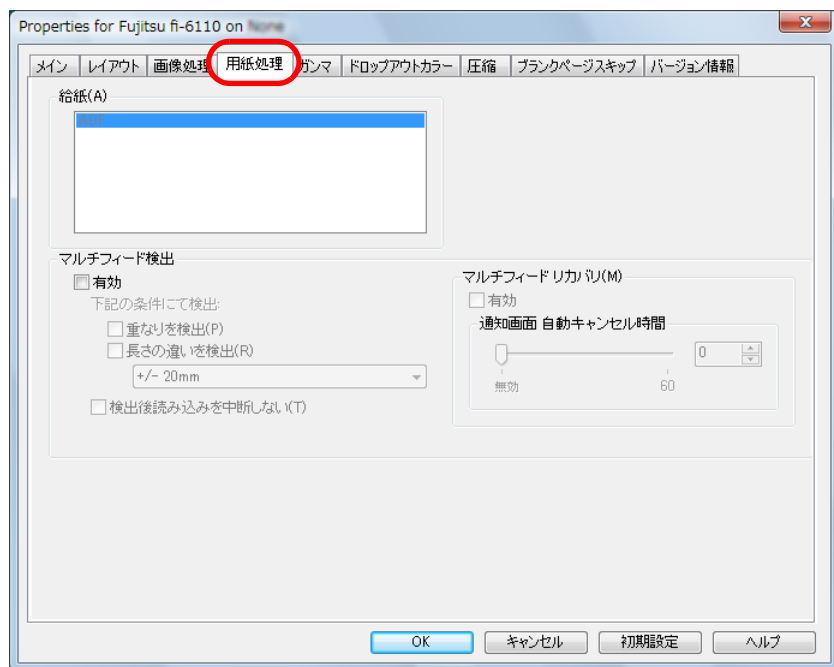
設定されている原稿サイズに対して読み取り領域を指定できます。

「画像処理」タブ



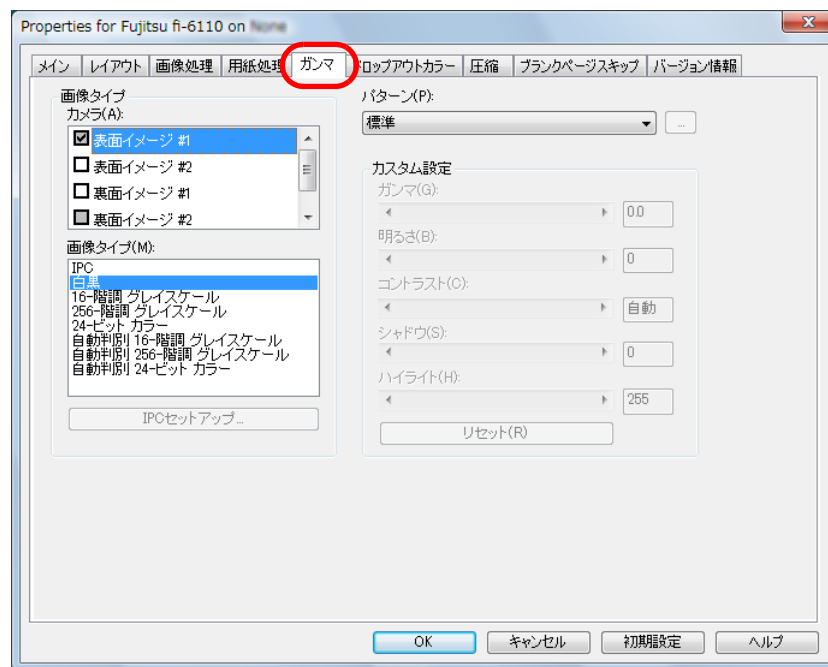
読み取りでよく使用される設定パターンを選択できます。

## 「用紙処理」タブ



マルチフィード検出などの原稿読み取り時の動作が設定できます。

## 「ガンマ」タブ



ガンマパターンを設定できます。また、カスタム設定でガンマ値、明るさなどの詳細な設定ができます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

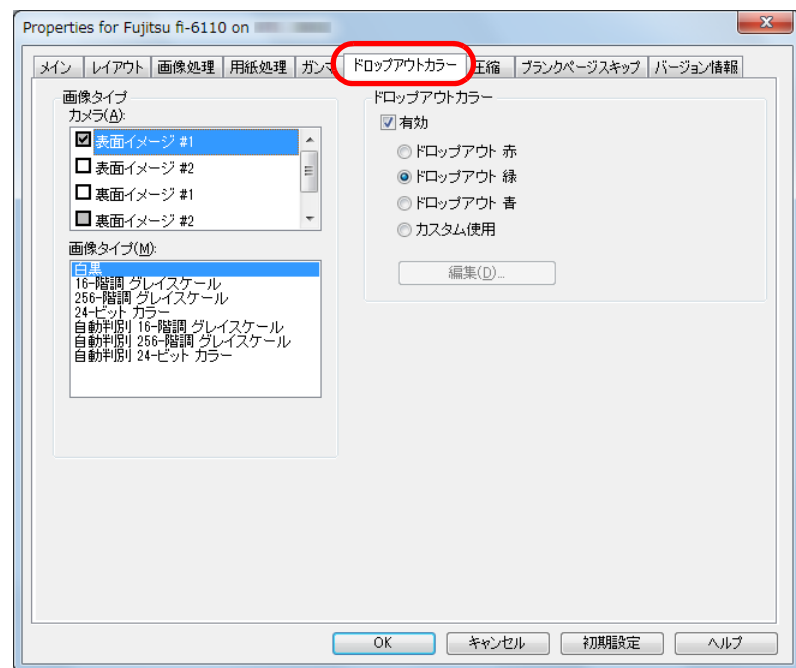
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

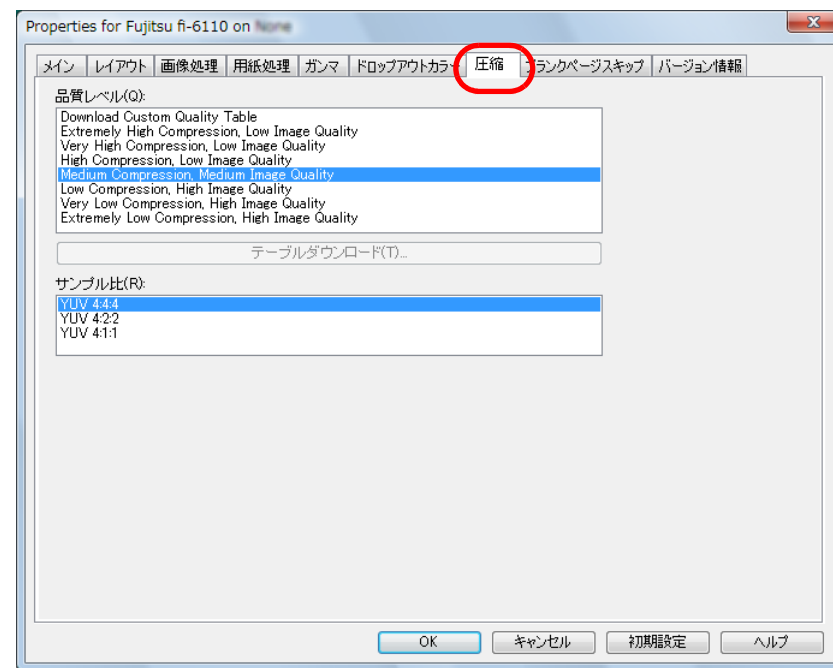
用語集

## 「ドロップアウトカラー」タブ



原稿読み取り時にドロップアウトしたい色を選択します。

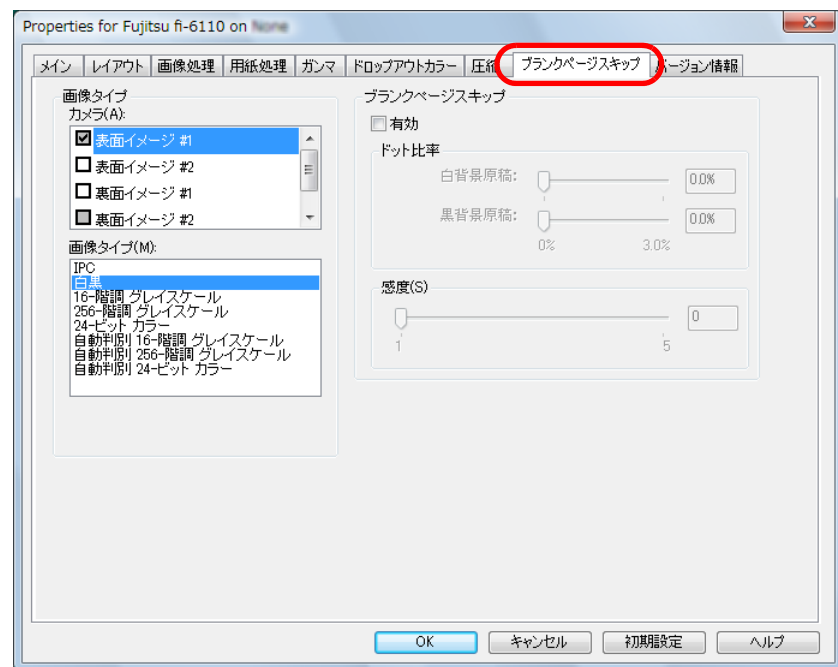
## 「圧縮」タブ



カラー / グレースケールで読み取る場合の、画像の圧縮度合いと画質が設定できます。  
また、圧縮に使用するサンプル比が設定できます。



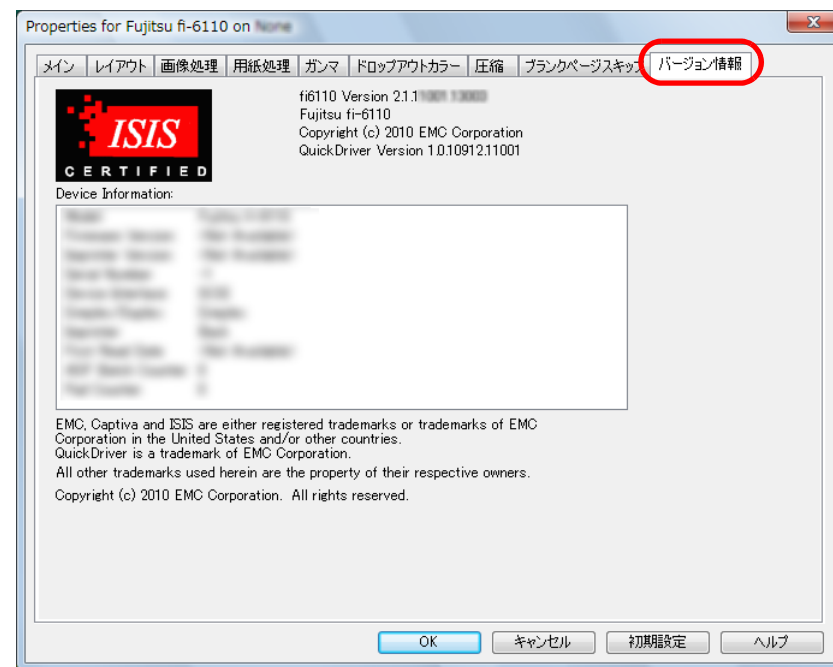
## 「ブランクページスキップ」タブ



原稿読み取り時のブランク（空白）ページの処理が設定できます。

原稿を白黒で読み取る場合は、ドット比率で白背景と黒背景を別に指定して、ブランク（空白）ページを処理できます。原稿をグレースケール/カラーで読み取る場合は、感度を指定して白背景と黒背景共通で、ブランク（空白）ページを処理できます。

## 「バージョン情報」タブ



ISIS ドライバのバージョン情報や、コンピュータに接続されているスキャナの情報が表示されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

# 第4章 操作パネルの操作方法

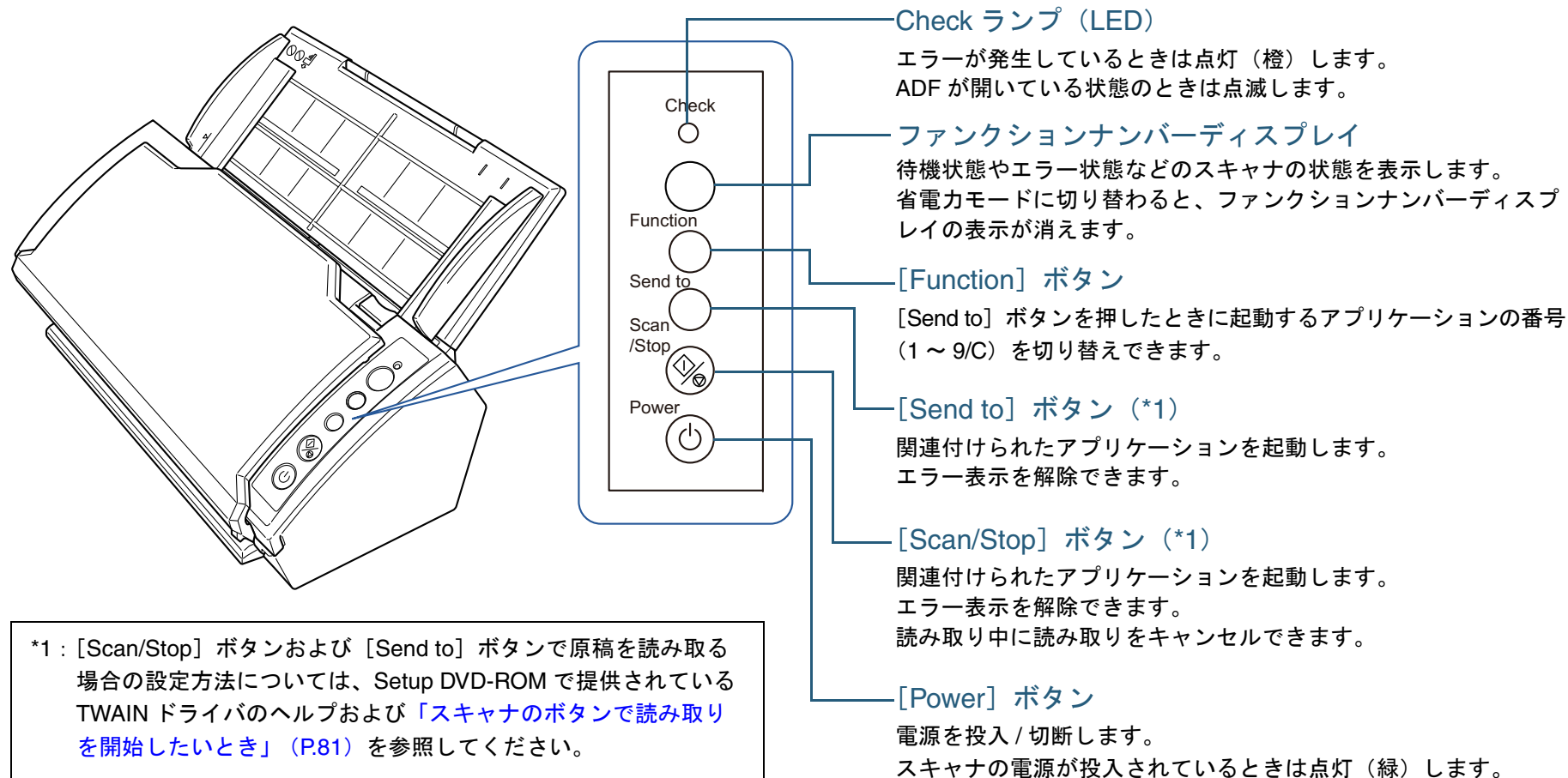
この章では、操作パネルの操作方法について説明します。

4.1 操作パネルについて .....	51
---------------------	----

## 4.1 操作パネルについて

操作パネルは、ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、Check ランプ（LED）から構成されています。

### 操作パネルの名称と働き



\*1 : [Scan/Stop] ボタンおよび [Send to] ボタンで原稿を読み取る場合の設定方法については、Setup DVD-ROM で提供されている TWAIN ドライバのヘルプおよび「スキヤナのボタンで読み取りを開始したいとき」(P.81) を参照してください。



Software Operation Panel 起動中、操作パネルを操作しないでください。

## ファンクションナンバーディスプレイの表示内容

表示内容	説明
8	電源投入直後に表示されます。
P	電源の投入後、初期化処理実行中であることを意味します。
0	電源の投入後、初期化処理実行中で、かつ初期化処理が終了間近であることを意味します。
1	原稿を読み取れる状態です。 電源の投入後、初期化処理を実行し、正常に処理が終了したことを意味します。 また、この状態を「レディ状態」と言います。
ファンクションナンバー(1など)点滅	マルチフィード検出後、ファンクションナンバーが点滅状態となります。 これは、重なりパターンを記憶するかどうかの切り替え表示中であることを意味します。 詳細については、「 <a href="#">決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき</a> 」(P.85)を参照してください。
c点滅	レディ状態でADFが開かれたことを意味します。 このときCheckランプ(LED)も点滅します。 ADFを閉じるとレディ状態(「1」)に戻ります。 ADFを閉じる方法については、「 <a href="#">1.4 ADFの開閉</a> 」(P.20)を参照してください。 ADFを閉じても表示がレディ状態(「1」)に戻らない場合は、電源を再投入してください。電源を再投入したあとも引き続きこの表示が発生する場合は、サービスエンジニア、本製品を購入された販社/販売店、または「 <a href="#">株式会社PFU イメージング サービス &amp; サポートセンター</a> 」(P.169)にお問い合わせください。

表示内容	説明
h	装置保護モードで動作していることを意味します。 室温が高い状態で長時間連続で原稿を読み取っていると、装置保護モードに移行することがあります。 装置保護モードで動作しているときは原稿間での停止時間が長くなり、性能が低下しますが、故障ではありません(可能であれば、操作環境温度 35°C 以下での使用をお勧めします)。 装置保護モードに移行しても読み取りを継続すると、自動的に通常モードに復帰します。
J U	スキャナで原稿を読み取り中に、解除可能なエラーが発生したことを意味します。 「J」または「U」と「エラー番号」を交互に表示します。 エラーの詳細については、「 <a href="#">一時的エラー</a> 」(P.105)を参照してください。 なお、エラー表示中に [Scan/Stop] ボタンまたは [Send to] ボタンを押すと、レディ状態(「1」)に戻ります。
E H L	スキャナが初期化処理中または原稿の読み取り中に、装置異常(アラーム)が発生したことを意味します。 「E」、「H」、または「L」のうちの1つと「アラーム番号」を交互に表示します。 エラーの詳細については、「 <a href="#">装置異常</a> 」(P.105)を参照してください。 なお、エラー表示中に [Scan/Stop] ボタンまたは [Send to] ボタンを押すと、レディ状態(「1」)に戻ります。 このアラームが発生した場合は、電源を再投入してください。電源を再投入したあとも引き続きアラームが発生する場合は、サービスエンジニア、本製品を購入された販社/販売店、または「 <a href="#">株式会社PFU イメージング サービス &amp; サポートセンター</a> 」(P.169)にお問い合わせください。
表示なし	省電力モードに切り替わると、ファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

# 第5章 いろいろな読み取り方

この章では、例として ScandAll PRO から TWAIN ドライバを起動してスキャナでいろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

5.1 読み取り方一覧 .....	54
5.2 種類やサイズが異なる原稿の読み取り .....	55
5.3 読み取り方の変更 .....	65
5.4 読み取り後の動作や処理の設定 .....	71
5.5 読み取り時のスキャナ動作の変更 .....	81

## 5.1 読み取り方一覧

原稿のいろいろな読み取り方の一覧を次に示します。

### 種類やサイズが異なる原稿の読み取り

- 「両面を一度に読み取りたいとき」 (P.55)
- 「幅の違う原稿を読み取りたいとき」 (P.56)
- 「A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき」 (P.57)
- 「写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき」 (P.60)
- 「長尺帳票を読み取りたいとき」 (P.63)

### 読み取り方の変更

- 「指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき」 (P.65)
- 「白紙ページをスキップして読み取りたいとき」 (P.68)
- 「明るめに画像を読み取りたいとき」 (P.69)

### 読み取り後の動作や処理の設定

- 「原稿の傾きを自動で補正したいとき」 (P.71)
- 「原稿の向きを自動で補正したいとき」 (P.73)
- 「原稿を2分割して読み取りたいとき」 (P.75)
- 「マルチイメージ出力したいとき」 (P.77)
- 「読み取った原稿の色（カラー/モノクロ）を自動判別したいとき」 (P.79)

### 読み取り時のスキャナ動作の変更

- 「スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき」 (P.81)
- 「マルチフィードを検出したいとき」 (P.83)
- 「決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき」 (P.85)

次に示す原稿の読み取り方については、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。

- 読み取った画像を PDF 形式で保存したいとき
- パッチコードを使って原稿を分割したいとき
- バーコードを使って原稿を分割したいとき
- ゾーン OCR の認識結果を使ってファイル名を設定したいとき
- バーコードの認識結果を使ってファイル名を設定したいとき
- バッチスキャンごとに格納フォルダーを作成したいとき
- バッチスキャンを実行して SharePoint Server に格納したいとき
- 中断したバッチスキャンを再開したいとき
- インデックス情報を出力しアプリケーションと連携したいとき

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 5.2 種類やサイズが異なる原稿の読み取り

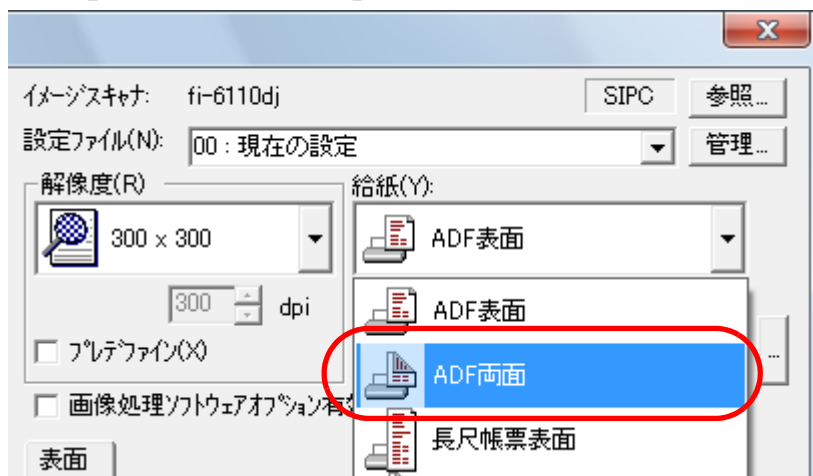
### 両面を一度に読み取りたいとき

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.28) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 「給紙」から「ADF 両面」を選択します。



- 4 「用紙サイズ」などを設定します。
- 5 [了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 変更した内容が反映されます。
- 6 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 幅の違う原稿を読み取りたいとき



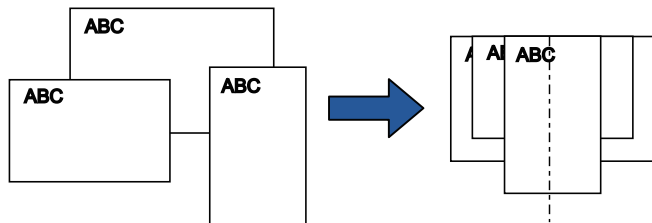
幅の違う原稿を一度にまとめて読み取ると、原稿幅の小さな原稿が傾いて読み取られるまたはスキャナに取り込まれないことがあります。同じ幅の原稿をまとめて読み取ってください。



混載読み取りが可能な原稿の条件の詳細については、「混載条件」(P.36)を参照してください。

- 1 読み取り画像の傾きを防止し、原稿の用紙サイズを自動的に検出するために「自動傾き/サイズ検出」で「自動用紙サイズ検出」をクリックします。  
設定方法については、「原稿の傾きを自動で補正したいとき」(P.71)を参照してください。

- 2 原稿の先端をそろえます。

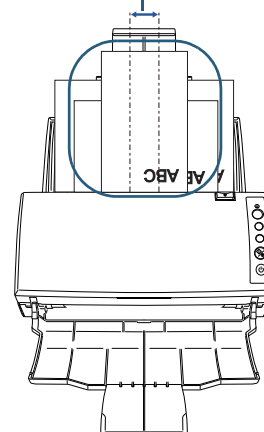


- 3 ADF 給紙シュートの中央に原稿をセットし、最も幅の広い原稿の両側がサイドガイドに接するようにサイドガイドを移動します。  
原稿をセットする方法については、「2.1 原稿のセット」(P.29)を参照してください。



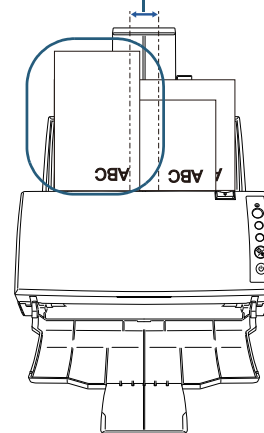
すべての原稿がピックアップユニット（中央）にかかるようにセットしてください。ピックアップユニットから外れた位置に原稿があると、給紙できません。

ピックアップユニットの幅



OK

ピックアップユニットの幅



NG

- 4 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。



## A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき

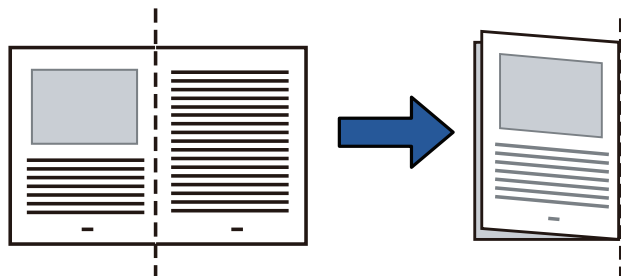
A3 や B4 のような A4 サイズより大きい原稿を、A3 キャリアシートを使用して読み取りできます。原稿を2つ折りにして両面読み取りを行い、1つの画像につなぎ合わせて出力します。A4 サイズ以下の両面印刷された原稿を読み取って、見開き状態にして1つの画像に出力することもできます。



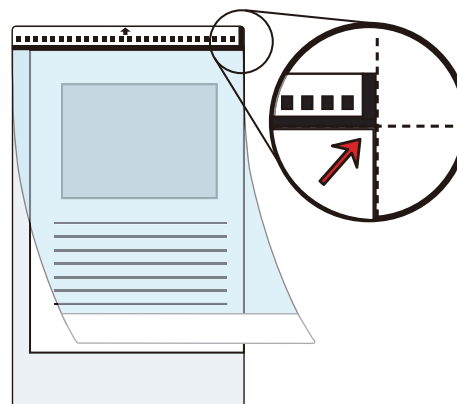
原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。精度を求める読み取りにはお勧めできません。

### 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。

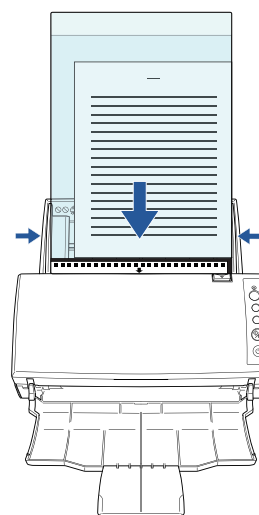
- 1 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から2つに折り曲げます。  
原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。折り曲げ部分がふくらんだまま読み取ると、傾きの原因となります。



- 2 A3 キャリアシートを開いて、原稿をセットします。  
原稿の上側を A3 キャリアシートの上端、折り目側を右端に、隙間のできないようにしっかりと合わせます。



- 3 A3 キャリアシートを ADF 給紙シュートにセットします。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集



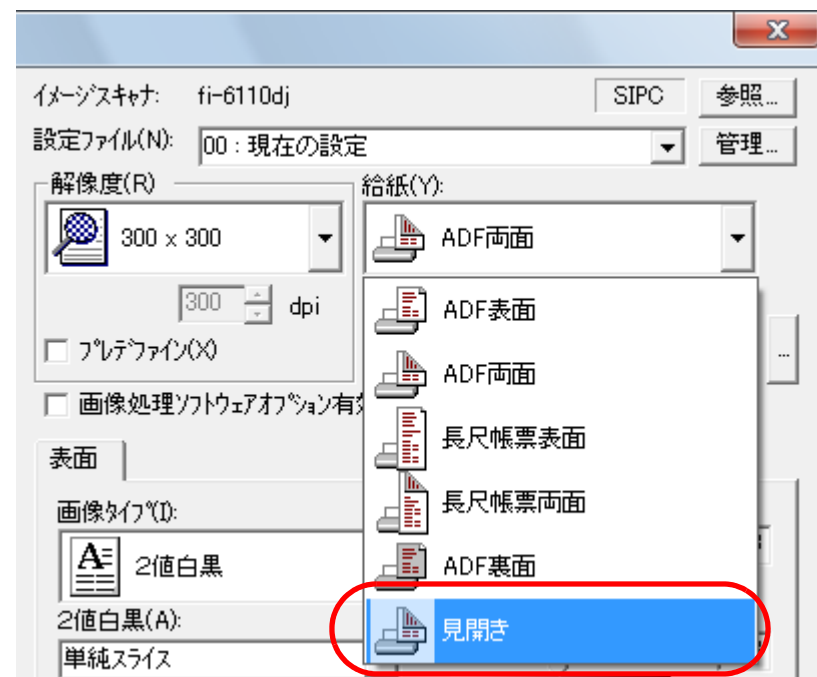
- A3キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にして、矢印の向きにセットしてください。
- 原稿の裏面（見開き原稿の右側）が手前にくるようにセットしてください。
- A3キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。

2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

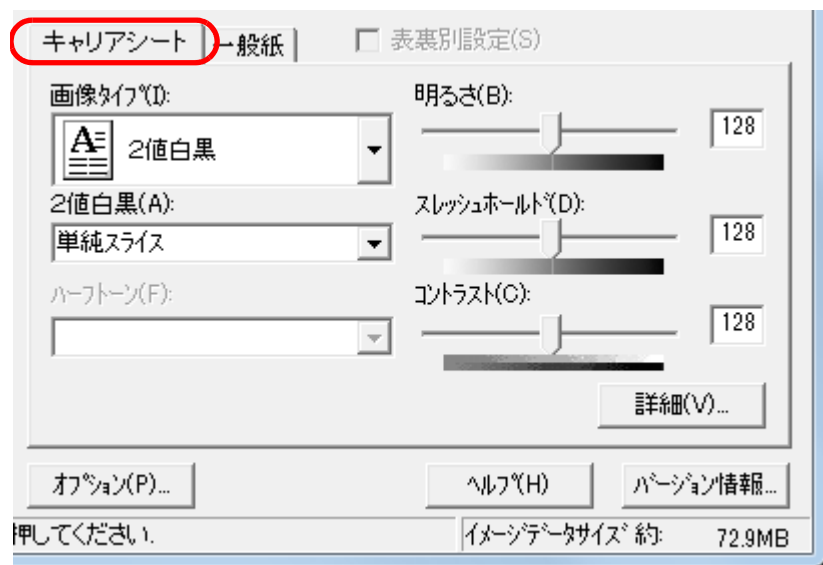


「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

3 「給紙」から「見開き」を選択します。



4 「キャリアシート」タブをクリックし、画像タイプなどを設定します。

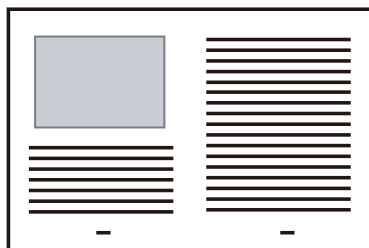


5 [了解] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

6 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

⇒ 表 / 裏の画像が見開き状態で並べて出力されます。

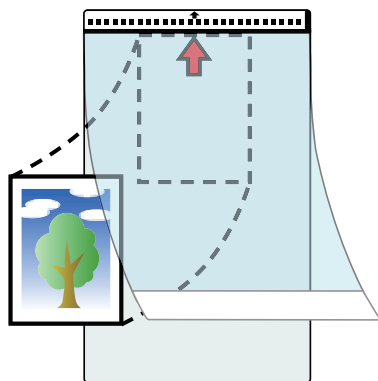


- 画像の見開きの継ぎ目部分に、隙間ができたり、線がはいったりする場合があります。また、A3 キャリアシートに厚みのある原稿をセットして読み取ると、見開きの継ぎ目部分を中心にして、画像がハの字に傾く場合があります。これらの現象は、次を行うと改善される場合があります。
  - 原稿をしっかりと折り曲げる
  - A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の端をA3 キャリアシートの端にしっかりと合わせる
  - A3 キャリアシートを読み取るときに、A3 キャリアシートを裏 / 表逆にセットする
- 「用紙サイズ」に「自動選択」が指定されている場合、「用紙サイズ」で指定可能な定型サイズ (A3、B4、またはダブルレター) の中から最適なサイズが指定されます。ただし、原稿によっては、出力される画像のサイズが原稿より小さくなる場合があります。例：A3 サイズの原稿の中央に、A4 サイズに収まる範囲で絵や文字が印刷されている場合 ⇒ B4 サイズで出力されます。原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、「用紙サイズ」に原稿と同じサイズを指定してください。
- 原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像の見開きの継ぎ目部分が欠ける場合があります。その場合には、A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の折り曲げ部分をA3 キャリアシートの端から1mmほど内側にずらしてください。
- 「画像タイプ」を「2値白黒」にしたとき、原稿の影によって画像の端が黒くなる場合があります。

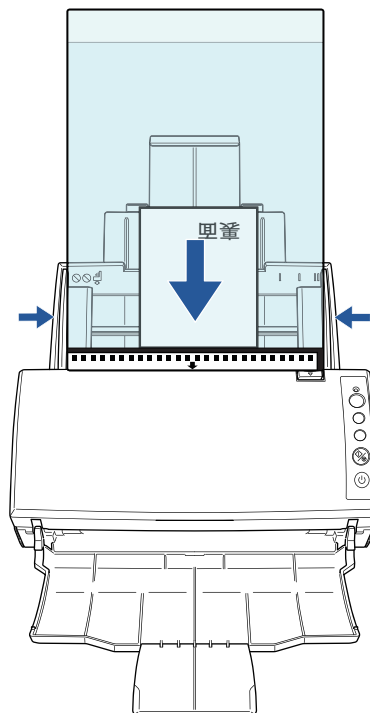
## 写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき

A3 キャリアシートを使用すると、傷つけない写真や、資料の切り抜きなどの原稿を読み取れます。

- 1 A3 キャリアシートに原稿をセットします。  
A3 キャリアシートを開いて、原稿を A3 キャリアシートの幅方向に対して中央に置き、原稿の上側を A3 キャリアシートの上端に突き当ててはさんでください。



- 2 A3 キャリアシートにセットした原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート側（下向き）になるようにし、白黒のパターンが印刷された部分を下にして、ADF 給紙シュートにセットします。  
A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



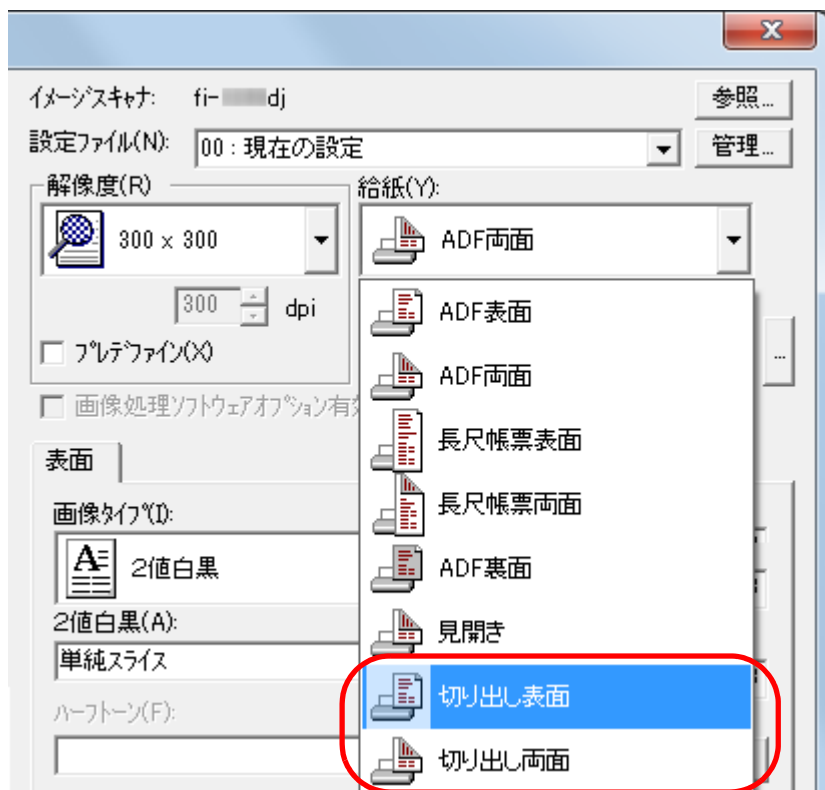
- 3 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「ドライバの設定」をクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



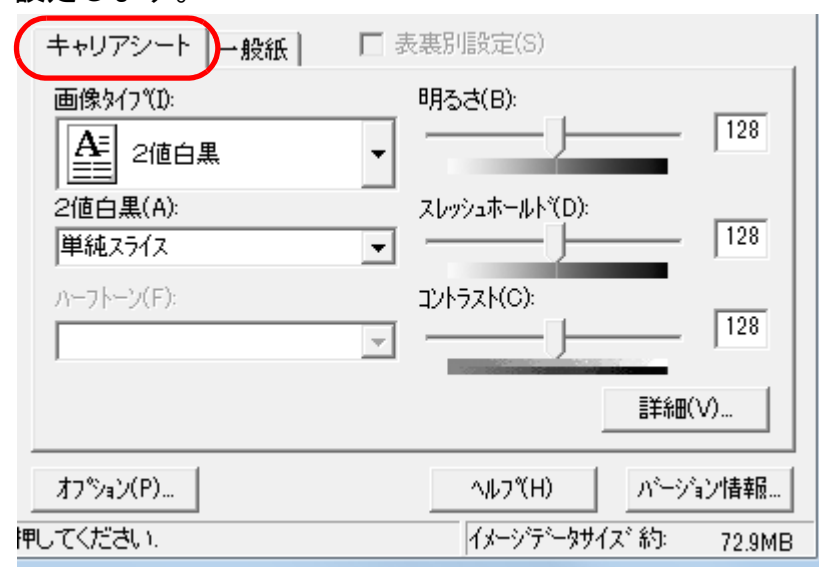
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

4 「給紙」から「切り出し表面」または「切り出し両面」を選択します。

片面読み取りの場合は「切り出し表面」を選択し、両面読み取りの場合は「切り出し両面」を選択します。



5 「キャリアシート」タブをクリックし、画像タイプなどを設定します。



6 [了解] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

7 ScandAll PROの「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

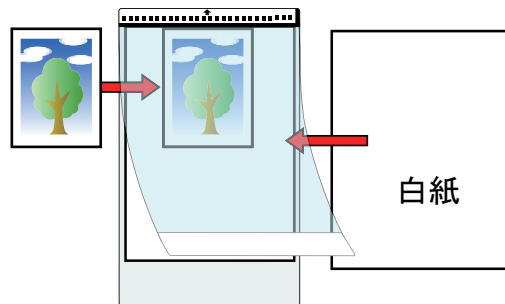


- 画像は、「用紙サイズ」に指定されているサイズの中央に配置されます。
- 「用紙サイズ」に「自動選択」が指定されている場合、「用紙サイズ」で指定可能な定型サイズの中から最適なサイズが指定されます。ただし、原稿によっては、出力される画像のサイズが原稿より小さくなったり、切れたりする場合があります。  
例：A4サイズの原稿の中央にA5サイズで印刷されている場合  
⇒ A5サイズで出力されます。  
原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、「用紙サイズ」に原稿と同じサイズを指定してください。



次のような現象が発生する場合は、原稿のうしろに白紙をはさんでください。

- 「用紙サイズ」に「自動選択」が指定されている場合、画像が原稿と同じサイズで出力されない
- 画像に原稿の端の影がはいる
- 特殊な形に切り抜いた原稿をA3キャリアシートにはさんだ場合、画像に原稿の形をした黒線がはいる
- 画像に原稿の外側の色が含まれる



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

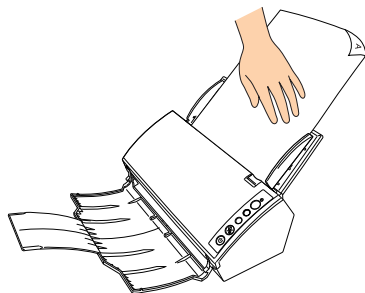
## 長尺帳票を読み取りたいとき

給紙方向（長さ方向）最大 3048mm（120 インチ）までの原稿を読み取りできます。

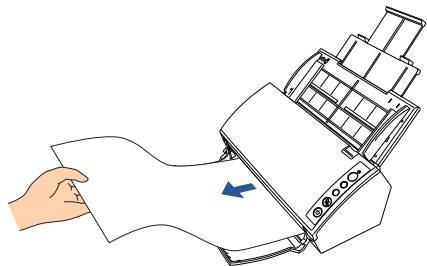
- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.28) を参照してください。



- 長尺帳票は、1 枚ずつ ADF 給紙シュートにセットしてください。
- 長尺帳票を読み取る場合は、原稿のセット時および排出時に原稿を次のように扱ってください。
  - 原稿のセット時  
読み取る原稿が ADF 給紙シュートから落ちないように、原稿を手で抑えてセットしてください。



- 原稿の排出時  
スタッカー側に十分なスペースを設け、読み取りが完了した原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ってください。



A4 サイズより長い原稿を読み取る場合は、次のようにしてください。

- シュートエクステンション1 やシュートエクステンション2 を最大まで引き上げてください。  
詳細については、「1.5 ADF 給紙シュートの設定」(P.21) を参照してください。
- スタッカーやスタッカーエクステンションを手前に起こしてください。  
詳細については、「1.6 スタッカーの設定」(P.22) を参照してください。

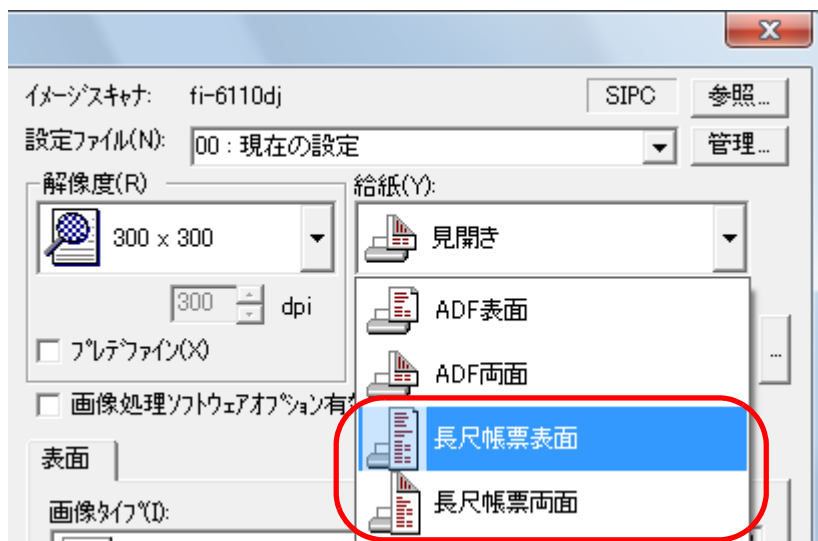
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「スキヤナの設定」をクリックします。  
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

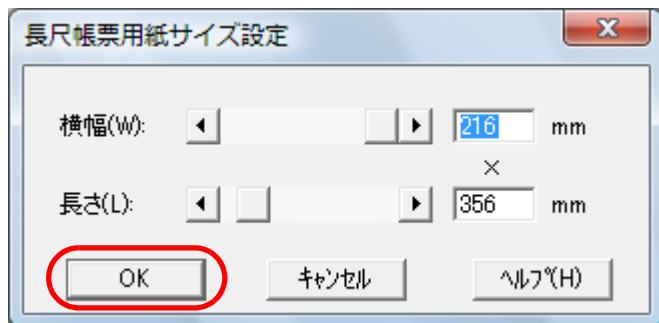
3 「給紙」から「長尺帳票表面」または「長尺帳票両面」を選択します。

片面読み取りの場合は「長尺帳票表面」を選択し、両面読み取りの場合は「長尺帳票両面」を選択します。



⇒ 「長尺帳票用紙サイズ設定」画面が表示されます。

4 原稿のサイズを設定し、[OK] ボタンをクリックします。



5 [了解] ボタンをクリックします。

⇒ 変更した内容が反映されます。

6 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。



- 864mm (34 インチ) より長い原稿を読み取りたい場合は、200dpi 以下に設定してください。
- アプリケーションや用紙サイズなどの読み取り条件によっては、メモリ不足で読み取りできない場合があります。

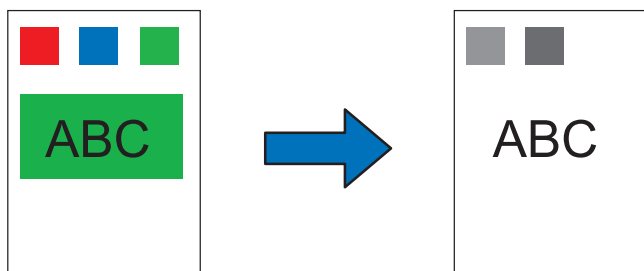


## 5.3 読み取り方の変更


### 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき


緑、赤、青（光の三原色）および任意の色から、選択した色情報を除いて読み取りできます。

例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取りできます。




例：ドロップアウトカラーに「緑」を選択した場合

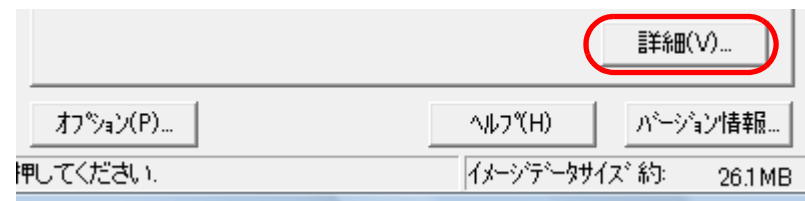
 ドロップアウトカラーは、対象となる部分の色が薄い場合は有効に機能しますが、色が濃い場合はうまく機能しないことがあります。

 ドロップアウトカラーは、2値白黒、グレースケール読み取り時だけ指定可能です。

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.28) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

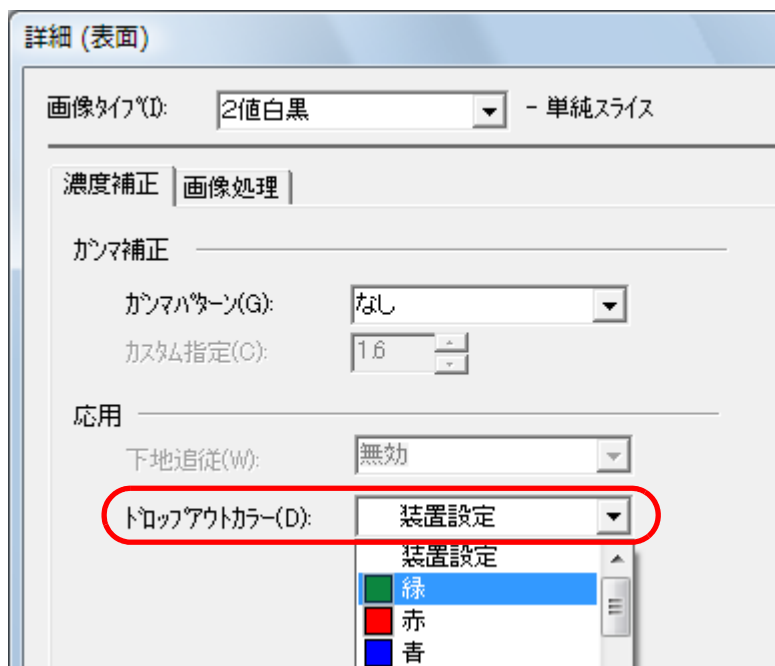
 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 [詳細] ボタンをクリックします。



⇒「詳細」画面が表示されます。

4 「応用」の「ドロップアウトカラー」から除きたい色を選択します。



「装置設定」を選択した場合は、Software Operation Panel の設定が有効になります。

「なし」を選択した場合は、ドロップアウトされません。

任意の色をドロップアウトする場合は、「カスタム」、「カスタム2」、または「カスタム3」を選択します。

「カスタム」、「カスタム2」、または「カスタム3」を選択すると、「指定色ドロップアウトカラー」画面が表示されます。この画面で、任意の色を3色まで、ドロップアウトカラーに指定できます。



- オリジナル画像  
色見本が表示されます。クリックすると、選択した色をドロップアウトカラーに指定できます。
- ドロップアウト画像  
ドロップアウト後のイメージが表示されます。
- 「カラー1」～「カラー3」タブ  
ドロップアウトカラーに指定する色を設定します。最大3色まで同時に指定できます。

- 「ドロップアウト」チェックボックス  
ドロップアウトカラーを2色以上指定する場合に、「カラー2」タブまたは「カラー3」タブでチェックし、ドロップアウト設定を有効にします。
  - 「赤 / 緑 / 青」  
ドロップアウトカラーに指定する色の情報が数値で表示されません。数値を直接入力するか、[▲] / [▼] ボタンをクリックして数値を変更できます。
  - サンプルカラー  
ドロップアウトカラーに指定した色が表示されます。
  - 「黒優先」チェックボックス  
文字をドロップアウトしない場合にチェックします。  
一般的に文字に使用されることの多い、黒などの彩度の低い色をドロップアウトないようにします。
  - 感度  
選択した色に対して、ドロップアウトする色の許容範囲を指定します。  
指定可能範囲：15～180度  
数値が大きいほど、ドロップアウトする色域が広がります。
  - [ファイル] ボタン  
「オリジナル画像」に任意の画像ファイル (\*.bmp 形式) を表示させ、そこからドロップアウトする色を選択できます。
  - [適用] ボタン  
設定した内容を反映して、画面を閉じます。
  - [キャンセル] ボタン  
設定した内容を破棄して、画面を閉じます。
- 5** [了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6** 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 設定が保存されます。
- 7** ScandAll PRO の「スキャン」メニュー → 「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

## 白紙ページをスキップして読み取りたいとき

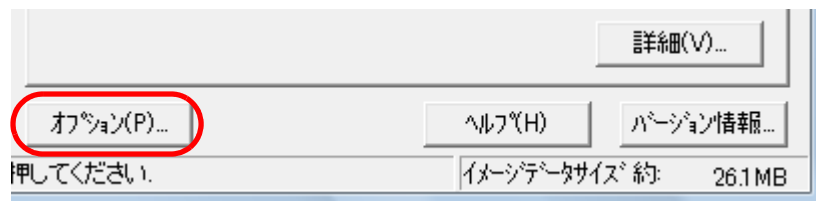
原稿に含まれる空白ページ（白紙または黒紙）を検出し、自動的に削除して読み取ります。例えば、両面原稿と片面原稿が混在している状態で両面読み取りを行うと、片面原稿の裏面（空白ページ）だけを取り除いて読み取りできます。

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.28) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



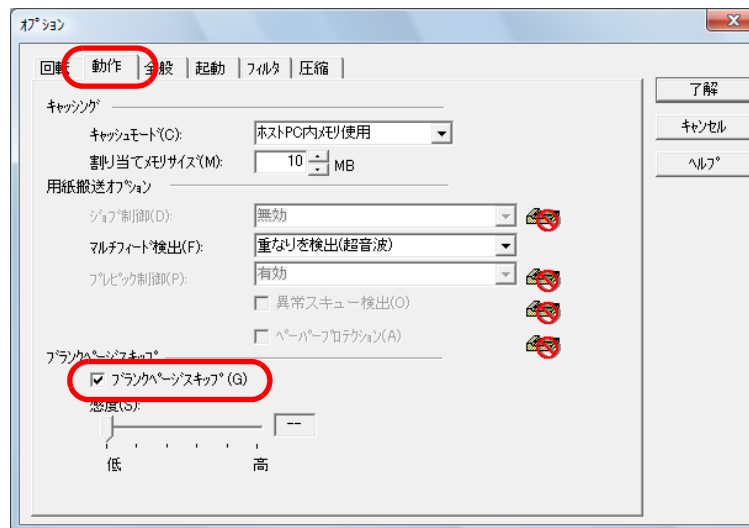
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒ 「オプション」画面が表示されます。

- 4 「動作」タブをクリックし、「空白ページスキップ」チェックボックスをチェックします。



⇒ キャッシュモードが自動的に「ホスト PC 内メモリ使用」に切り替わります。

- 5 スライダーを使って、空白ページスキップの度合いを調整します。



1～5の5段階で、空白ページ（白紙）のスキップ条件を設定します。値が大きくなるほどスキップしやすくなります。

- 6 [了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 設定が保存されます。
- 8 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

## 明るめに画像を読み取りたいとき

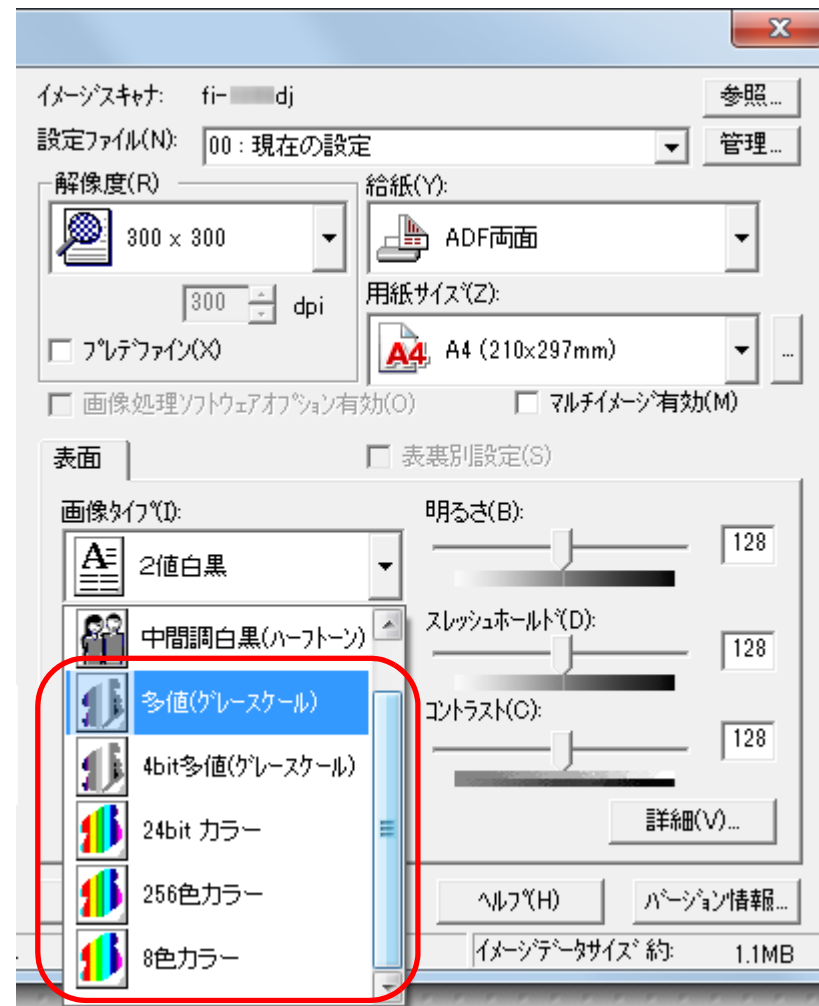
グレースケールまたはカラーで読み取る場合に、明るめに画像を読み取りできます。

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.28) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「ドライバの設定」をクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

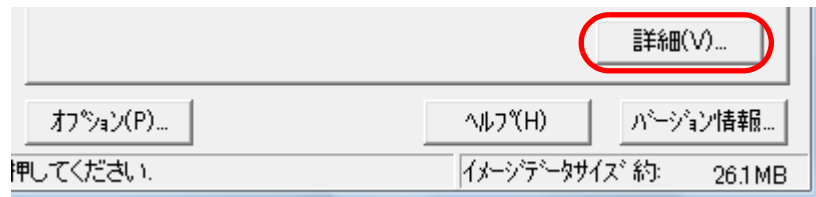


「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 「画像タイプ」からグレースケールまたはカラーを選択します。

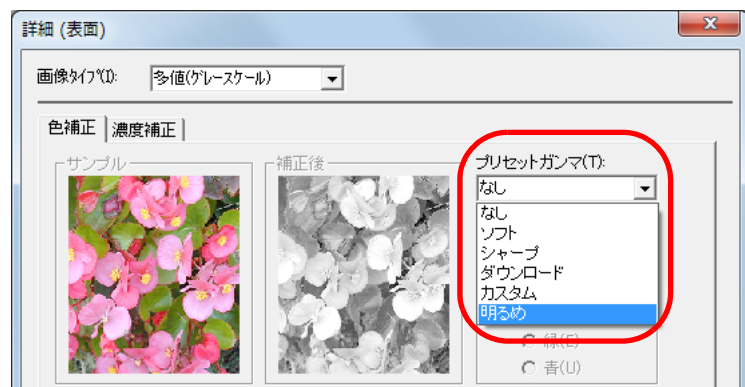


4 「詳細」 ボタンをクリックします。



⇒ 「詳細」画面が表示されます。

5 「色補正」 タブをクリックし、「プリセットガンマ」から「明るめ」を選択します。



6 「[了解] ボタンをクリックします。

⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。

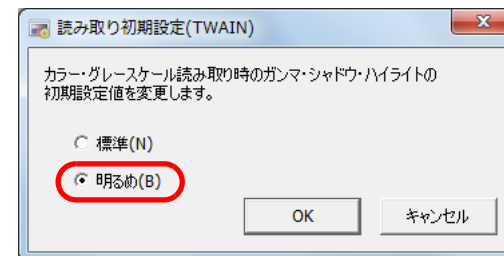
7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

8 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。



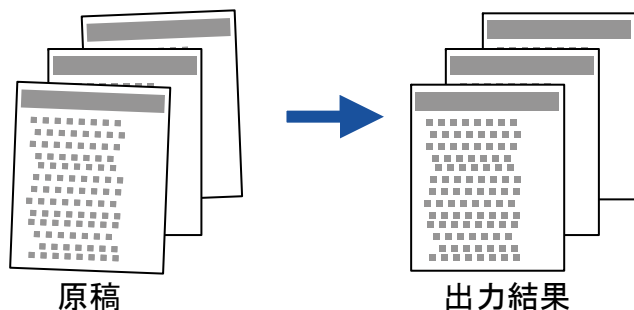
ScandAll PRO 以外のアプリケーションの場合、TWAIN ドライバの初期設定を明るめに変更することもできます。TWAIN ドライバの初期設定を明るめに変更するには、Setup DVD-ROM の ¥Tools¥FtSwtGmm¥Twain フォルダ配下の「FtSwtGmm.exe」を実行して表示される「読み取り初期設定 (TWAIN)」画面で、「明るめ」を選択してください。



## 5.4 読み取り後の動作や処理の設定

### 原稿の傾きを自動で補正したいとき

原稿を読み取る際に、ADF 内へ原稿が傾いて送り込まれた場合は、自動で傾きを検出および補正して読み取りできます。このとき、原稿の用紙サイズも自動的に検出して読み取りできます。

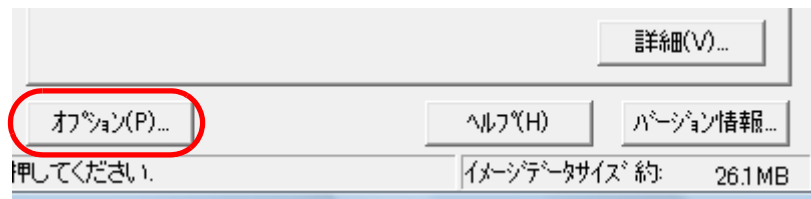


**!** 画像欠けを防止するために、画像は原稿より数 mm 大きく出力される場合があります。

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.28) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

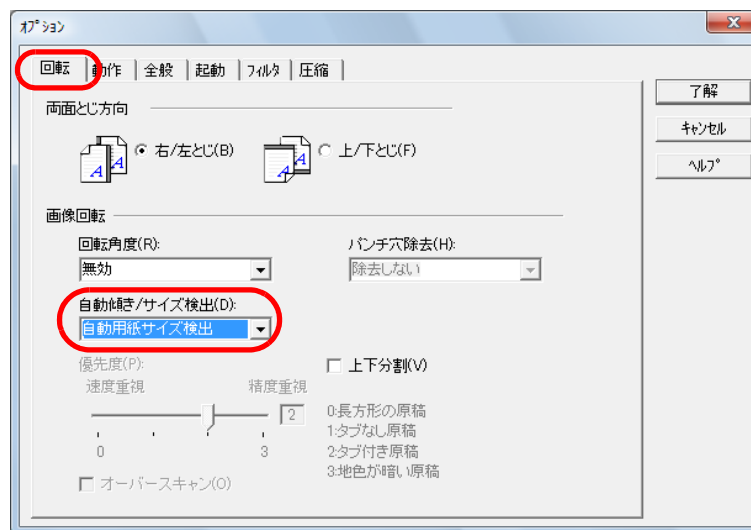
**✓** 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 「オプション」ボタンをクリックします。



⇒ 「オプション」画面が表示されます。

- 4 「回転」タブをクリックし、「自動傾き/サイズ検出」から「自動用紙サイズ検出」を選択します。



- !**
- 次のどれかの場合、「自動用紙サイズ検出」ができません。
    - 厚さが 52g/m<sup>2</sup> (45kg/ 連) 以下の薄い原稿
    - 長方形ではない原稿
    - 端を濃く塗りつぶした原稿
  - 原稿が極端に傾いて読み取られた場合は、「自動用紙サイズ検出」が正しくできないことがあります。



「自動用紙サイズ検出」を選択した場合は、読み取り速度が低下することがあります。

- 5 [了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー → 「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

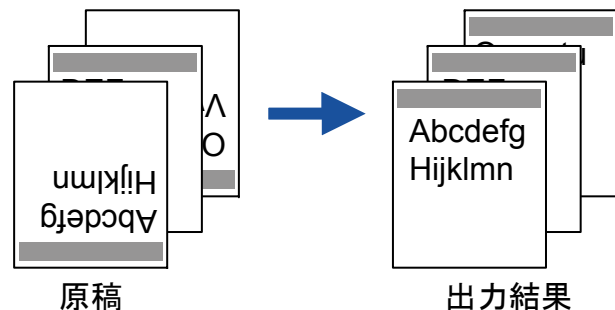
付録

用語集



## 原稿の向きを自動で補正したいとき

向きがバラバラの原稿を、自動的に正しい向きに補正して読み取りできます。

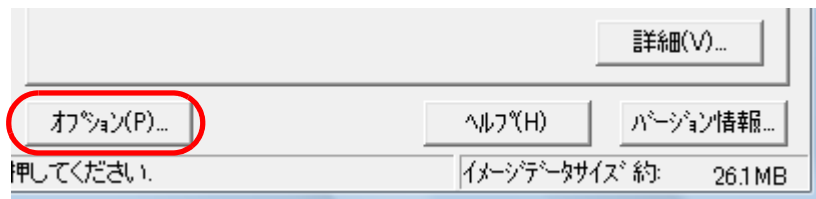


- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.28) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



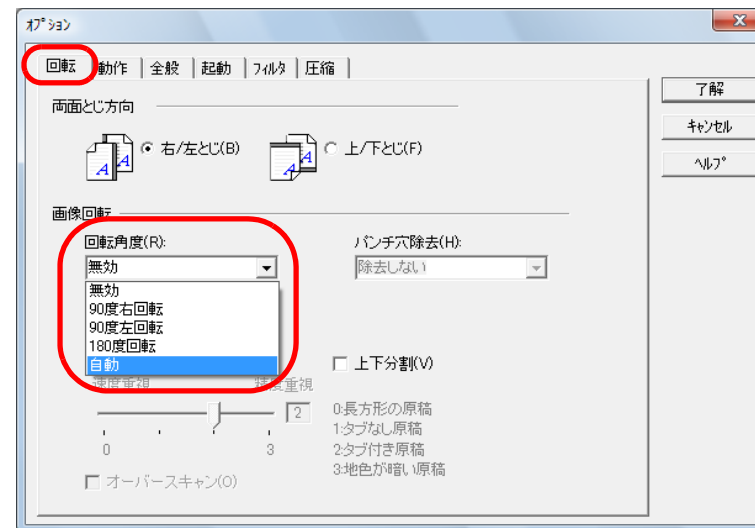
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

- 4 「回転」タブをクリックし、「回転角度」から「自動」を選択します。





- 原稿中の文字列を基準にして補正するため、次のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。
  - 読み取り時の解像度が200dpiより小さい場合
  - 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
  - 文字間や行間が、極端に狭かったり、文字が接触していたりする原稿
  - 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
  - 図面など、文字が一定方向に向いていない原稿
  - アルファベットの大きい文字だけで書かれている原稿
  - 手書き文字の原稿
  - 傾いた原稿
  - サポート言語（日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、ロシア語、ポルトガル語）以外の言語で書かれている原稿
  - 文字の背景に不均一色背景や模様がある原稿
  - 複雑なレイアウトの原稿
  - ノイズの多い原稿
- 原稿中の文字列の判定には、Windowsの地域オプションで設定されている言語を使用します。
- 読み取り時のドライバの設定によっては、正しく補正できない場合があります（ディザなど）。
- 正しく補正されない場合は、ドライバの輪郭強調機能を使用すると正しく補正される場合があります。
- 画像の端に黒い部分が残ることがあります。
- 「回転角度」の「自動」は、ScandAll PROをインストールしている場合だけ表示されます。

- 5 [了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PROの「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

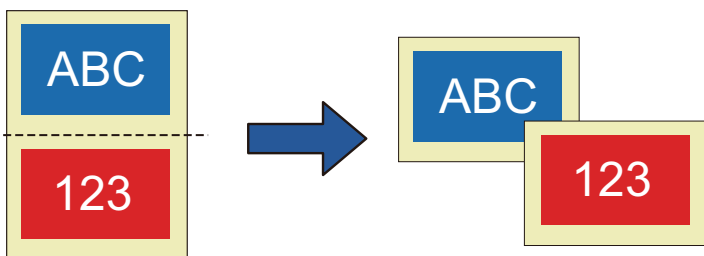
用語集

## 原稿を2分割して読み取りたいとき

読み取った原稿を上下に2分割して2ページ分のデータとして出力できます。



アプリケーションによっては、正しく動作しない場合があります。



原稿

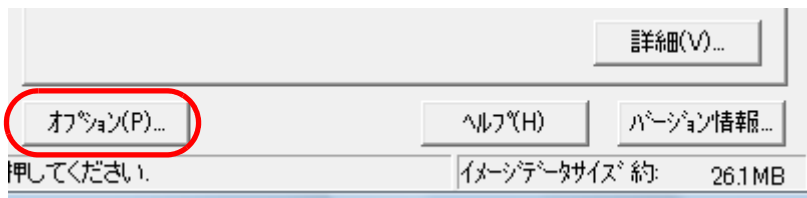
出力結果

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.28) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



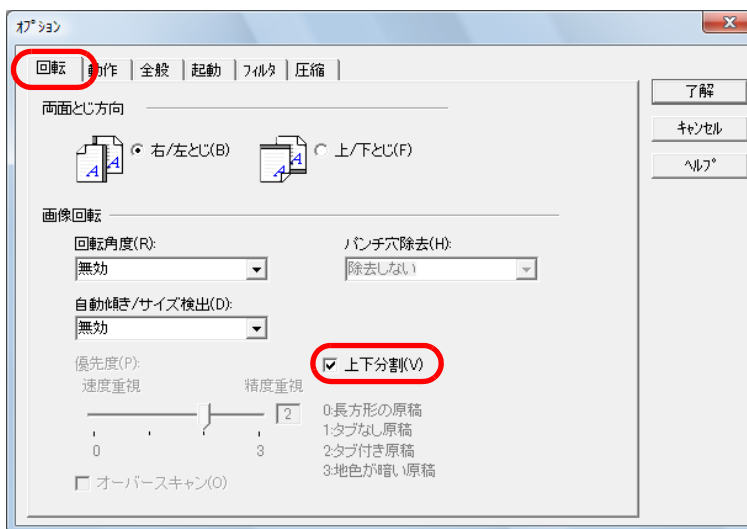
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒ 「オプション」画面が表示されます。

- 4 「回転」タブをクリックし、「上下分割」チェックボックスをチェックします。



次の場合は、使用することはできません。

- マルチイメージ出力指定時
- カラー / モノクロ自動判別指定時
- 解像度 1200dpi 指定時



両面読み取りの場合、裏面の画像は、「両面とじ方向」の設定に従い、次の順に出力されます。

- 右 / 左とじの場合：上 → 下
- 上 / 下とじの場合：下 → 上

- 5 [了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー → 「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには


スキャナの動作設定

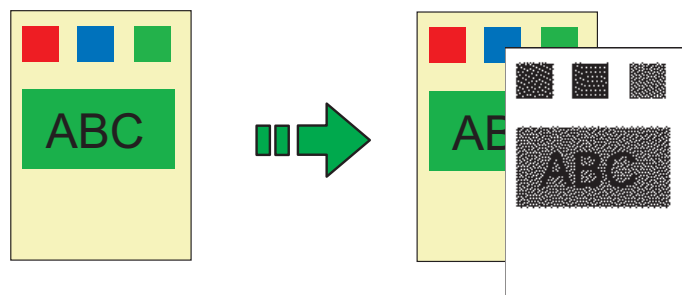
付録

用語集

## マルチイメージ出力したいとき

一度の読み取りで、カラー/グレースケール画像と、2値白黒画像の両方を出力（マルチイメージ出力）できます。

 アプリケーションによっては、正しく動作しない場合があります。




原稿

出力結果

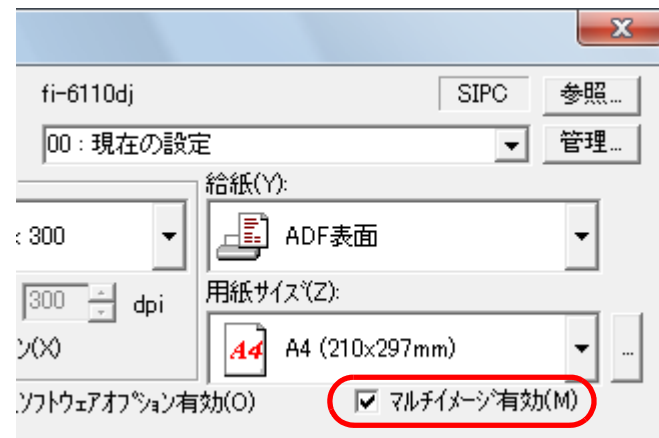
例: カラー原稿をマルチイメージ出力で読み取った場合

**1** ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法 (P.28)」を参照してください。

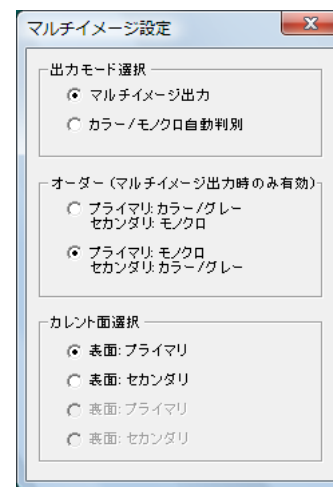
**2** ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

**3** 「マルチイメージ有効」チェックボックスをチェックします。



⇒「マルチイメージ設定」画面が表示されます。



**4** 「出力モード選択」で「マルチイメージ出力」をクリックします。

5 「オーダー」で出力する順番をクリックします。

オーダー	説明
プライマリ：カラー/グレー セカンダリ：モノクロ	「カラーまたはグレースケール画像」→「2値白黒画像」の順に出力されます。
プライマリ：モノクロ セカンダリ：カラー/グレー	「2値白黒画像」→「カラーまたはグレースケール画像」の順に出力されます。

6 「カレント面選択」で設定する面をクリックします。  
「オーダー」で設定した順番に「プライマリ」の読み取り設定と、「セカンダリ」の読み取り設定をします。

それぞれ、「TWAIN ドライバ (32)」画面で読み取り条件を設定します。

7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

8 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 読み取った原稿の色（カラー/モノクロ）を自動判別したいとき

読み取った原稿の色（カラー/モノクロ）を自動判別し、カラー原稿の場合は、スキャナドライバの設定によってカラーまたはグレースケールで出力し、2値白黒原稿の場合は2値白黒で出力します。



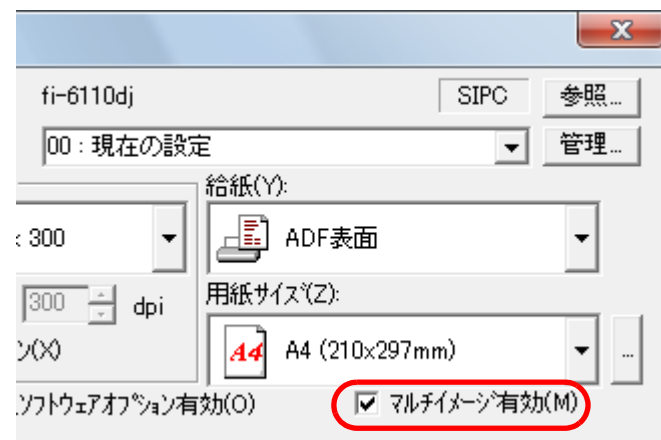
アプリケーションによっては、正しく動作しない場合があります。

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.28) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー→「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

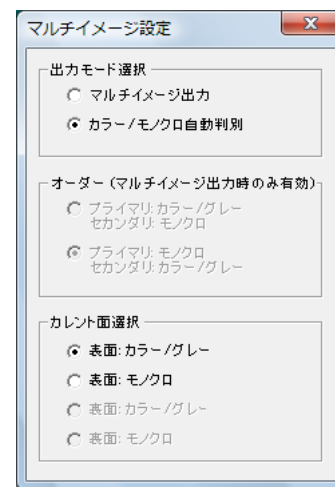


「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー→「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 3 「マルチイメージ有効」チェックボックスをチェックします。

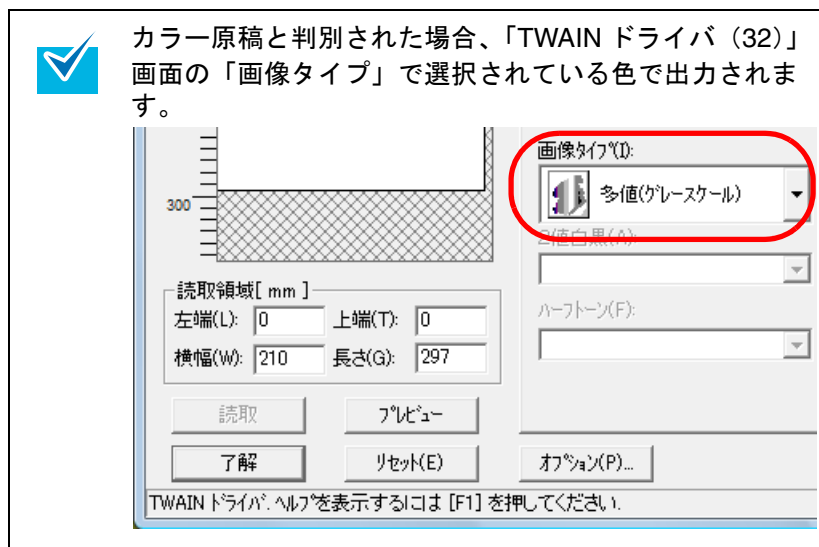


⇒「マルチイメージ設定」画面が表示されます。



- 4 「出力モード選択」で「カラー/モノクロ自動判別」をクリックします。

- 5 「カレント面選択」で設定する面をクリックします。  
 事前に「カラー/グレー」と認識された場合の読み取り設定と、「モノクロ（2値白黒）」と認識された場合の読み取り設定をしておきます。  
 それぞれ、「TWAIN ドライバ（32）」画面で読み取り条件を設定します。



- 6 「TWAIN ドライバ（32）」画面で、[了解] ボタンをクリックします。  
 ⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー→「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。



## 5.5 読み取り時のスキャナ動作の変更

### スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき

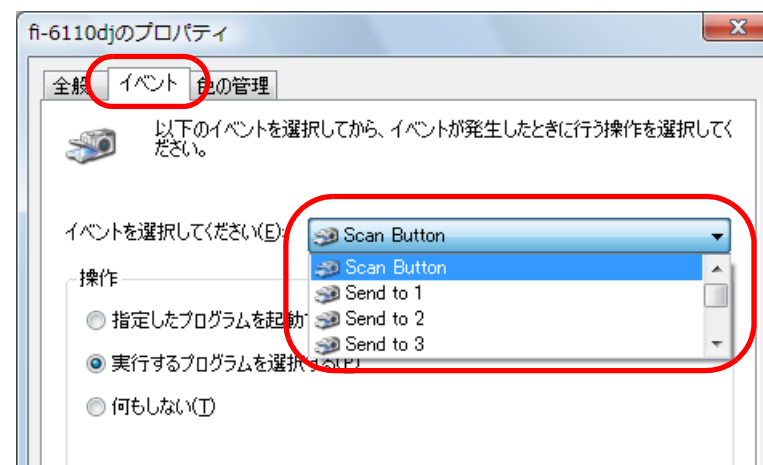
スキャナの [Scan/Stop] ボタンおよび [Send to] ボタンを使用して、原稿を読み取りできます。

この場合は、起動するアプリケーションを各ボタンに設定する必要があります。

#### コンピュータ側の設定

- 1 スキャナとコンピュータが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。  
スキャナとコンピュータの接続については、スタートアップガイドの「ケーブルを接続します」を参照してください。
- 2 「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」をクリックします。  
⇒ 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 3 「ハードウェアとサウンド」のアイコンをクリックします。  
⇒ 「ハードウェアとサウンド」画面が表示されます。
- 4 「スキャナとカメラ」のアイコンをクリックします。  
⇒ 「スキャナとカメラ」画面が表示されます。
- 5 スキャナのプロパティを表示します。  
スキャナのアイコンをダブルクリックします。

- 6 「イベント」タブをクリックし、イベントを選択します。「イベントを選択してください」のメニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。

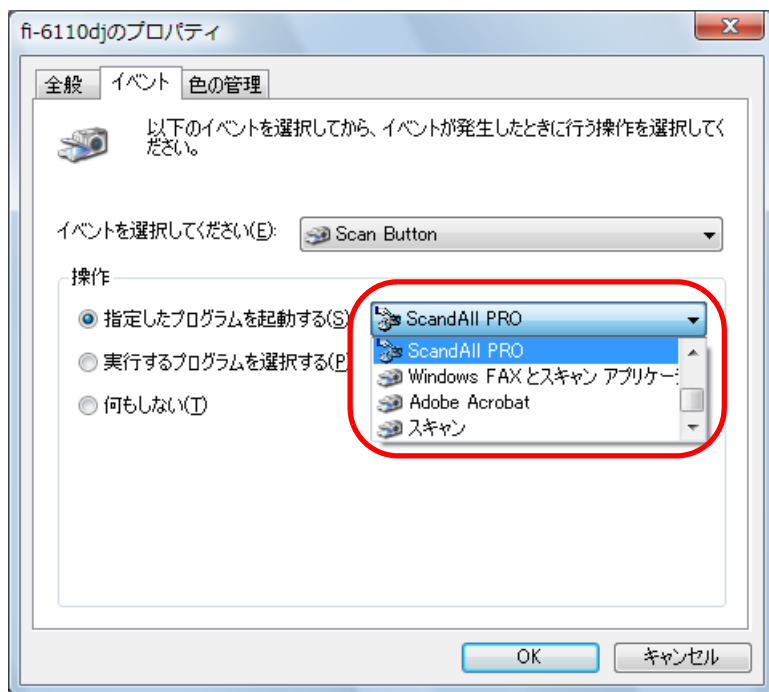


本機能では、次のイベントを選択できます。

- Scan Button ([Scan/Stop] ボタンを押したとき)
- Send to 1 ~ Send to 9 (ファンクションナンバーディスプレイに 1 ~ 9 の数字を表示させた状態で [Send to] ボタンを押したとき)

## 7 イベントで起動するアプリケーションと実行する処理を選択します。

「操作」の下の「指定したプログラムを起動する」をクリックして、右のメニューからアプリケーションをクリックします。



## 8 [OK] ボタンをクリックします。

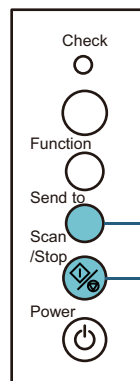
ScandAll PRO を使用する場合、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。

ScandAll PRO 以外のアプリケーションを使用する場合、コンピュータ側の設定はこれで終了です。続けて、スキャナ側の設定を行ってください。



- お使いのオペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。
- 複数のボタンを設定する場合は、手順5～8を繰り返します。

## スキャナ側の設定



[Send to] ボタン

[Scan/Stop] ボタン

- [Scan/Stop] ボタンを使う場合

特に設定することはありません。

⇒ [Scan/Stop] ボタンを押すと、設定したアプリケーションが起動されます。

- [Send to] ボタンを使う場合

[Function] ボタンを押して、ファンクションナンバーディスプレイの数字を切り替えます。

コンピュータ側で設定したイベント (Send to 1～Send to 9) と数字を合わせます。

例えば、「Send to 2」のイベントを実行する場合は、ファンクションナンバーディスプレイに「2」を表示させます。

⇒ [Send to] ボタンを押すと、設定したアプリケーションが起動されます。



- 操作パネルの詳細については、「第4章 操作パネルの操作方法」(P.50)を参照してください。

- [Function] ボタンを押すたびに、「1,2,3,・・・9,C,1,2,3,・・・」と変化します。  
1～9は、コンピュータ側で設定したイベントの Send to 1～Send to 9 と対応しています。  
Cは、Software Operation Panel と対応しています (設定変更不可)。

## マルチフィードを検出したいとき

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。

マルチフィードを検出し、エラーメッセージを表示するように設定できます。

マルチフィードの設定は、スキャナドライバか Software Operation Panel で行います。

Software Operation Panel による設定方法は、「[マルチフィード検出方法の設定 \(マルチフィード\)](#)」(P.148)を参照してください。

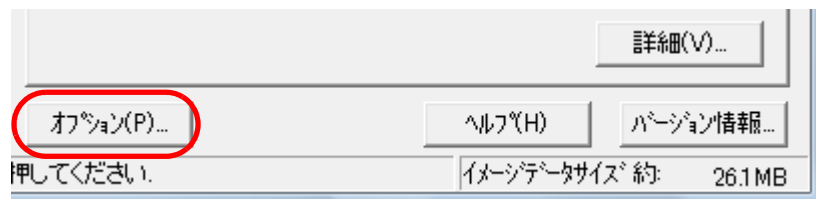
**1** ADF 給紙シュートに原稿をセットします。  
原稿をセットする方法については、「[第2章 原稿のセット方法](#)」(P.28)を参照してください。

**2** ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



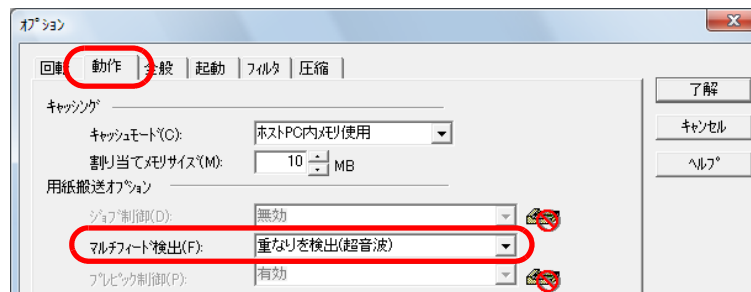
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

**3** [オプション] ボタンをクリックします。



⇒ 「オプション」画面が表示されます。

**4** 「動作」タブをクリックし、「用紙搬送オプション」の「マルチフィード検出」から、検出条件を指定します。



次の検出条件があります。

検出条件	説明
無効	マルチフィード検出を行いません。
装置設定	Software Operation Panel の設定が有効になります。
重なりを検出(超音波)	ADF 内部に設置された超音波センサーを使って、搬送される原稿を監視し、原稿が重なって搬送されたときに超音波の変化によってマルチフィード検出を行います。
長さの違いを検出	搬送される原稿の長さを監視し、長さの変化によってマルチフィード検出を行います。ただし、サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、マルチフィードを正しく検出できません。
重なりと長さの違いを検出	重なりと長さの両方を監視し、マルチフィード検出を行います。ただし、サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、マルチフィードを正しく検出できません。

マルチフィード検出の詳細については、「[マルチフィードを正しく検出するための条件](#)」(P.35)を参照してください。

- 5 [了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PRO の「スキャン」メニュー → 「スキャン」をクリックして、原稿を読み取ります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

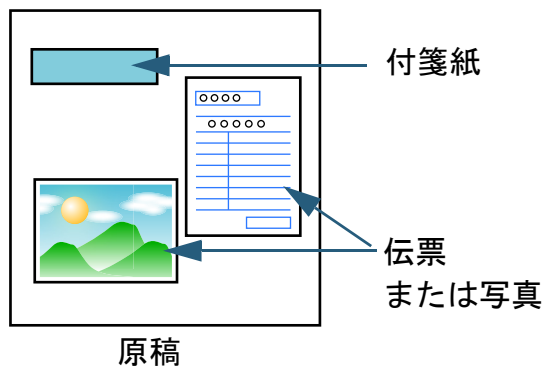
付録

用語集

## 決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき

マルチフィード検出機能を有効にして、付箋紙、伝票、または写真などが貼り付けてある原稿を読み取ると、原稿が重なっていると判断され、マルチフィードエラーが発生して読み取りが中断される場合があります。このような原稿を読み取るために「インテリジェントマルチフィード機能」があります。

本機能には、操作パネルを使用して、強制的にマルチフィードエラーを発生させないモードと、原稿に貼り付けてある付箋紙、伝票、または写真など（以降「貼り付け紙片」と呼びます）の位置や長さを記憶し、それをもとに自動的にマルチフィードエラーを発生させないモードがあります。



## インテリジェントマルチフィード機能

用途に応じて、次の3つのモードが用意されています。

モード	用途
手動モード（ボタンによる検出無効化）	マルチフィードエラー発生ごとに貼り付け紙片があるかどうかを確認しながら読み取りを継続する場合に使用します。
自動モード1（重なり長さや位置による検出無効化）	貼り付け紙片の大きさおよび位置が共通である、定型フォーマットを読み取る場合に使用します。
自動モード2（重なり長さによる検出無効化）	貼り付け紙片の大きさおよび位置が、読み取る原稿ごとに異なる場合に使用します。



マルチフィードが発生する際には、異常な画像が読み取られる場合があります。

モードの選択は、Software Operation Panelで行います。詳細については、「[マルチフィード検出しない範囲の設定（インテリジェントマルチフィード設定）](#)」（P.153）を参照してください。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 本機能を使用するための事前準備

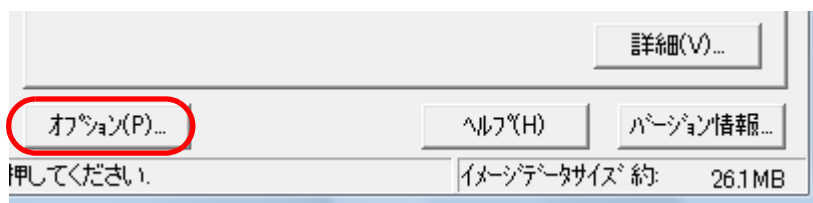
本機能を使用する前に次の設定をしておいてください。

- 1 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「スキャナの設定」をクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。



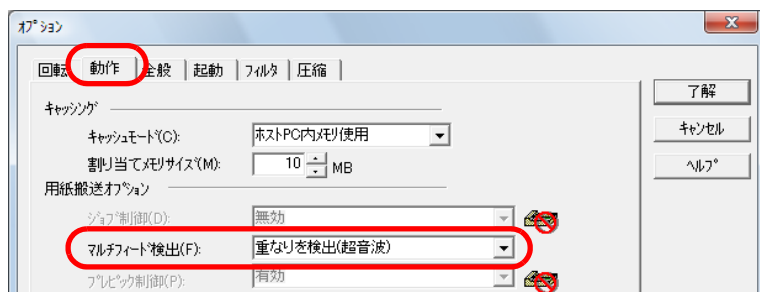
「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されない場合は、ScandAll PRO の「ツール」メニュー → 「設定」をクリックして表示される「設定」画面の「スキャン」タブで、「ドライバ」に「TWAIN」が設定されているか確認してください。

- 2 [オプション] ボタンをクリックします。

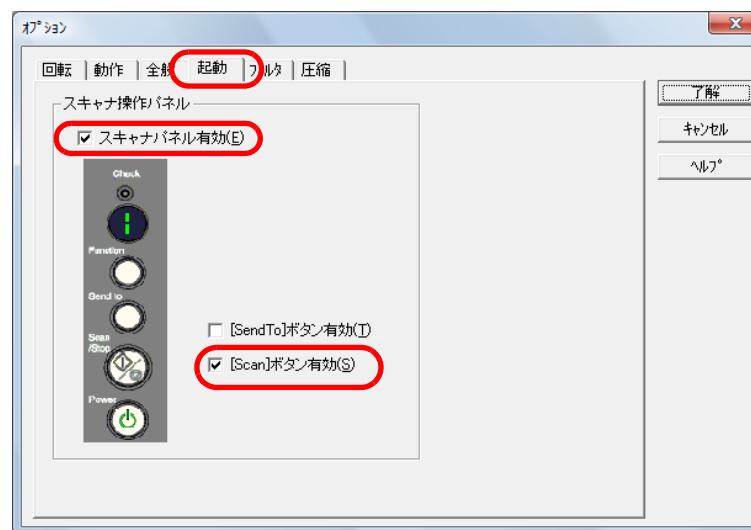


⇒ 「オプション」画面が表示されます。

- 3 「動作」タブをクリックし、「マルチフィード検出」で「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を選択します。



- 4 「起動」タブをクリックし、「スキャナパネル有効」チェックボックスおよび「[Scan] ボタン有効」チェックボックスをチェックします。



- 5 [了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。  
⇒ 設定が保存されます。


## 操作方法

1 マルチフィードエラー発生後、ADF を開けて原稿を取り除きます。

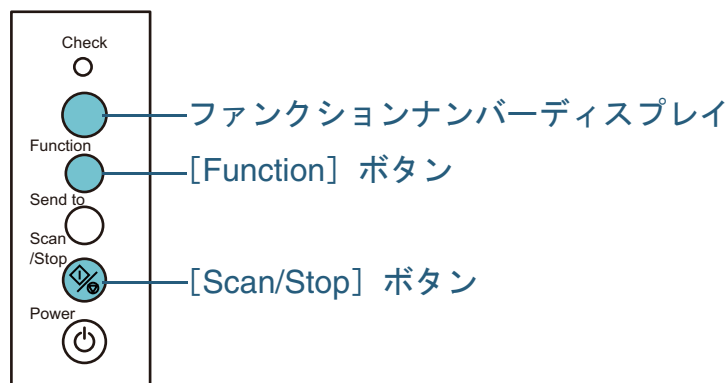
2 ADF を閉じます。  
ADF を閉じる方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。

ADF を閉じると、操作パネルのファンクションナンバーディスプレイ表示が次のように変わります。


- マルチフィードエラー発生時  
「J」と「2」が交互に表示されます。
- 原稿排出時  
ファンクションナンバーが点滅します。

 ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、読み込みができないおそれがあります。

3 取り除いた原稿を ADF 給紙シュートに戻します。  
紙片が原稿に貼られておらず、実際にマルチフィードエラーが発生している場合は、[Scan/Stop] ボタンを押すか、コンピュータから再度読み取ります（[Function] ボタンは押さないでください）。紙片が原稿に貼られており、それがマルチフィードの原因と思われる場合は次の手順に進みます。



4 [Function] ボタンを押して、ファンクションナンバーの点滅が速くなったのを確認してから [Scan/Stop] ボタンを押すか、コンピュータから再度読み取ります。  
これ以降 [Function] ボタンを押すたびにファンクションナンバーの点滅速度が、「遅い」⇔「速い」の間で切り替わります。点滅速度が速い状態で読み取る場合、設定されたモードにより、次のように動作します。

 [Function] ボタンを押して、「遅い」⇔「速い」の点滅を切り替える場合、5 秒以上の長押しは行わないでください。記憶している重なりパターンや最大重なり長が消去される場合があります。

- 手動モード（ボタンによる検出無効化）  
次の原稿はマルチフィードを検出しないで読み取り、2 枚目以降はドライバまたは Software Operation Panel のマルチフィード設定でマルチフィードを検出します。
  - 自動モード 1（重なり長さによる検出無効化）  
マルチフィードとして検出された貼り付け紙片の長さや位置を記憶し、読み取りを続けます。それ以降の読み取りで、記憶した同様な重なりパターンが検出された場合は、自動的にマルチフィードエラーを発生させません (\*1) (\*2)。
  - 自動モード 2（重なり長さによる検出無効化）  
マルチフィードとして検出された貼り付け紙片で最も長いものを記憶し、読み取りを続けます。それ以降の読み取りで、記憶した長さと同じか短い重なりが検出された場合は、自動的にマルチフィードエラーを発生させません (\*1) (\*2)。
- \*1：本モードで記憶できる重なりパターンは 32 ページ分（1 ページに最大 4 個の重なりまで可）です。この数を超えた場合は、最初に記憶されたパターンから順に消去されます。
- \*2：ここで記憶された重なりパターンや最大重なり長は、ファンクションナンバーが点滅した状態で、[Function] ボタンを 5 秒以上押すことで消去できます。消去するとファンクションナンバーディスプレイに「□」が表示されます。これにより、誤って記憶された重なりパターンや最大重なり長を消去できます。ただし、記憶しているパターンすべてが消去されるため、注意して操作してください。

# 第6章 日常のお手入れ

この章では、スキャナの清掃方法について説明します。



**警告**



清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどがスキャナ内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。  
また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。



**注意**




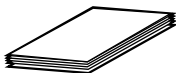

スキャナ使用時は ADF 内部のガラスは高温になります。  
内部の清掃を行うときは、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから行ってください。

6.1 清掃用品および清掃が必要な場所.....	89
6.2 スキャナ外部の清掃.....	90
6.3 スキャナ内部の清掃.....	91
6.4 A3 キャリアシートの清掃.....	93



## 6.1 清掃用品および清掃が必要な場所

### 清掃用品

清掃用品	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1 ボトル (100ml) 布にしみこませて使用します。大量に使用すると、乾きにくい場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ F1 が残らないように布で本剤をよくふき取ってください。
クリーニングペーパー 	FI-C100CP	クリーナ F1 と共に使用します。
クリーニングワイブ 	FI-C100CW	1 箱 (24 袋入り) クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
乾いた布	市販のもの	
ScanAid (*1)	FI-611SA	-

\*1 : ScanAid の詳細については、「付 .4 スキャナのオプション」(P.161) を参照してください。

清掃用品の詳細については、スキャナを購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU PFU ダイレクト」(P.169) にお問い合わせください。

### 清掃箇所と清掃頻度

清掃箇所	清掃頻度
パッドユニット	1,000 枚読み取りごとに清掃してください。
超音波センサー	
プラスチックローラー	
ガラス	
ピックアップユニット	
フィードローラー	
排出ローラー	



原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。また、次のような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃する必要があります。

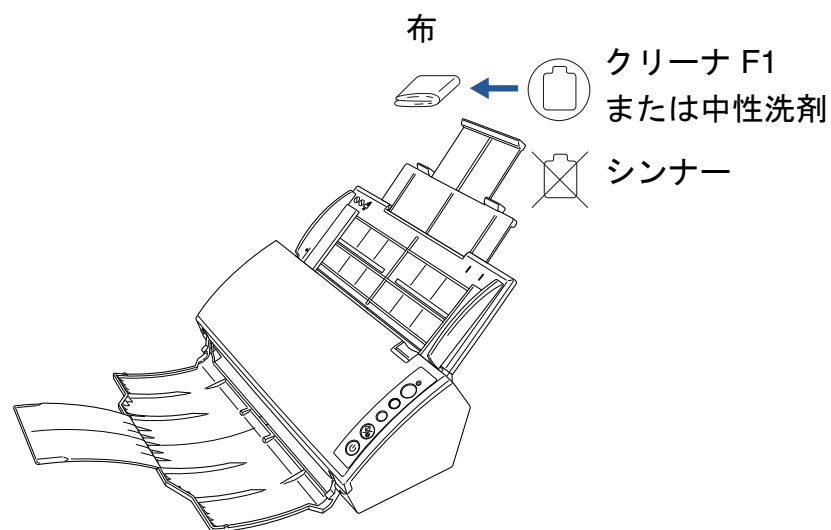
- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷してある原稿
- ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿
- トナーが十分定着していない原稿

## 6.2 スキャナ外部の清掃

スキャナ外部、ADF 給紙シュート、およびスタッカーなどは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布またはクリーニングペーパーや、クリーニングワイプで清掃します。



- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。
- 清掃中に、内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 6.3 スキャナ内部の清掃

スキャナ内部は、少量のクリーナ F1 をしみこませた布またはクリーニングペーパーや、クリーニングワイプで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、スキャナ内部に、紙粉やほこりなどがたまり、読み取り不良の原因となる場合があります。

スキャナ内部の清掃は、目安として1,000枚読み取りごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

### 注意

- スキャナ使用時は、ADF 内部のガラスが高温になります。内部の清掃を行う場合は、電源ケーブルをコンセントから抜き、15分以上待ってから清掃を行ってください。
- 清掃時は、スキャナ内部を確認しながら、ピックアップバネ（金属部）に手や布が引っかからないように注意してください。ピックアップバネ（金属部）が変形して、けがの原因となることがあります。



- スキャナ内部を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

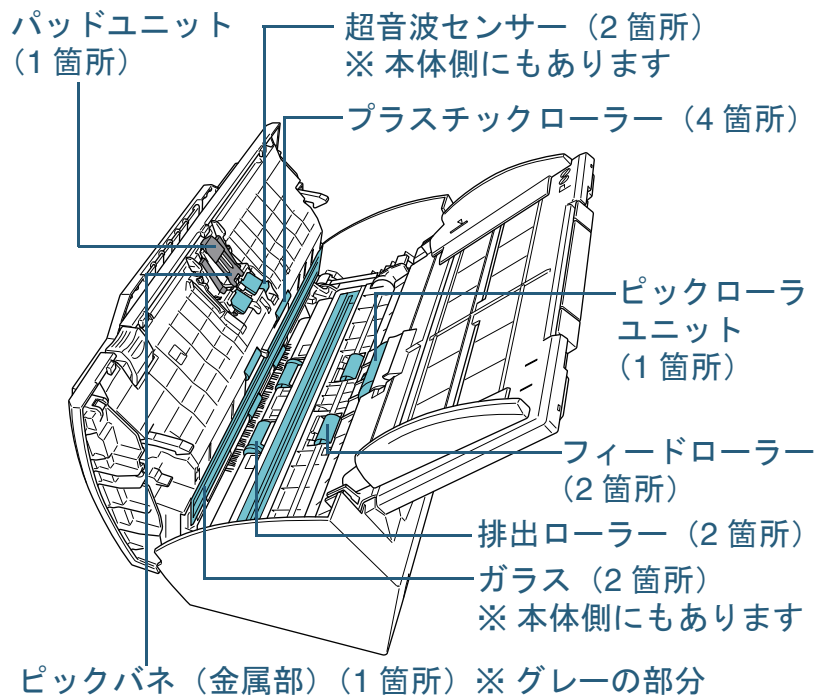
**1** スキャナの電源を切断し、15分以上待ちます。電源を切断する方法については、「1.3 電源の投入 / 切断」(P.19)を参照してください。

**2** ADF を開きます。ADF を開く方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.20)を参照してください。

### 注意

ADF が閉まり、指などはさむおそれがあります。注意してください。

**3** 少量のクリーナ F1 をしみこませた布またはクリーニングペーパーや、クリーニングワイプで、次の場所を清掃します。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

### パッドユニット (1箇所)

ゴム製のパッド表面に付着したよごれやほこりを、上から下に向かってふき取ります。このとき、ピックパネ (金属部) に、手や布が引っかからないように注意してください。

### 超音波センサー (2箇所)

超音波センサー表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

### プラスチックローラー (4箇所)

手で少しずつ回転させながら、よごれやほこりを軽くふき取ります。ローラーの表面をいためないように注意してください。異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃を行ってください。

### ガラス (2箇所)

ガラス表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

### ピックローラユニット (1箇所)

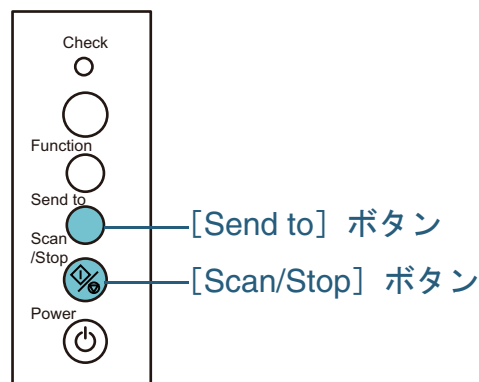
手で上から下に向かって回転させながら、よごれやほこりを軽くふき取ります。ローラーの表面をいためないように注意してください。異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃を行ってください。

### フィードローラー (2箇所) / 排出ローラー (2箇所)

フィードローラー / 排出ローラーは、電源を入れて回転させながら清掃します。

- 1 スキャナの電源を投入します。  
電源を投入する方法については、「1.3 電源の投入 / 切断」 (P.19) を参照してください。
- 2 操作パネルのファンクションナンバーディスプレイに「1」が表示されているときに ADF を開きます。  
ADF を開く方法については、「1.4 ADF の開閉」 (P.20) を参照してください。

- 3 操作パネルの [Send to] ボタンと [Scan/Stop] ボタンを同時に押すと、フィードローラー / 排出ローラーが一定量回転します。



**注意**

[Send to] ボタンと [Scan/Stop] ボタンを同時に押すと、フィードローラー / 排出ローラーが同時に回転します。清掃する場合、回転中のローラーに手が触れないように、注意してください。

- 4 少量のクリーナ F1 をしみこませた布またはクリーニングペーパーや、クリーニングワイブをフィードローラー / 排出ローラー表面に押し当てて左右に擦り清掃します。  
[Send to] ボタンと [Scan/Stop] ボタンを同時に押してローラーを回転させながらローラー全域を清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、清掃を十分に行ってください。  
なお、目安として、[Send to] ボタンと [Scan/Stop] ボタンを同時に 6 回押すと、フィードローラー / 排出ローラーが 1 回転します。

- 4 ADF を閉じます。  
ADF を閉じる方法については、「1.4 ADF の開閉」 (P.20) を参照してください。



ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、読み込みができないおそれがあります。

## 6.4 A3 キャリアシートの清掃

A3 キャリアシートは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布またはクリーニングペーパーや、クリーニングワイプで清掃します。

A3 キャリアシートの表面や内部のよごれやほこりを、軽くふき取ります。

A3 キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。

そのまま使い続けると、読み取り不良の原因となる場合がありますので、定期的に清掃してください。



- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。
- 強くこすらないでください。A3 キャリアシートが傷ついたり、変形したりするおそれがあります。
- A3 キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布またはクリーニングペーパーや、クリーニングワイプで清掃したあとは、十分乾かしてから A3 キャリアシートを閉じてください。
- A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取りごとに交換することをお勧めします。  
A3 キャリアシートの購入については、「[7.4 A3 キャリアシートの購入](#)」(P.101) を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

# 第7章 消耗品の交換

この章では、スキャナの消耗品の交換について説明します。

## ⚠ 注意

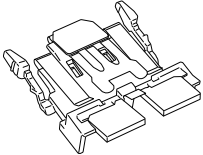
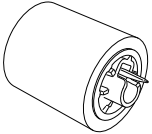


- スキャナ使用時は ADF 内部のガラスは高温になります。
- 消耗品の交換を行うときは、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから行ってください。

7.1 消耗品と交換周期.....	95
7.2 パッドユニットの交換.....	96
7.3 ピックローラユニットの交換.....	97
7.4 A3 キャリアシートの購入 .....	101

## 7.1 消耗品と交換周期

スキャナに使用される消耗品を次の表に示します。

品名	型名	交換周期（目安）
パッドユニット 	FI-C611P	50,000 枚または1年ごと
ピックローラユニット 	FI-C611PR	100,000 枚または1年ごと
ScanAid (*1)	FI-611SA	-

\*1 : ScanAid の詳細については、「[付 .4 スキャナのオプション](#)」 (P.161) を参照してください。

消耗品は定期的に交換が必要です。寿命前に消耗品を準備されることをお勧めします。また、スキャナでは、各消耗品取り付け後の読み取り原稿枚数（パッドユニットおよびピックアップローラユニット）をそれぞれ記録していますので、使用状況を確認できます。

確認したい場合は、「[9.4 枚数カウンタに関する設定](#)」 (P.140) を参照してください。

交換周期は、A4 原稿 80g/m<sup>2</sup> (69kg/連) の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。



当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品のご購入については、「[株式会社 PFU PFU ダイレクト](#)」 (P.169) にお問い合わせください。

お客様の使用頻度、読み取る原稿の種類によっては、消耗品以外にもサービスエンジニアによる交換が必要な部品が発生します。詳細は、サービスエンジニアまたは当社のサービスセンター（「[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」 (P.169)）にお問い合わせください。

## 7.2 パッドユニットの交換

パッドユニットを交換する手順を次に示します。

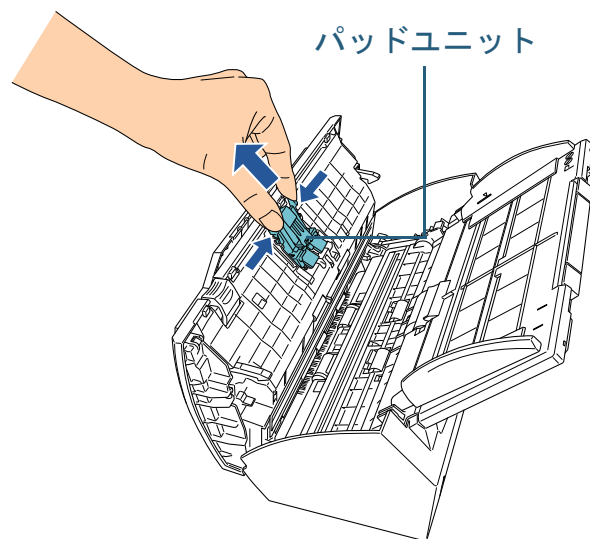
- 1 ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF を開きます。  
ADF を開く方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。



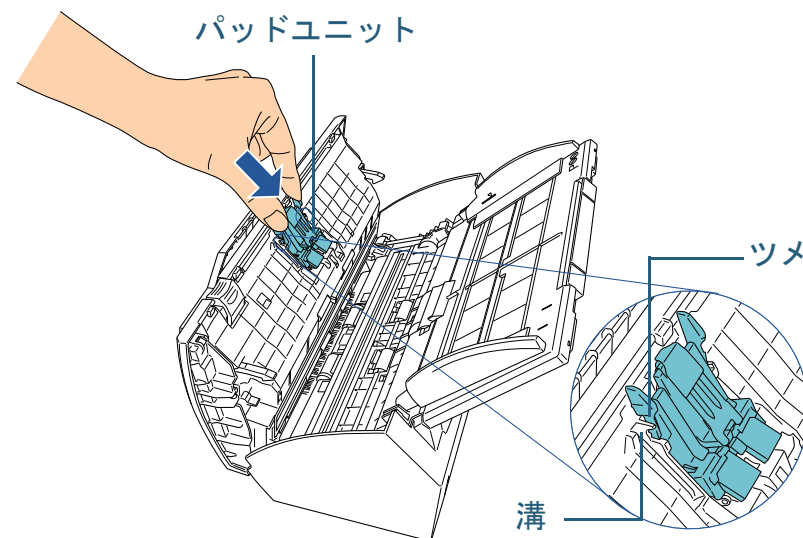
**注意**

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

- 3 パッドユニットを取り外します。  
パッドユニットの両端をつまんで、矢印の方向に取り外します。



- 4 新しいパッドユニットを取り付けます。  
パッドユニットを元の位置にはめ、左右のツメが溝に入るまで押し込んでください。



パッドユニットがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

- 5 ADF を閉じます。  
ADF を閉じる方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。



**注意**

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

- 6 パッドユニットのカウンターをリセットします。  
Software Operation Panel を起動し、カウンターをリセットします。詳細については、「枚数カウンタのリセット」(P.141) を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

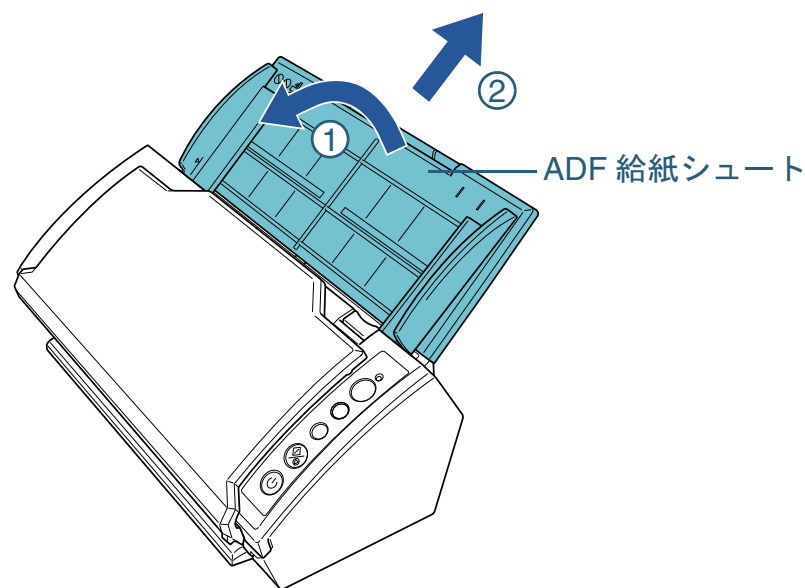
用語集



## 7.3 ピックローラユニットの交換

ピックアップユニットを交換する手順を次に示します。

- 1 ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF 給紙シュートを取り外します。  
ADF 給紙シュートの両端を持って、①のように斜め上方に持ち上げながら、②の方向に引き上げます。



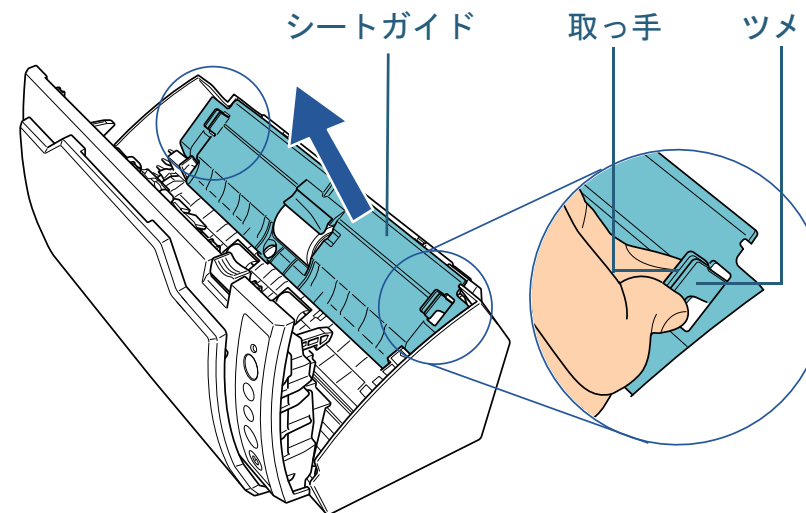
- 3 ADF を開きます。  
ADF を開く方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。



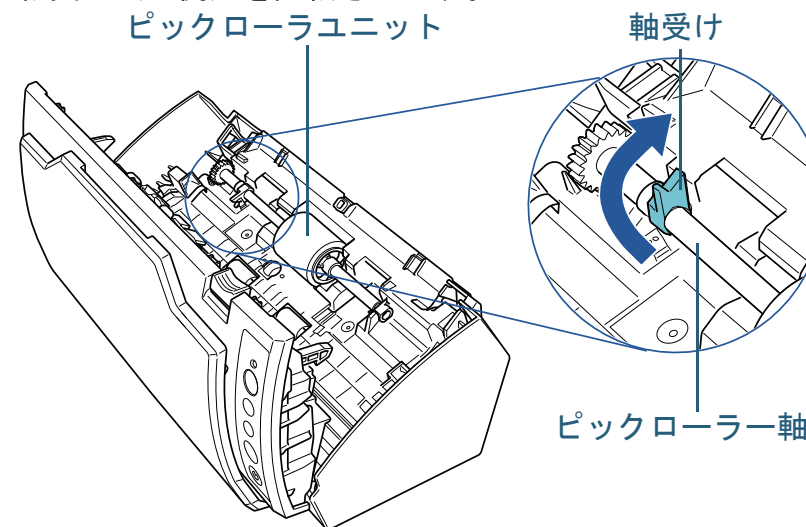
**注意**

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

- 4 シートガイドを取り外します。  
シートガイドの両端の取っ手をつまんで、ツメを内側に押しながら、持ち上げて取り外します。



- 5 軸受け（左側）を回転させます。  
ピックアップユニット



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

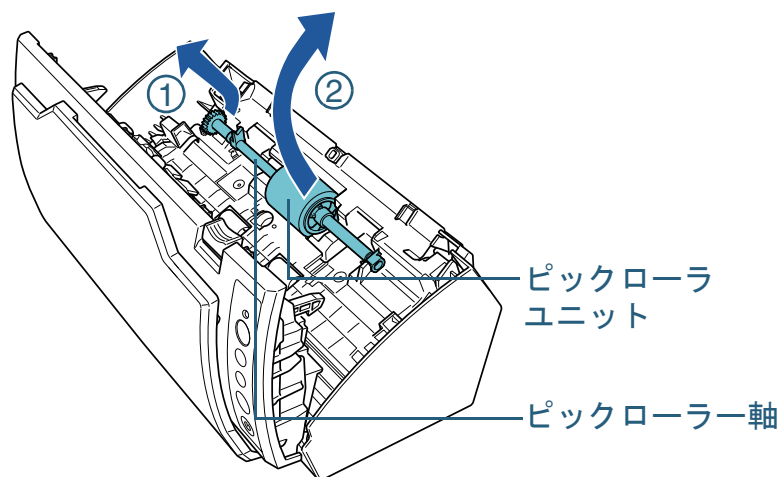
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

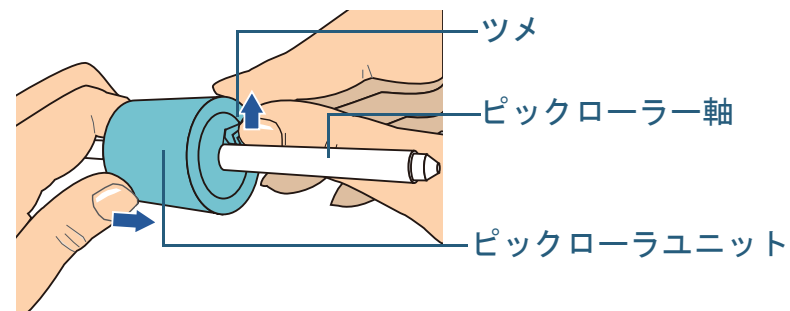
用語集

- 6 ピックローラー軸を取り外します。  
 ピックローラー軸の左側を軽く引き上げ (5mm 程度)、左側にずらしてから、上に持ち上げて取り外します。

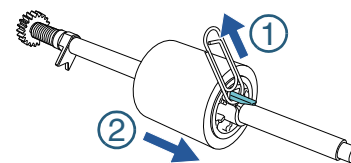


ピックアップユニットの周辺が紙粉でよごれている場合があります。そのまま放置すると、読み取り不良の原因となりますので、乾いた布に少量のクリーナ F1 をしみこませて、紙粉をふき取ってください。水や中性洗剤、エアスプレーは使用しないでください。

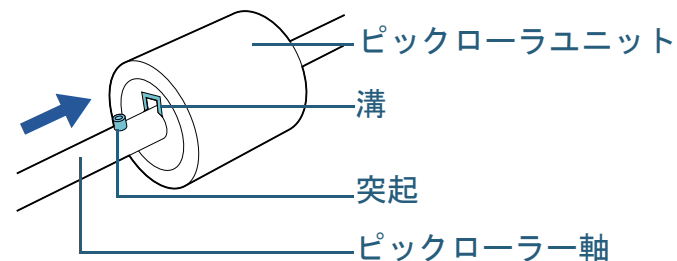
- 7 ピックローラーユニットを、ピックアップローラー軸から取り外します。  
 ピックローラーユニットのツメを持ち上げながら、ピックアップローラー軸を引き抜きます。



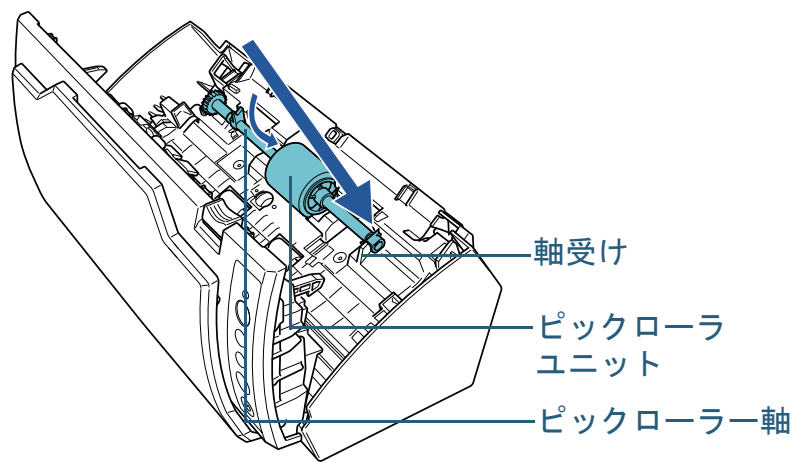
指のつめを使って持ち上げると、指のつめが傷ついたり、欠けたりする可能性があります。うまく持ち上げられない場合は、クリップなどを使ってピックアップローラーユニットのツメを持ち上げてください。



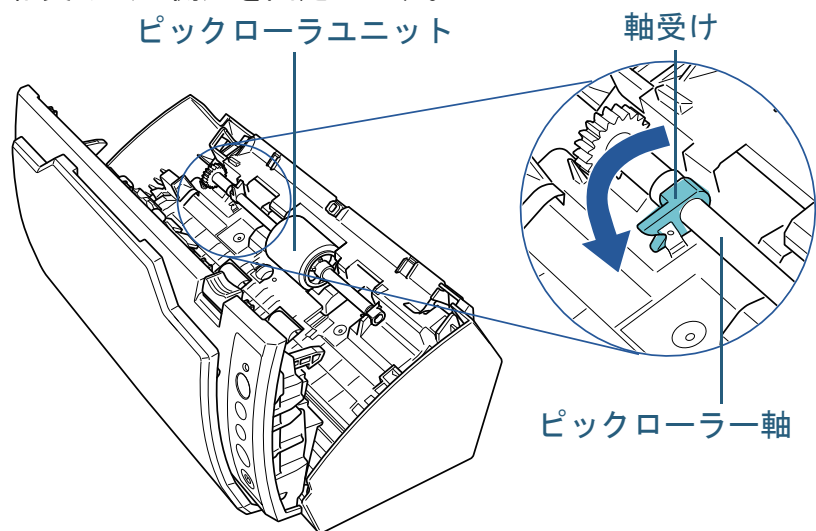
- 8 新しいピックアップローラーユニットを、ピックアップローラー軸に取り付けます。  
 ピックローラー軸の突起部分をピックアップローラーユニットの溝にはめ込みます。



- 9** ピックローラー軸を取り付けます。  
右側の軸受けに斜め上方からピックローラー軸の先端をはめ、軸を寝かせながら、徐々にはめ込みます。

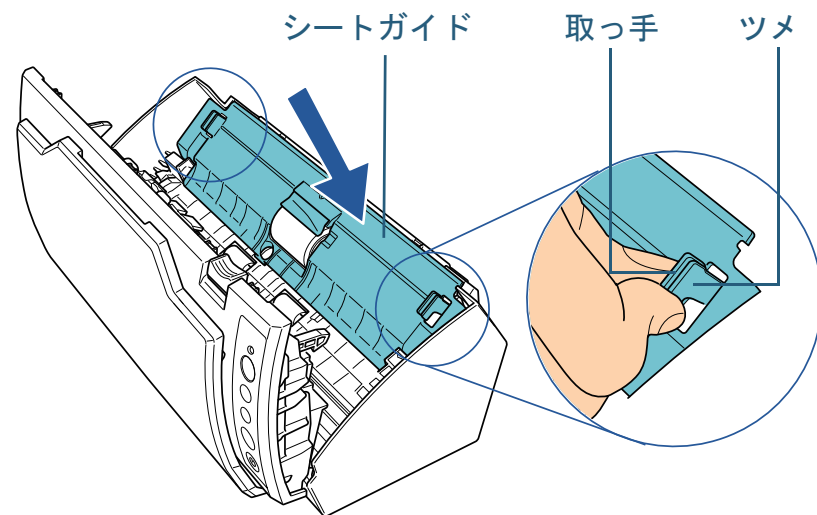


- 10** 軸受け（左側）を固定します。  
ピックローラーユニット



**!** ピックローラー軸がしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

- 11** シートガイドを取り付けます。  
シートガイドの両端の取っ手をつまんで、元の位置に取り付けます。「パチン」という音がして、ツメが外側に開きます。



**!** シートガイドがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

- 12** ADF を閉じます。  
ADF を閉じる方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。



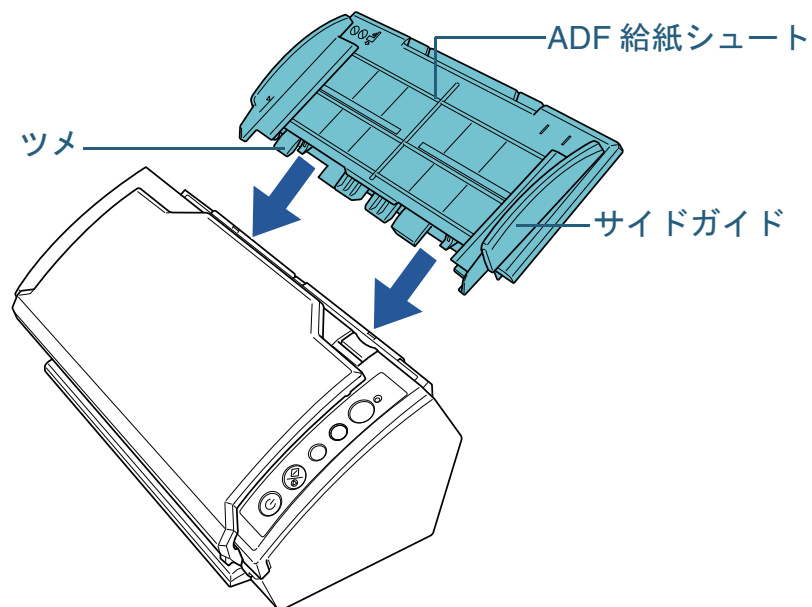
**注意**

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

### 13 ADF 給紙シュートを取り付けます。

ADF 給紙シュートを、スキャナ背面にある穴に ADF 給紙シュートのツメが入るように差し込み、押し込むようにしてしっかり固定します。

サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。



### 14 ピックローラユニットのカウンターをリセットします。

Software Operation Panel を起動し、カウンターをリセットします。詳細については、「枚数カウンタのリセット」(P.141) を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

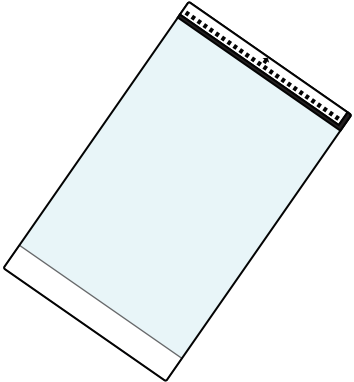
## 7.4 A3 キャリアシートの購入

本製品に添付されている A3 キャリアシートが、破損、磨耗などによって、読み取りができなくなった場合は、A3 キャリアシートだけを別途ご購入していただけます。

A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取りごとに交換することをお勧めします。

ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

A3 キャリアシート（別売）の品名、型名を次の表に示します。

品名	型名	数量
A3 キャリアシート 	FI-511ES	5 枚

A3 キャリアシートのご購入については、「株式会社 PFU PFU ダイレクト」（P.169）にお問い合わせください。

### 株式会社 PFU PFU ダイレクト

お問い合わせ先

E-mail : [shop@pfu.fujitsu.com](mailto:shop@pfu.fujitsu.com)

電話 : 0120-14-4541

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00  
(土・日・祝日・年末年始)

# 第8章 困ったときには

この章では、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。



記載されている内容以外のトラブルおよびエラーの詳細については、TWAIN ドライバのヘルプ、ISIS ドライバのヘルプ、または Error Recovery Guide を参照してください。

8.1 原稿づまりが発生したときは.....	103
8.2 操作パネルのエラー表示.....	104
8.3 困ったときには.....	107
8.4 サービスセンターに連絡する前に.....	124
8.5 装置ラベルの確認.....	126

## 8.1 原稿づまりが発生したときは

原稿がつまった場合は、次の要領で原稿を取り除いてください。

### 注意

- つまった原稿を取り除くときは、けがをしないように注意してください。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイやネックレスなどがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
- ガラスやガイドが高温になっている場合があります。やけどをしないように注意してください。
- 必ずADFを開けてから原稿を取り除いてください。

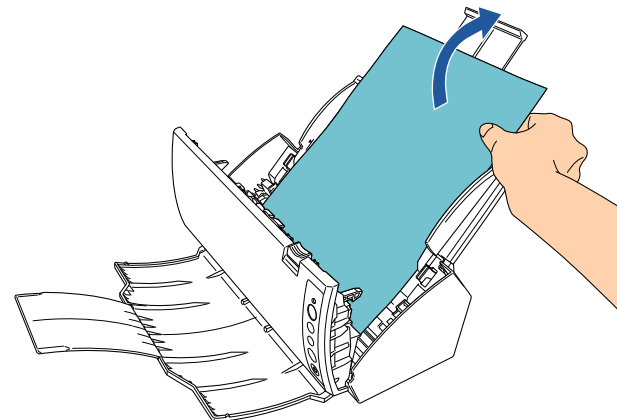
1 ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。

2 ADF を開きます。  
ADF を開く方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。

### 注意

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。注意してください。

3 つまっている原稿を取り除きます。



- ステープルやクリップなどは原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
- ステープルやクリップなどの付いた原稿を取り除くときに、ガラスやガイドを傷つけるおそれがありますので注意してください。

4 ADF を閉じます。  
ADF を閉じる方法については、「1.4 ADF の開閉」(P.20) を参照してください。



- ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、読み込みができないおそれがあります。
- 読み取り終了時または読み取りをキャンセルしたとき、エラーメッセージが表示されずに原稿がADFの内部に残る場合があります。その場合は、上記の手順1～4に従って取り除いてください。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

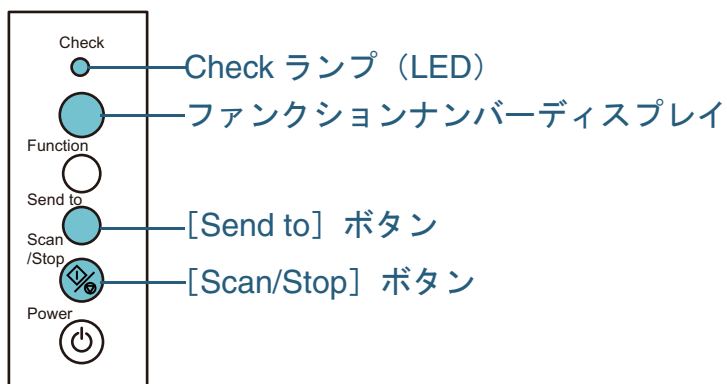
スキャナの動作設定

付録

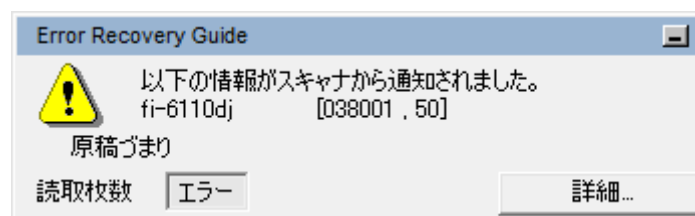
用語集

## 8.2 操作パネルのエラー表示

スキャナにトラブルが発生すると、Check ランプ（LED）が橙色に点灯します。一時的エラーの場合は「J」または「U」と「エラー番号」が、装置異常の場合は「E」、「H」、または「L」のうちの1つと「アラーム番号」がそれぞれ交互に、ファンクションナンバーディスプレイに表示されます。一時的エラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、サービスエンジニアによる復旧作業が必要となります。なお、エラー表示中に [Scan/Stop] ボタンまたは [Send to] ボタンを押すと、レディ状態（「1」）に戻ります。原稿づまりエラーの場合は、スキャナ内に原稿がない状態（読み取り可能な状態）であれば、一定時間経過すると自動的に表示がクリアされます。



お使いのコンピュータに Error Recovery Guide がインストールされている場合、Windows の起動と同時に Error Recovery Guide の画面が表示されます。エラーや装置異常が発生すると、エラーの名称やコード番号などの関連情報が、Error Recovery Guide の画面に表示されます。画面に表示される情報を書き留めて、[詳細] ボタンをクリックし、対処方法を確認してください。



Error Recovery Guide は、Setup DVD-ROM に収録されています。インストール方法については、スタートアップガイドの「ソフトウェアをインストールします」を参照してください。



## 一時的エラー

お客様による復旧が可能な一時的なエラーです。  
エラーの一覧を次に示します。

### ■搬送系エラー

「J」と「エラー番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
J1	原稿づまりが発生しました。	1 つまった原稿を取り除いてください。 原稿の取り除き方法については、「 <a href="#">8.1 原稿づまりが発生したとき</a> 」(P.103)を参照してください。 2 読み取る原稿が ADF での読み取りに適しているかを確認してください。 詳細は、「 <a href="#">2.2 原稿について</a> 」(P.32)を参照してください。
J2	マルチフィードが発生しました。	ADF を開けて原稿を取り除いてください。

### ■カバーオープンエラー

「U」と「エラー番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
U4	読み取り中に ADF が開かれました。	ADF を閉じて、原稿をセットし直してください。

## 装置異常

サービスエンジニアによる復旧作業が必要なエラーです。  
エラーの一覧を次に示します。

### ■光量異常、内部異常

「E」と「アラーム番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
E2	光量異常 (ADF 表面) が発生しました。	1 ガラスを清掃してください。 ガラスの清掃方法については、「 <a href="#">6.3 スキャナ内部の清掃</a> 」(P.91)を参照してください。 2 スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された弊社 / 販売店または「 <a href="#">株式会社 PFU イメージング サービス &amp; サポートセンター</a> 」(P.169)にお問い合わせください。
E3	光量異常 (ADF 裏面) が発生しました。	
E7	EEPROM 異常が発生しました。	スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された弊社 / 販売店または「 <a href="#">株式会社 PFU イメージング サービス &amp; サポートセンター</a> 」(P.169)にお問い合わせください。
E9	メモリ異常が発生しました。	

## ■モーター系の異常

「H」と「アラーム番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
H0	モーター系異常が発生しました。	スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.169)にお問い合わせください。

## ■センサー系の異常

「L」と「アラーム番号」が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
L6	センサー異常が発生しました。	スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.169)にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 8.3 困ったときには

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。項目を点検しても直らない場合は、「8.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.124)の各項目を確認して、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.169)にお問い合わせください。

発生するトラブル事例を次に示します。

症状一覧
「電源が入らない」(P.108)
「ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える」(P.109)
「読み取りが開始されない」(P.110)
「白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる」(P.111)
「文字や線の読み取り結果が良くない」(P.112)
「画像がゆがむまたは鮮明ではない」(P.113)
「読み取った画像に縦線が出る」(P.114)
「スキャナに電源が入ったあとで、ファンクションナンバーディスプレイに異常(「E」またはその他の数字や文字)が表示されている」(P.115)
「マルチフィードが頻繁に起こる」(P.116)
「原稿がADFに送り込まれない状態が頻繁に起こる」(P.118)
「原稿づまり / ピックミスが頻繁に起こる」(P.119)

症状一覧
「読み取った画像が間延びする」(P.120)
「読み取った画像の先端または後端に影がある」(P.121)
「原稿に黒い跡が残る」(P.122)
「A3 キャリアシートで読み取ると原稿づまりが頻繁に発生する」(P.123)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

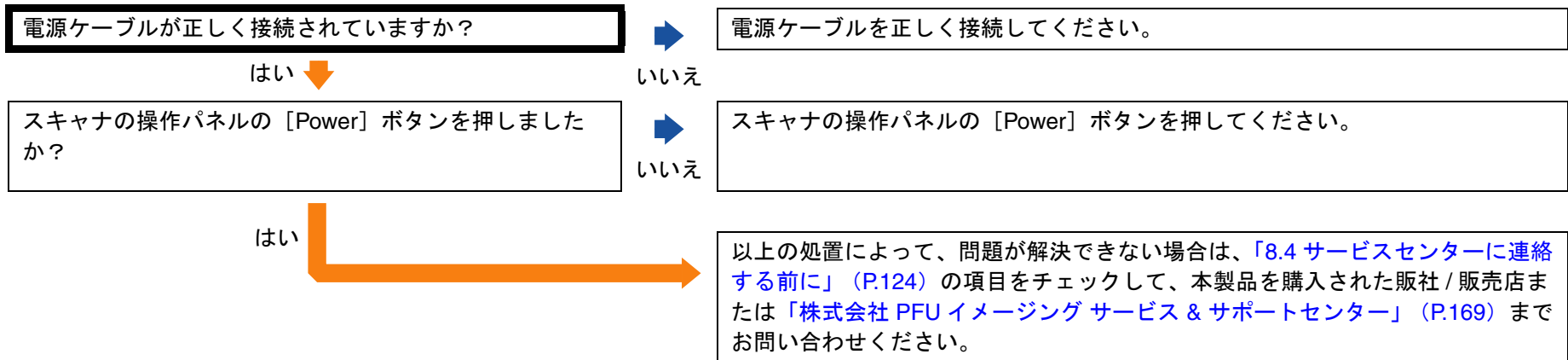
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 電源が入らない



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

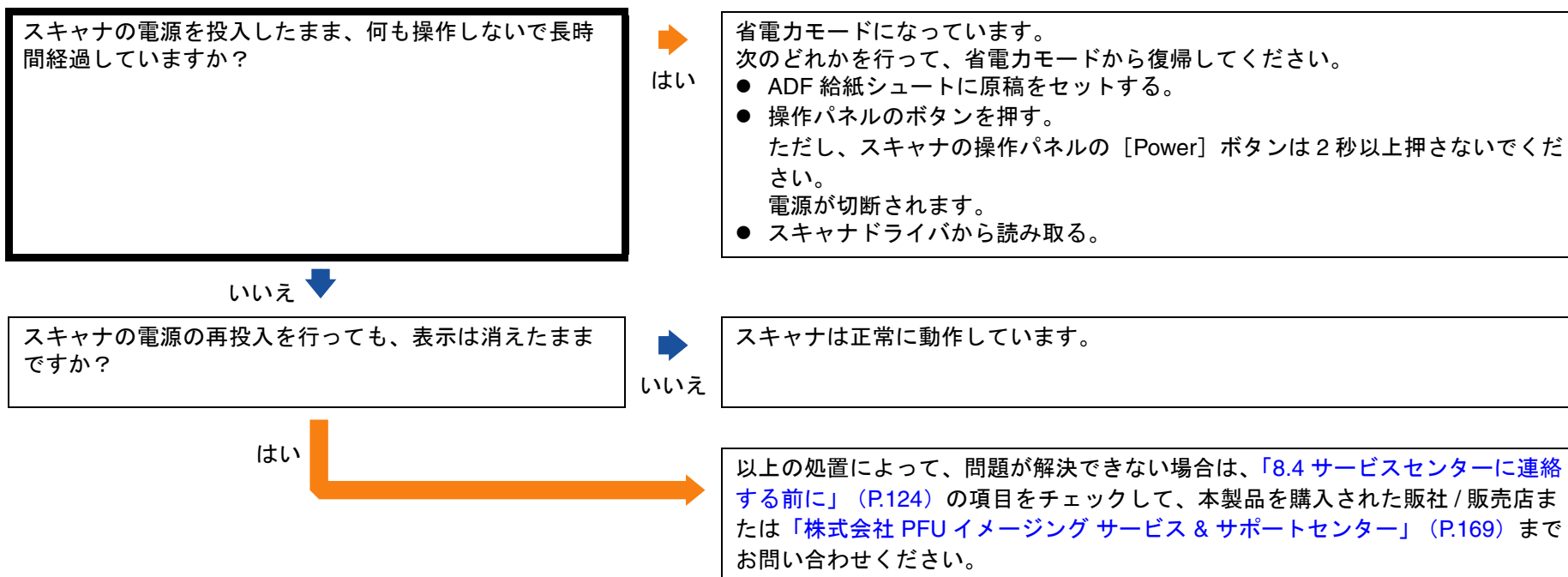
困ったときには

スキャナの動作設定

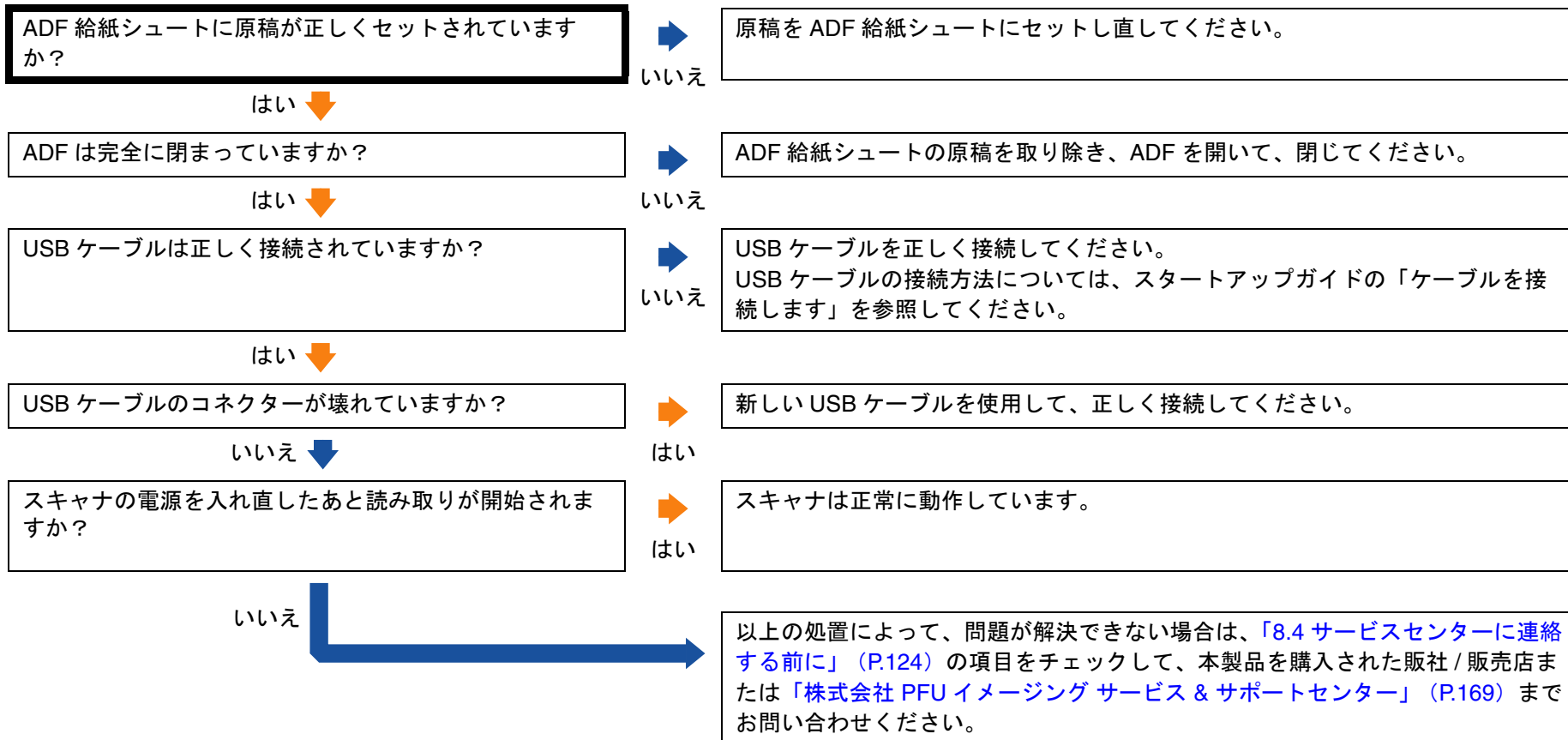
付録

用語集

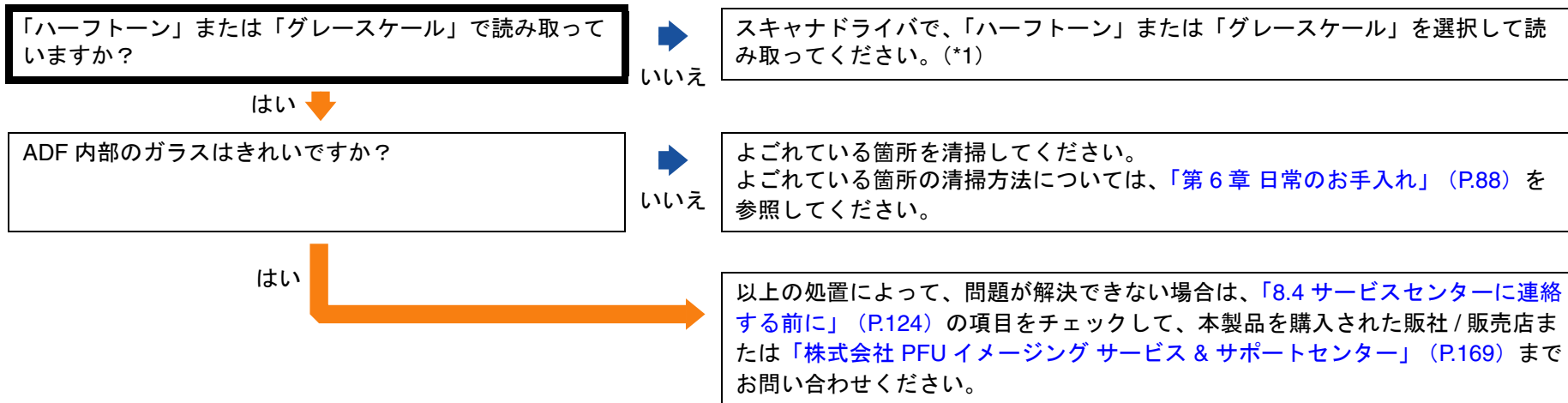
## ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える



## 読み取りが開始されない

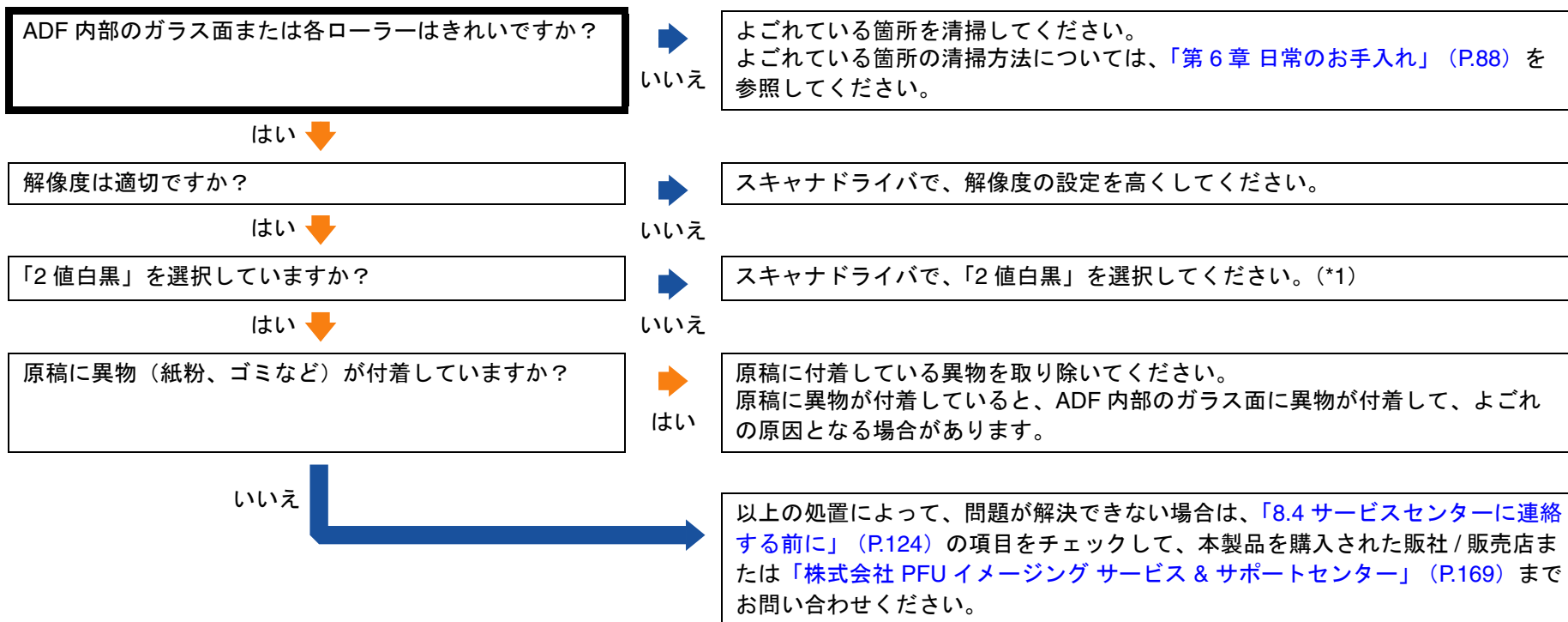


## 白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる



\*1: 絵や写真を単純に2値化(白黒化)すると、画像がオリジナルと著しく異なることがあります。スキヤナドライバの設定画面から設定可能な場合は、画像タイプを「ハーフトーン」、「グレースケール」に設定して読み取ってください。

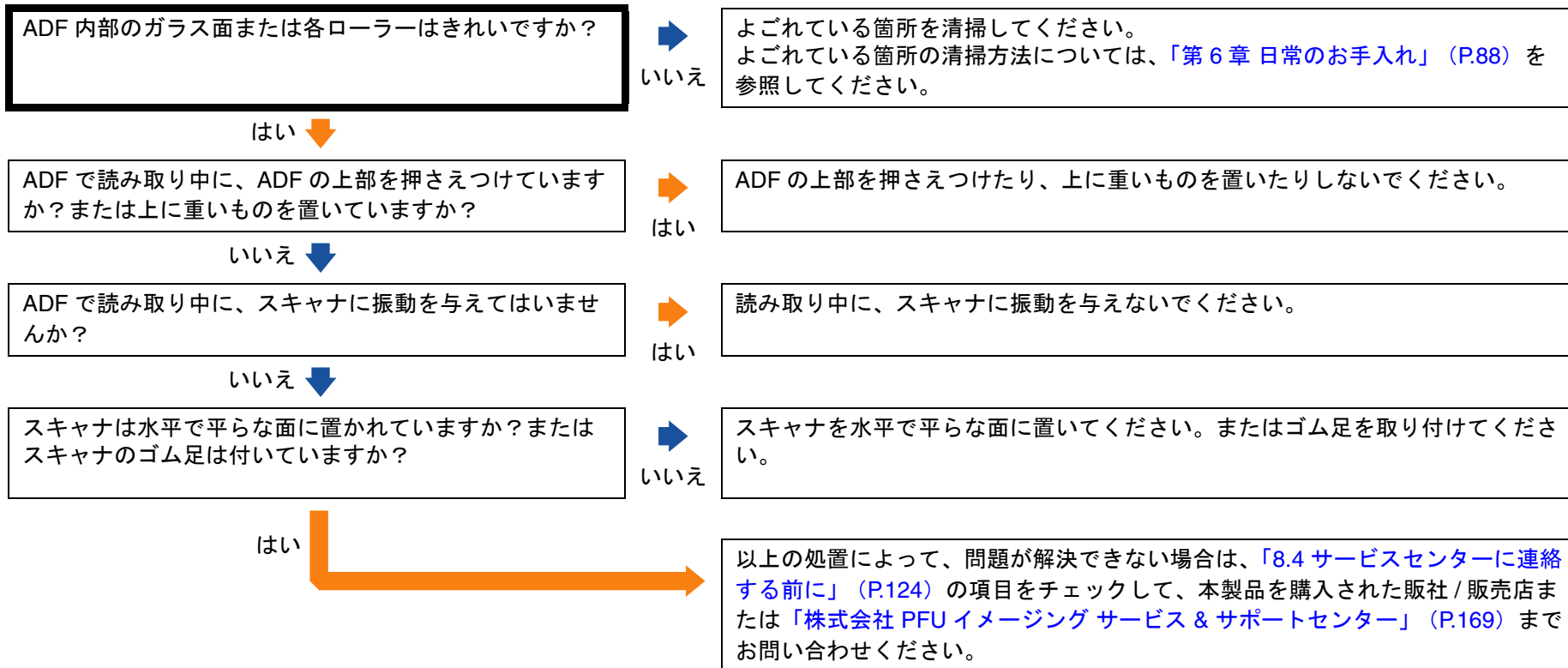
## 文字や線の読み取り結果が良くない



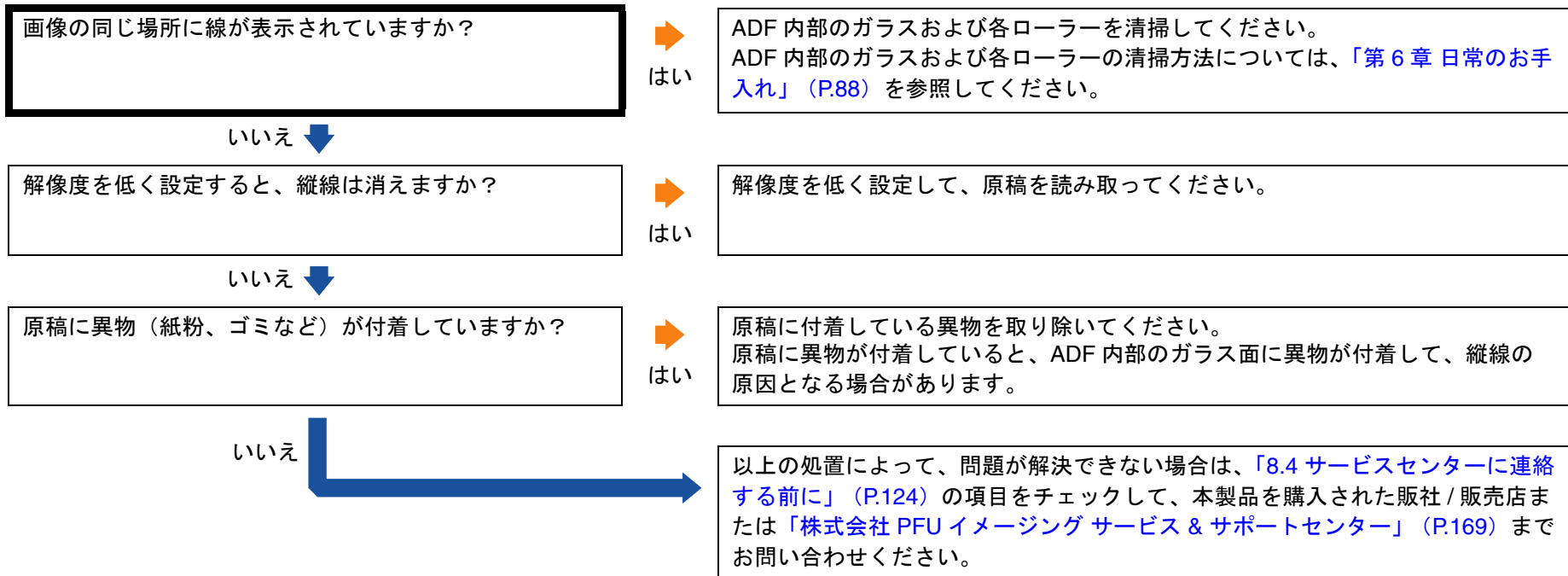
\*1：ハーフトーン、グレースケール、カラーで読み取ると、文字や線画の読み取り結果が鮮明ではないことがあります。スキャナドライバの設定画面から設定可能な場合は、画像タイプを「2値白黒」に設定してください。



## 画像がゆがむまたは鮮明ではない



## 読み取った画像に縦線が出る



## スキャナに電源が入ったあとで、ファンクションナンバーディスプレイに異常（「E」またはその他の数字や文字）が表示されている

スキャナの電源を入れ直したあとも、ファンクションナンバーディスプレイに異常が表示されますか？

いいえ

スキャナは正常に作動しています。

はい ↓

ファンクションナンバーディスプレイに「c」の点滅表示、および Check ランプ（LED）が点滅表示されますか？

はい

ADF をしっかりと閉じてください。  
ADF を閉じる方法については、「[1.4 ADF の開閉](#)」（P.20）を参照してください。  
ADF を閉じても表示がレディ状態（「1」）に戻らない場合は、「[8.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」（P.124）の項目をチェックして、本製品を購入された販売店 / 販売店または「[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」（P.169）までお問い合わせください。

いいえ ↓

読み取り中にファンクションナンバーディスプレイに「h」が表示されますか？

はい

問題ありません。装置保護モードで動作しています。読み取りを継続すると自動的に解除されます。  
ただし、装置保護モードで動作しているときは原稿間での停止時間が長くなり、性能が低下します。

いいえ

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[8.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」（P.124）の項目をチェックして、本製品を購入された販売店 / 販売店または「[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」（P.169）までお問い合わせください。

## マルチフィードが頻繁に起こる

<p>原稿の状態は、「原稿の紙質」(P.32)の「事前の注意」で説明している要件を満たしていますか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>要件を満たしている原稿をお使いください。 要件については、「2.2 原稿について」(P.32)を参照してください。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>A3 キャリアシートを使用して読み取るとき、スキャナドライバの設定画面で「給紙」に「見開き」を設定していますか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>スキャナドライバの設定画面で「給紙」に「見開き」を設定してください（「A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき」(P.57)）。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>マルチフィードの検出がオンになっているとき、マルチフィードを正しく検出するための条件を満たしていますか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>マルチフィードを正しく検出するための条件を満たしてください。 マルチフィードの検出条件については、「マルチフィードを正しく検出するための条件」(P.35)を参照してください。 必要に応じてマルチフィード検出範囲を指定してください（「マルチフィードを検出したとき」(P.83)）。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>原稿をセットする前に原稿をさばいてください。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？</p>	<p>➡ はい</p>	<p>3、4回さばいて、原稿にたまっている静電気の電荷を取り除いてください。</p>
<p>いいえ ↓</p>		
<p>原稿の束の高さは5mm未満ですか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>原稿の分量を減らしてください。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>消耗品(*1)は正しく取り付けられていますか？</p>	<p>➡ いいえ</p>	<p>消耗品(*1)を正しく取り付けてください。 取り付け方法については、「第7章 消耗品の交換」(P.94)を参照してください。</p>
<p>はい ↓</p>		
<p>消耗品(*1)がよごれていますか？</p>	<p>➡ はい</p>	<p>消耗品(*1)を清掃してください。 清掃方法については、「第6章 日常のお手入れ」(P.88)を参照してください。</p>
<p>いいえ ↓</p>		
<p>消耗品(*1)が擦り減っていますか？</p>	<p>➡ はい</p>	<p>消耗品カウンターを確認してください。必要に応じて消耗品を交換してください。 消耗品の交換方法については、「第7章 消耗品の交換」(P.94)を参照してください。</p>

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

いいえ



以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「8.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.124)の項目をチェックして、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.169)にお問い合わせください。

\*1：消耗品とは、パッドユニットおよびピックアップユニットです。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

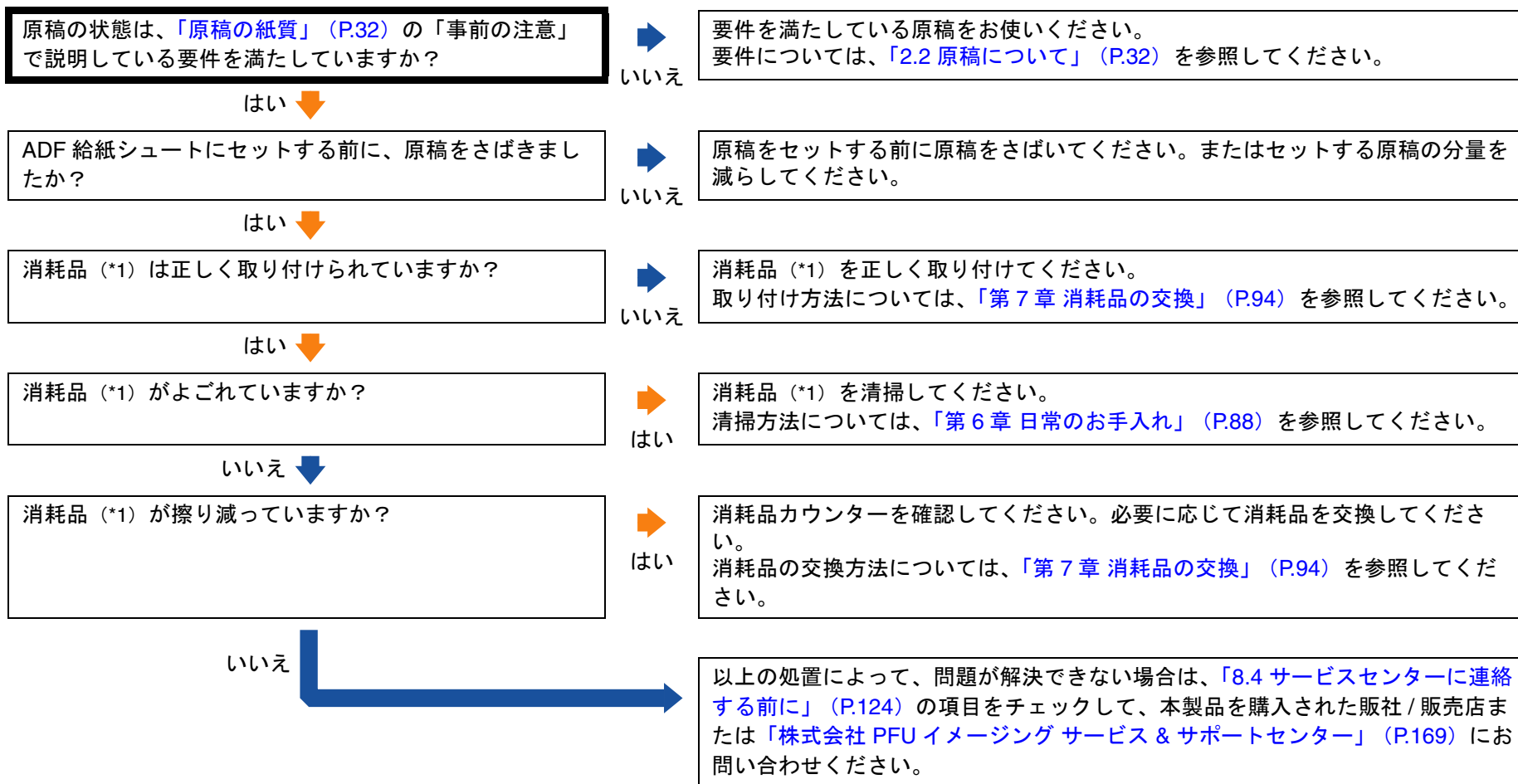
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

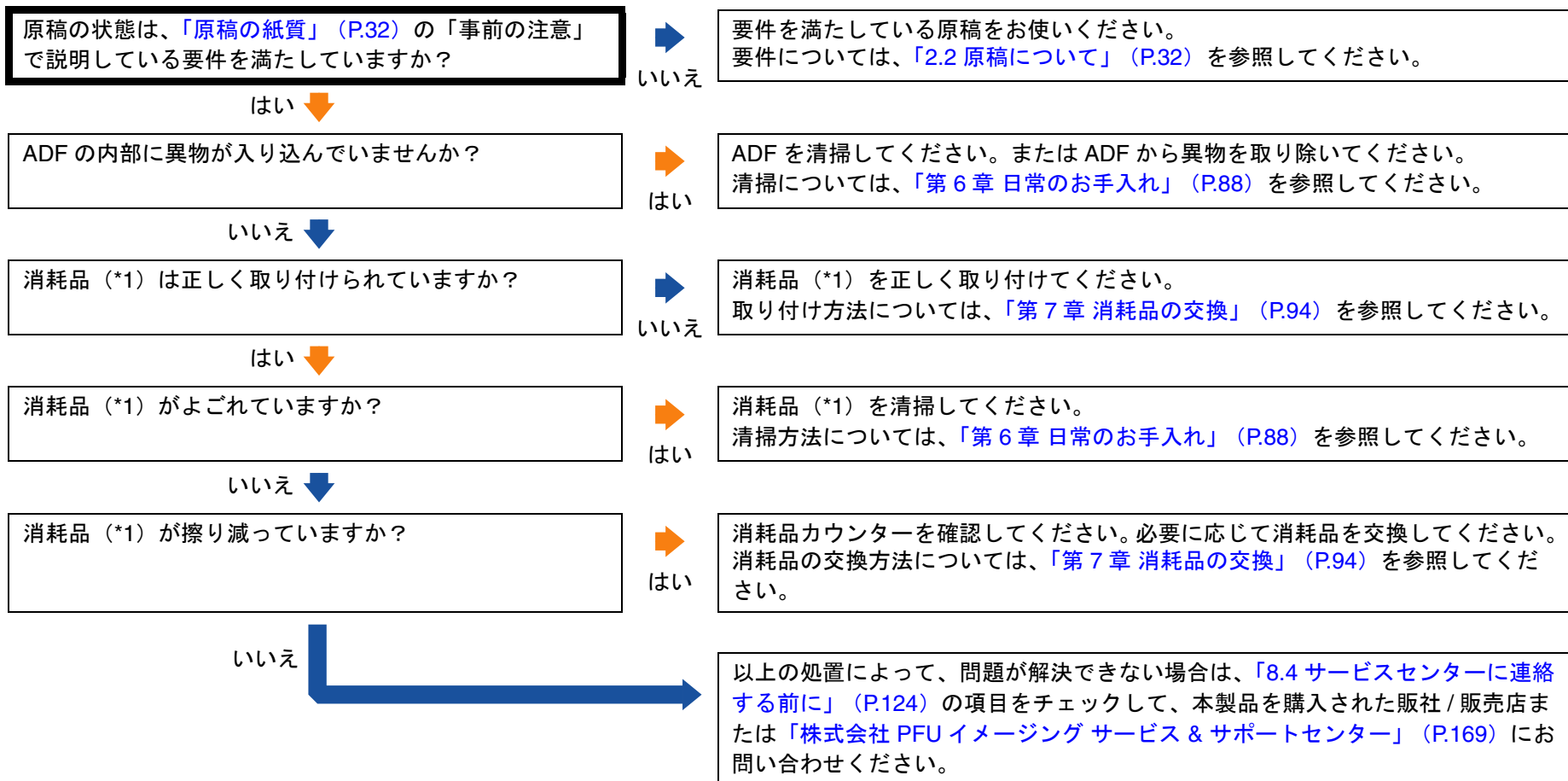
用語集

## 原稿が ADF に送られない状態が頻繁に起こる



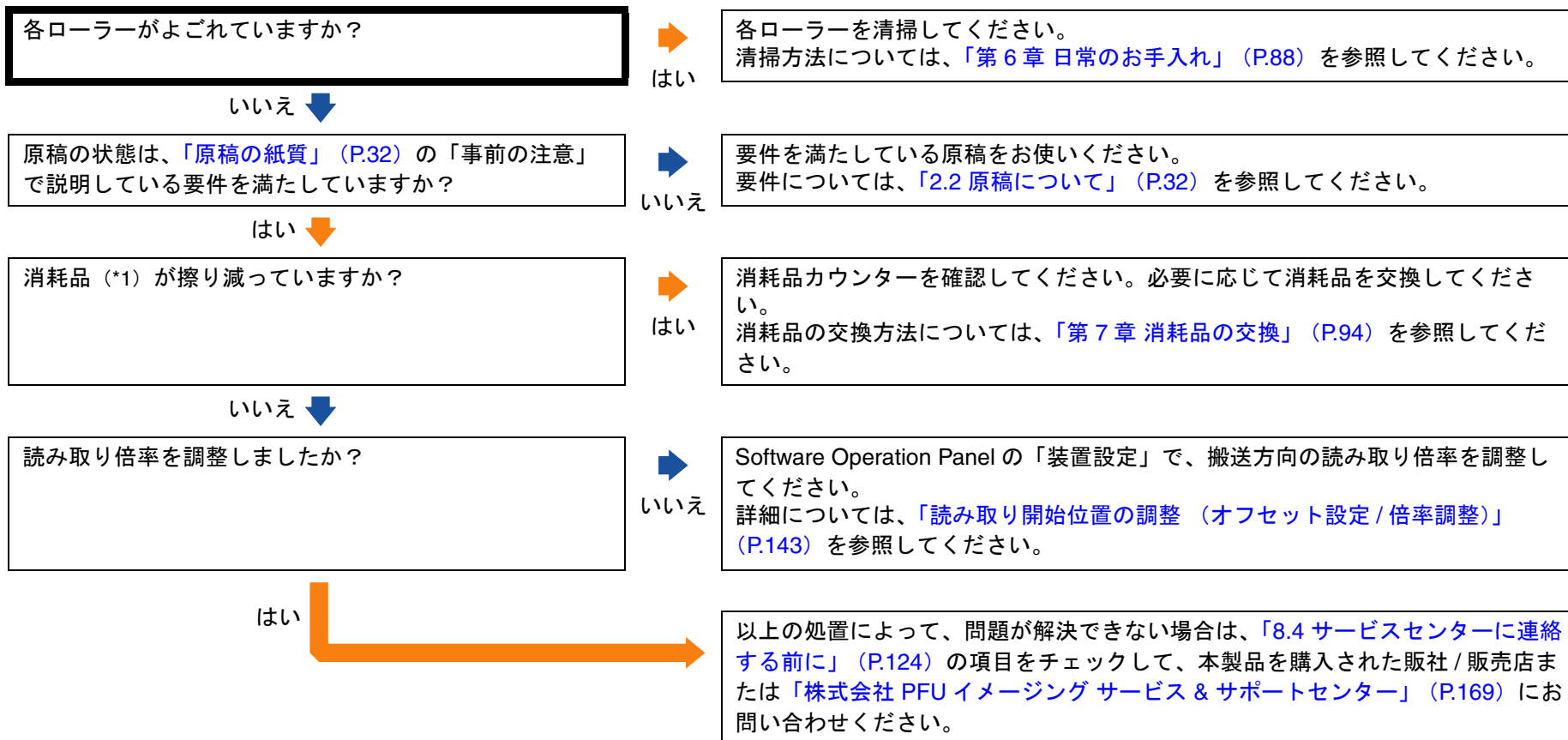
\*1：消耗品とは、パッドユニットおよびピックアップローラユニットです。

## 原稿づまり / ピックミスが頻繁に起こる



\*1：消耗品とは、パッドユニットおよびピックアップローラユニットです。

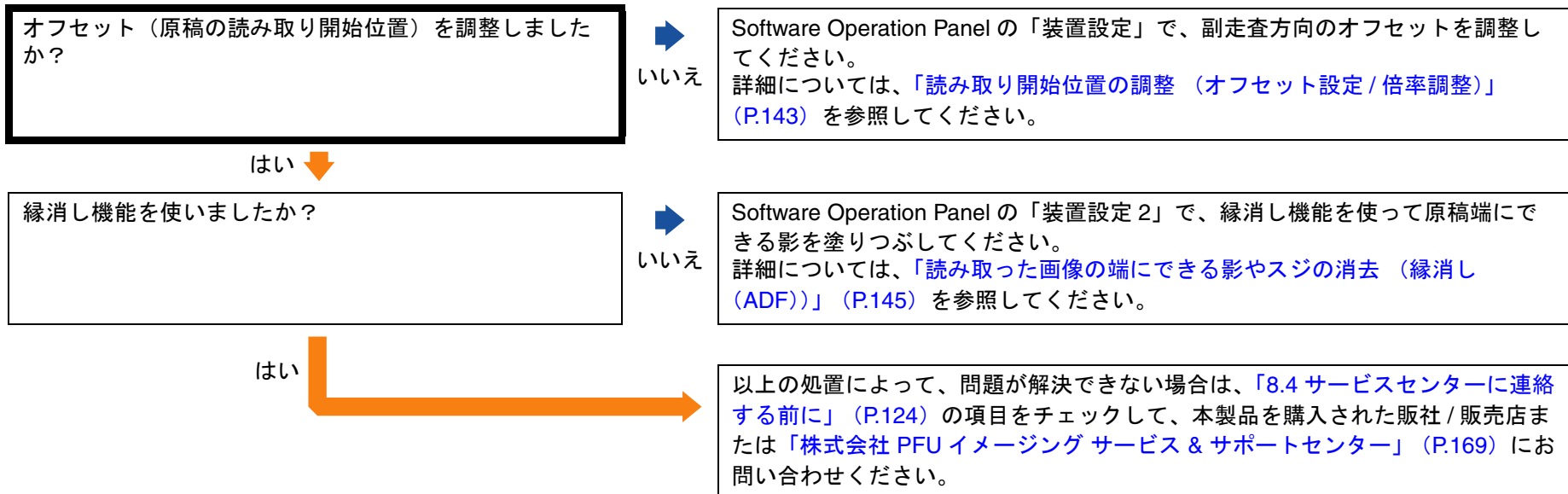
## 読み取った画像が間延びする



\*1：消耗品とは、パッドユニットおよびピックアップローラユニットです。



## 読み取った画像の先端または後端に影がある



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 原稿に黒い跡が残る

鉛筆書きの原稿を読み取っていますか？

はい

鉛筆書きの原稿を読み取る際は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、できる限り頻繁にローラーを清掃してください。ローラー類のよごれ、原稿送り不良の原因となります。清掃方法については、「[第6章 日常のお手入れ](#)」(P.88)を参照してください。

いいえ

ADF 内部のガラス面または各ローラーはきれいですか？

いいえ

よごれている箇所を清掃してください。よごれている箇所の清掃方法については、「[第6章 日常のお手入れ](#)」(P.88)を参照してください。

はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[8.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」(P.124)の項目をチェックして、本製品を購入された弊社/販売店または「[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」(P.169)までお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## A3 キャリアシートで読み取ると原稿づまりが頻繁に発生する

PPC用紙（再生紙）など50枚程度を連続給紙したあとも、原稿づまりが頻繁に発生しますか？

いいえ

PPC用紙（再生紙）など50枚程度を連続給紙したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。  
PPC用紙（再生紙）は、印刷済みのものでも無地のものでもかまいません。

はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[8.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」（P.124）の項目をチェックして、本製品を購入された弊社/販売店または「[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」（P.169）までお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 8.4 サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター（「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.169））に連絡する前に、次の項目をお調べください。

### 概要

調べる項目	調査結果
スキャナ名	例：fi-6110 スキャナ名については「8.5 装置ラベルの確認」（P.126）を参照してください。
製造番号 （シリアルナンバー）	例：000001 製造番号については「8.5 装置ラベルの確認」（P.126）を参照してください。
製造年月	例：2010-07（2010年7月） 製造年月については「8.5 装置ラベルの確認」（P.126）を参照してください。
購入年月日	
症状	
故障頻度	
保証書の有無	

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## エラーの状況

### ■コンピュータ接続時の問題

調べる項目	調査結果
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェースの種類	例：USB インターフェース
インターフェースコントローラーの種類	

### ■搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	
操作パネルの状況	

### ■画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナドライバの種類と版数	
インターフェースコントローラーの種類	
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
アプリケーションの種類	例：ScandAll PRO
読み取り面	例：表面、裏面、両面
読み取り解像度	例：600dpi、75dpi
読み取り色	例：カラー、グレースケール、2値白黒

### ■その他

調べる項目	調査結果
原稿の状態がわかるような写真と、出力結果の両方をE-mail または FAX で送ることは可能ですか？	

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

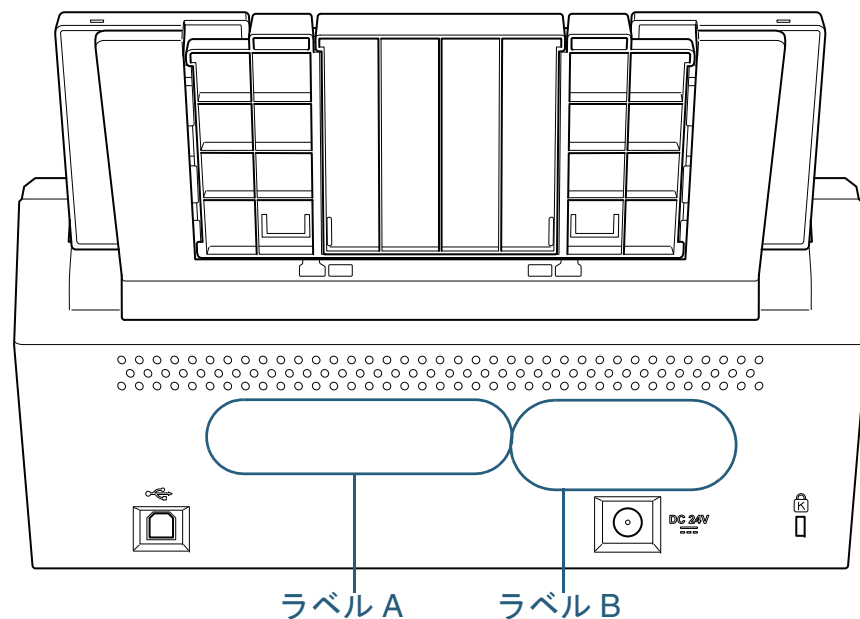
用語集

## 8.5 装置ラベルの確認

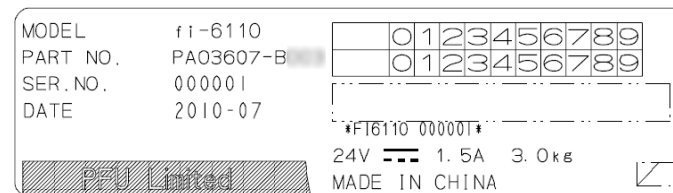
ここでは、ラベルの確認方法について説明します。

### ラベルの位置

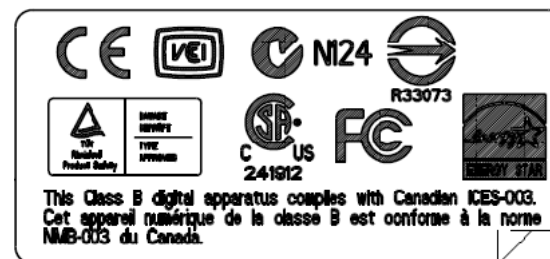
2つのラベルの位置を次に示します。



ラベル A 例：スキャナの情報を示しています。



ラベル B 例：スキャナが適合する規格について示しています。



# 第9章 スキャナの動作設定

この章では、Software Operation Panel を使ったスキャナの設定方法について説明します。

9.1 Software Operation Panel の起動 .....	128
9.2 Software Operation Panel のパスワード設定 .....	129
9.3 設定できる項目 .....	135
9.4 枚数カウンタに関する設定 .....	140
9.5 読み取りに関する設定.....	143
9.6 マルチフィード検出に関する設定.....	148
9.7 待機時間に関する設定.....	154
9.8 電源投入 / 切断に関する設定.....	155

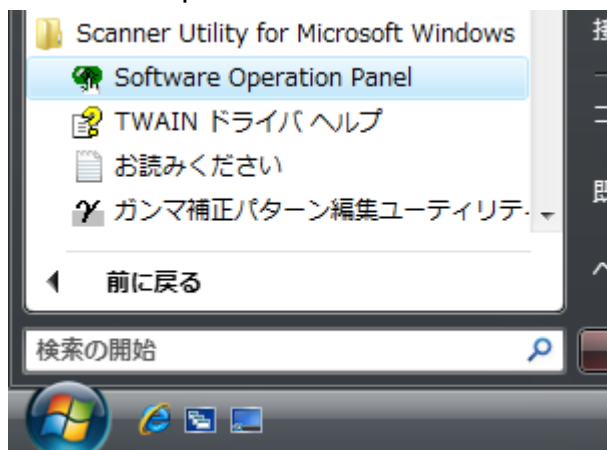
## 9.1 Software Operation Panel の起動

Software Operation Panel はスキャナドライバ（TWAIN ドライバ/ISIS ドライバ）と同時にインストールされます。このアプリケーションを利用することで、読み取り時の動作や消耗品の管理などを設定できます。

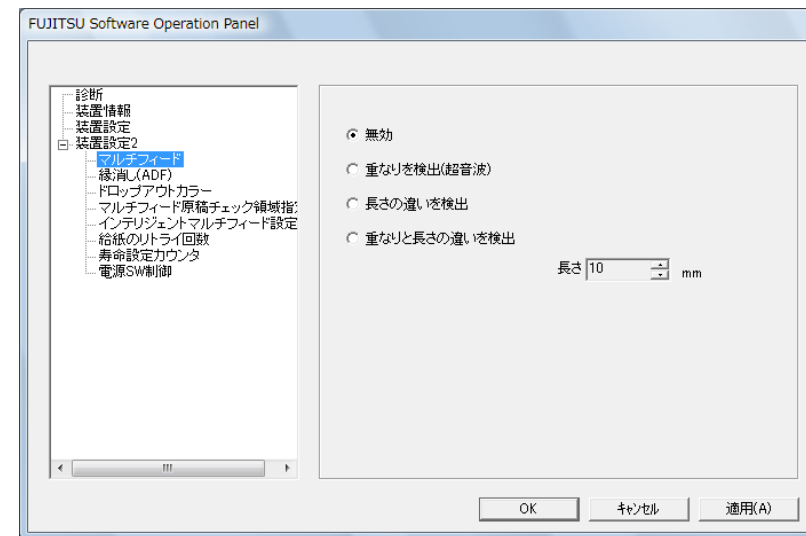


- Software Operation Panel 起動中、操作パネルを操作しないでください。
- スキャナを複数台接続した場合、起動できません。スキャナは2台以上接続しない状態でお使いください。

- 1 スキャナとコンピュータが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。  
電源を投入する方法については、「1.3 電源の投入/切断」(P.19)を参照してください。
- 2 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Scanner Utility for Microsoft Windows」 → 「Software Operation Panel」の順にクリックします。



⇒ 「Software Operation Panel」画面が表示されます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集



## 9.2 Software Operation Panel のパスワード設定

Software Operation Panel にパスワードを設定することにより、スキャナの設定内容を閲覧だけできる「閲覧モード」として起動できます。

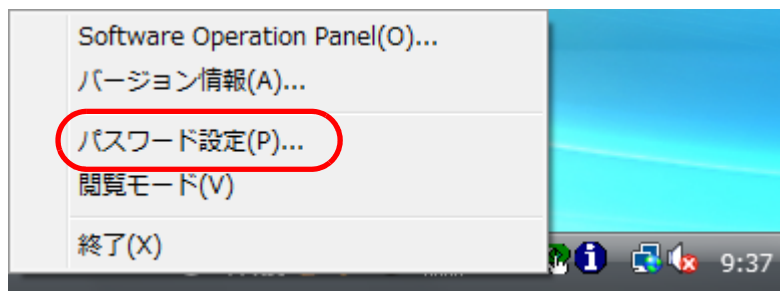
パスワードを設定していない状態では、スキャナの設定が可能なモードとして起動します。

パスワードを設定して操作を制限することで、不用意な設定変更を防止できます。

### パスワードの設定

Software Operation Panel にパスワードを設定します。

- 1 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。

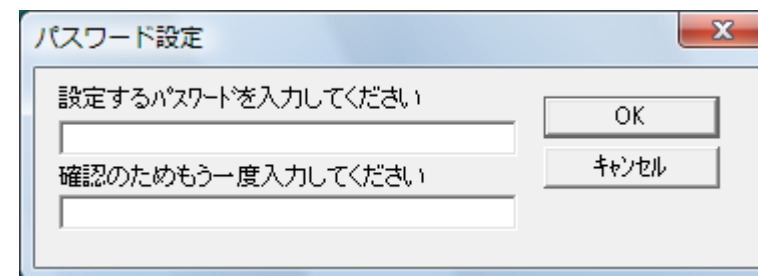


⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。

入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9) とします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

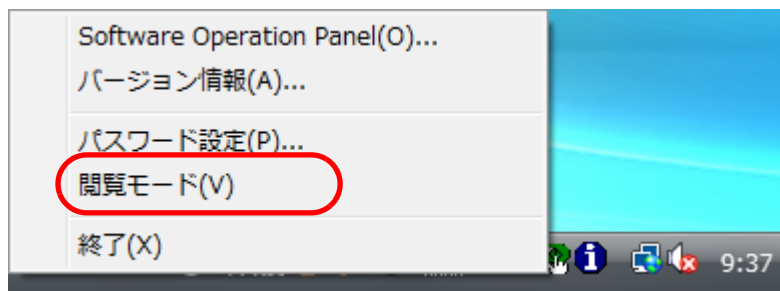
- 3 [OK] ボタンをクリックします。

⇒ パスワードが設定されます。

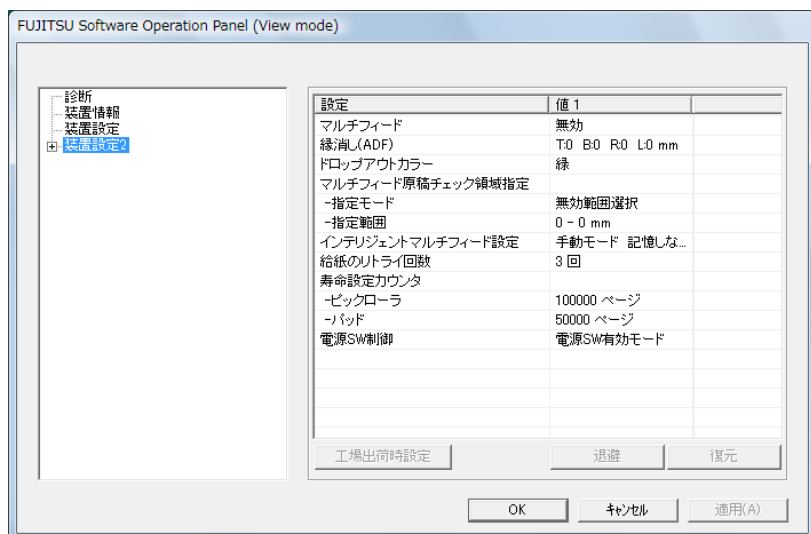
## 「閲覧モード」の設定

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定します。

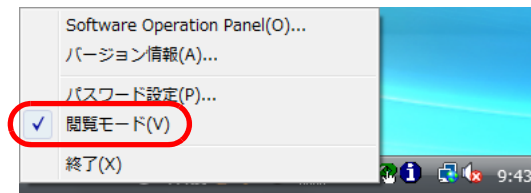
- 1 パスワードを設定します。  
「パスワードの設定」(P.129)を参照してください。
- 2 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。



⇒ Software Operation Panel が「閲覧モード」で起動されます。



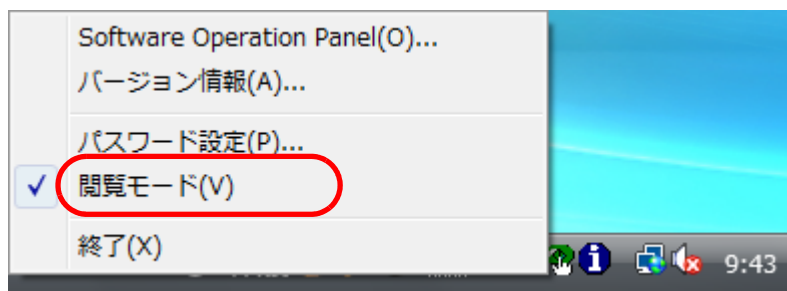
Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定した場合は、タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側にチェックマークが表示されます。



## 「閲覧モード」の設定解除

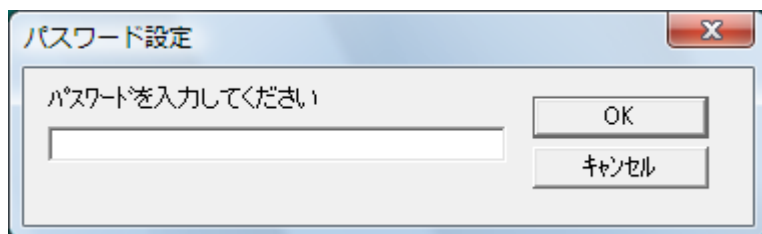
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除します。

- 1 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。

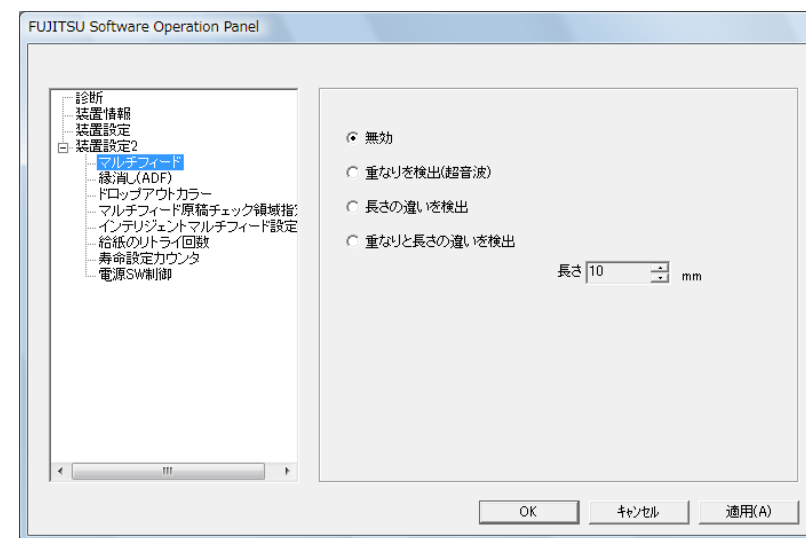


⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「閲覧モード」の設定が解除され、Software Operation Panel がスキャナ設定可能なモードで起動されます。



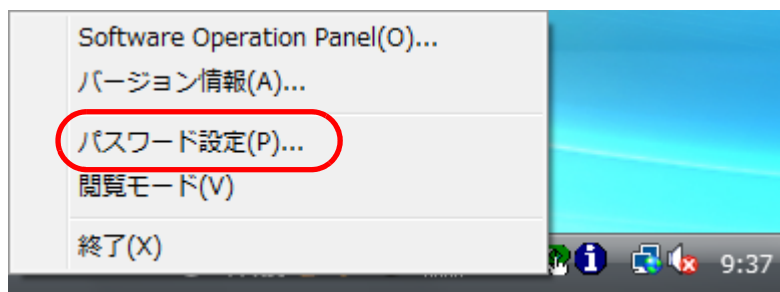
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除した場合は、タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側のチェックマークが非表示となります。



## パスワードの変更

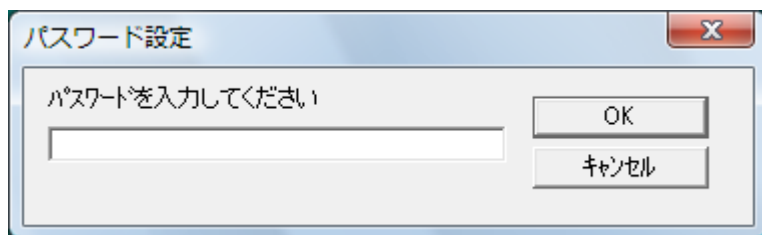
パスワードを変更します。

- 1 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



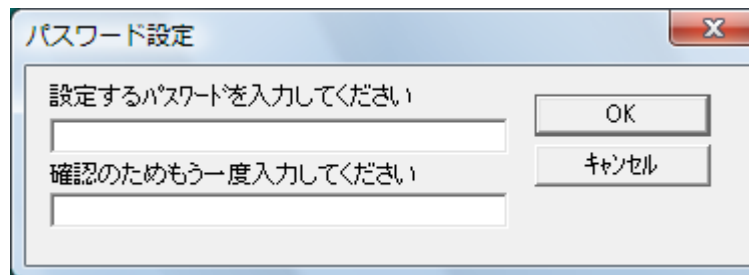
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードに、変更後のパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) とします。



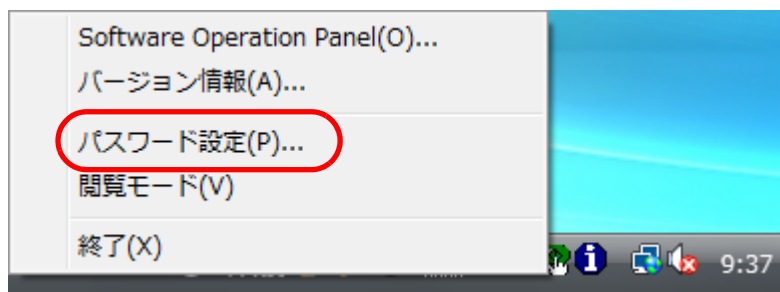
⇒ メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。  
⇒ パスワードが変更されます。

## パスワードの設定解除

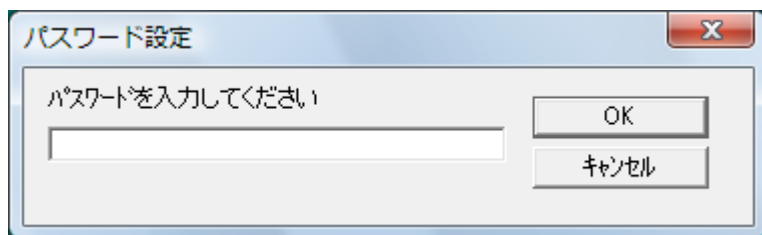
パスワードの設定を解除します。

- 1 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



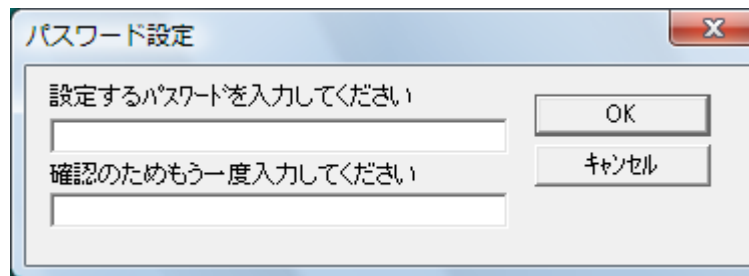
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを空欄にし、[OK] ボタンをクリックします。



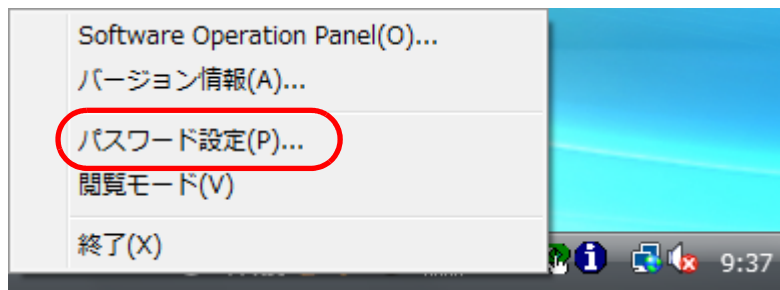
⇒ メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。  
⇒ パスワードの設定が解除されます。

## パスワード紛失時の対応

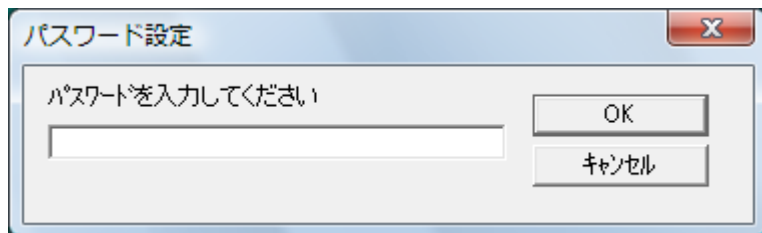
パスワードを紛失した場合、次の手順で、パスワードを再設定します。

- 1 タスクバーの Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



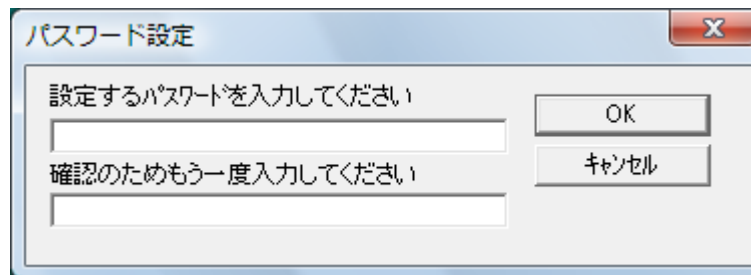
⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 デフォルトパスワード「fi-scanner」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。  
パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。  
入力可能文字は、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) とします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

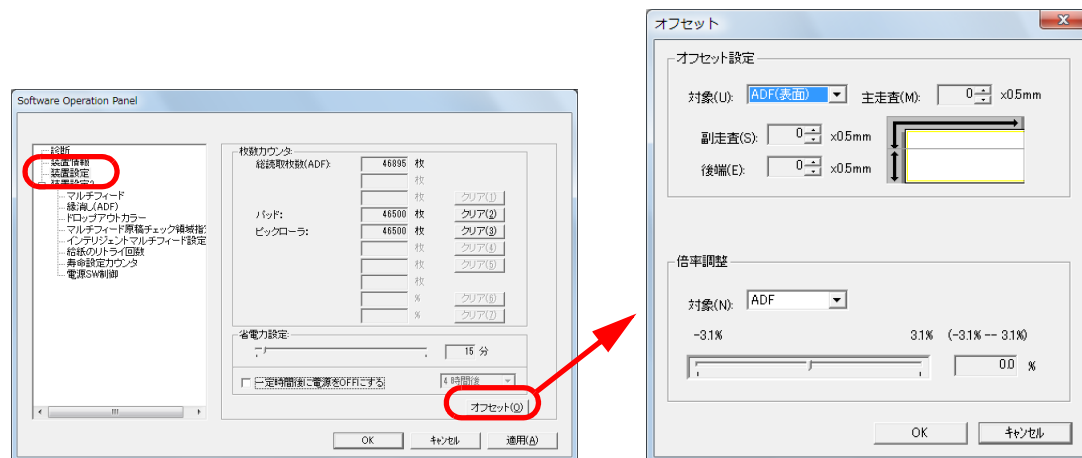
- 4 [OK] ボタンをクリックします。  
⇒ パスワードが再設定されます。

## 9.3 設定できる項目

Software Operation Panel では、コンピュータに接続されて  
いるスキャナに対して次のような設定ができます。

### 装置設定

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.128)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



この画面で設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
枚数カウンタ	消耗品の交換時期を確認するために使用します。 また、消耗品を交換したときは、この機能を使ってカウンターをリセットします。	総読取枚数 (ADF) / パッド / ピックローラ	0
省電力設定	省電力モードに入るまでの待機時間を設定します。	5 ~ 235 分の範囲で設定 (5 分刻みで設定)	15 分
	一定時間後に電源を OFF にする : スキャナの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動的にスキャナの電源が切断されるようにしたい場合にチェックします。 また、自動的にスキャナの電源が切断されるまでの時間を設定します。	一定時間後に電源を OFF にするのチェック  1 時間後 / 2 時間後 / 4 時間後 / 8 時間後 (一定時間後に電源を OFF にするをチェックした場合)	(*1)
オフセット設定	対象で選択した読み取り面の、原稿の読み取り開始位置のズレを調整します。	対象 : ADF (表面) / ADF (裏面)  主走査・副走査・後端 : -2 ~ +2mm の範囲で設定 (0.5mm 刻みで設定)	主走査・副走査・後端 : 0mm
倍率調整	対象で選択した読み取り方法の、搬送方向の読み取り倍率を調整します。	対象 : ADF -3.1 ~ 3.1% の範囲で設定 (0.1% 刻みで設定)	0%

\*1 : 装置ラベルに記載されている「PART NO.」によって、工場出荷時の設定が以下のように異なります。

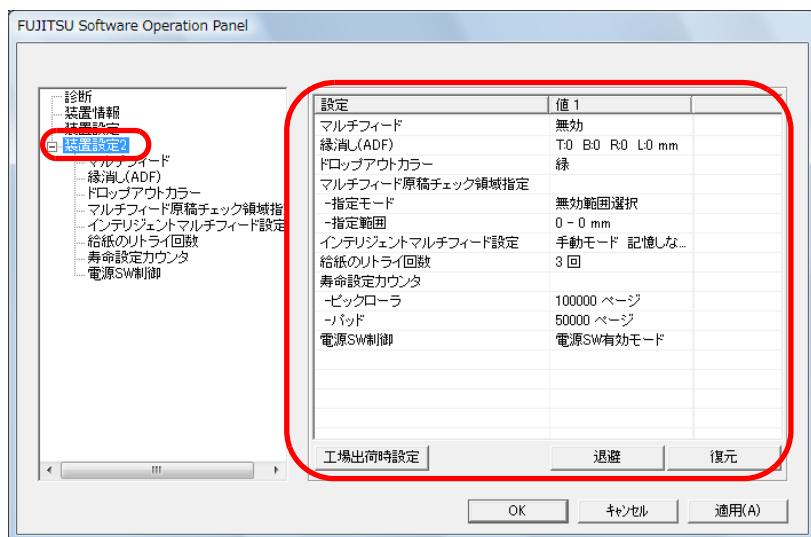
PART NO.	工場出荷時
PAxxxxx-Bxx1	チェックあり
	4 時間後
PAxxxxx-Bxx2 / Bxx3 / Bxx5 / Bxx7	チェックなし

装置ラベルについては、「8.5 装置ラベルの確認」(P.126) を参照してください。



## 装置設定 2

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.128)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」をクリックします。



画面左のリストから、設定項目をクリックすると、画面の右に設定内容（パラメーター）が表示されます。

[工場出荷時設定] ボタンをクリックすると、工場出荷時の設定に戻せます。

[退避] ボタンをクリックすると、Software Operation Panel で設定している値をファイルに保存できます。

[復元] ボタンをクリックすると、Software Operation Panel で設定している値を保存したファイルを復元できます。

この画面で設定できる項目を次に示します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

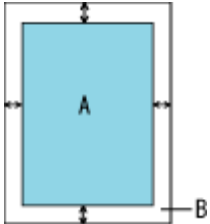
消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
マルチフィード	マルチフィードの検出方法を設定します。重なり、原稿の長さ、または両方を監視し、マルチフィードを検出します。 本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。	無効 / 重なりを検出（超音波） / 長さの違いを検出 / 重なりと長さの違いを検出 長さ（長さの違い検出時：10/15/20mm から選択）	無効 長さ：10mm
縁消し（ADF）	読み取られた画像の端面を指定された幅だけ白色で塗りつぶします。 TWAIN ドライバの場合、本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、設定した値の大きい方が優先されます。	上端 / 左端 / 右端：0 ~ 15mm 下端：-7 ~ 7mm（1mm 刻みで設定可能）  (A：画像領域、B：縁消し領域、A+B：出力領域)	上 / 下 / 左 / 右：0mm
ドロップアウトカラー	指定した色を除いて原稿を読み取ります（2 値白黒 / グレースケールモード時だけ）。 TWAIN ドライバの場合、本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。 ISIS ドライバの場合、常にスキャナドライバの設定が有効になります。	赤 / 緑 / 青 / なし	緑
マルチフィード原稿 チェック領域指定	選択範囲：マルチフィード検出を行う範囲を制限したい場合にチェックします。	選択範囲のチェック	チェックなし
	有効 / 無効（中）：指定した範囲に対してマルチフィードを有効にするか、無効にするかを選択します。	有効 / 無効 （選択範囲をチェックした場合）	無効
	開始位置（中）：範囲の開始位置を原稿先端からの長さ（mm）で指定します。	0 ~ 510mm（2mm 刻みで設定可能）	0mm
	終了位置（中）：範囲の終了位置を原稿先端からの長さ（mm）で指定します。	0 ~ 510mm（2mm 刻みで設定可能）	0mm

設定項目	説明	設定値 / 表示値	工場出荷時
インテリジェントマルチフィード設定	原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼られている場合、その貼付位置を認識し、マルチフィードとして検出しないようにできます。ただし、スキャナドライバの設定画面または「マルチフィード検出方法の設定 (マルチフィード)」(P.148) のマルチフィード設定で、事前に「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」に設定しておく必要があります。	手動モード / 自動モード 1 / 自動モード 2	手動モード
	自動モードで記憶した原稿の重なりパターン (長さや位置) をクリアしたい場合にチェックします。	重なりパターンのクリアのチェック	チェックなし
	電源切断時にマルチフィードパターンを記憶するか、記憶しないかを選択します。	記憶する / 記憶しない	記憶しない
給紙のリトライ回数	給紙時 (ピックミスした場合) のリトライ回数を変更したい場合に設定します。	1 ~ 12 回	3 回
寿命設定カウンタ	消耗品の交換周期を設定します。	各消耗品について 10,000 ~ 2,550,000 枚 (10,000 枚単位で設定します)	ピックローラ : 100,000 枚  パッド : 50,000 枚
電源 SW 制御	スキャナの電源の投入 / 切断方法を設定します。	電源 SW 有効モード / 電源 SW 無効モード / USB- 電源連動モード	電源 SW 有効モード

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 9.4 枚数カウンタに関する設定

### 枚数カウンタの確認およびリセット

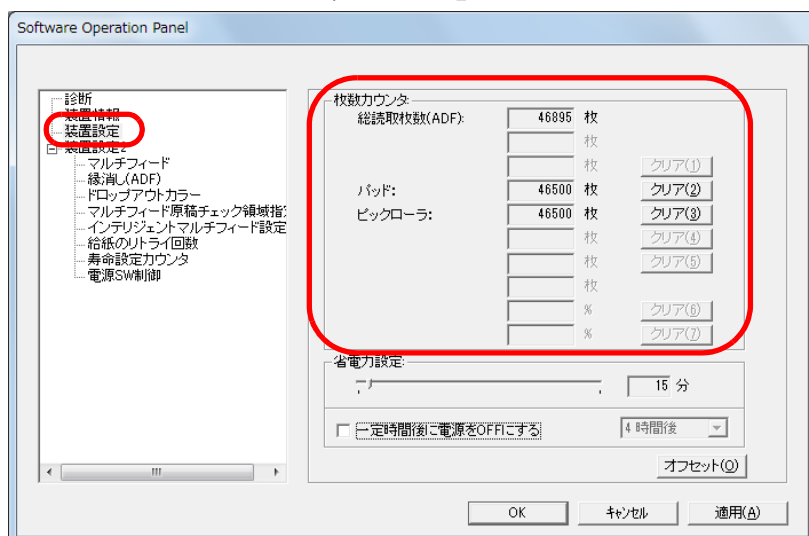
#### ■枚数カウンタの確認

消耗品の交換時期を確認できます。

消耗品の交換が必要なカウンターの地色が変わります。

消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panelの「消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）」（P.142）で設定した値の95%以上になった場合に「装置設定」カウンターの地色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」（P.128）を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



この画面で、次のことが確認できます。

項目	説明
総読取枚数（ADF）	ADF でこれまでに読み取った原稿の概算枚数
パッド	パッドユニットを交換してから読み取った原稿の概算枚数（500 枚単位で表示されます）
ピックアップ	ピックアップユニットを交換してから読み取った原稿の概算枚数（500 枚単位で表示されます）

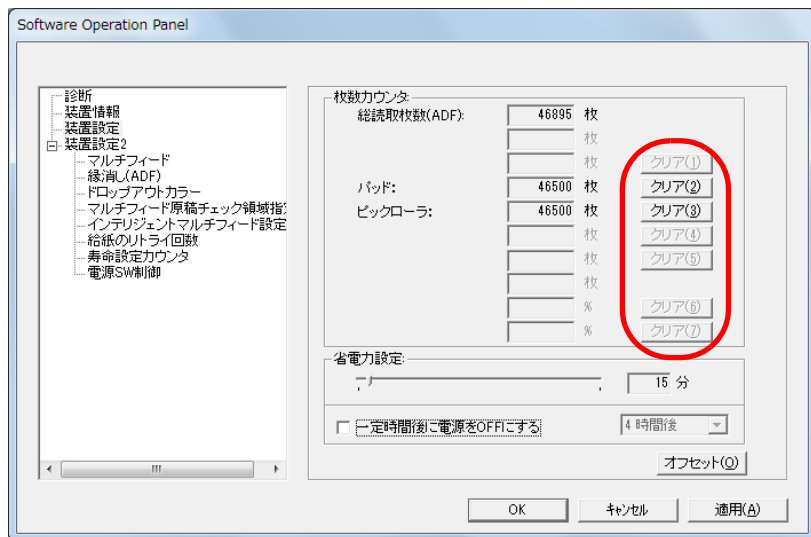


電源ケーブルを抜いて電源を切断した場合や電源 SW 無効モードを設定している場合には総読取枚数カウンターが最大 9 枚分反映されないことがあります。  
電源 SW 無効モードの設定については、「電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）」（P.155）を参照してください。

## ■枚数カウンタのリセット

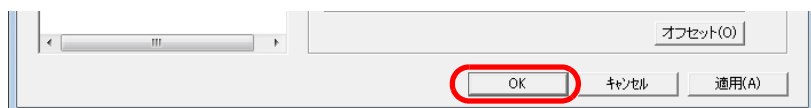
消耗品を交換した場合は、次の手順で、該当する消耗品カウンターをリセットします。

1 交換した消耗品の [クリア] ボタンをクリックします。



⇒ カウンター値が0になります。

2 「Software Operation Panel」画面の [OK] ボタンをクリックします。



⇒ メッセージ画面が表示されます。

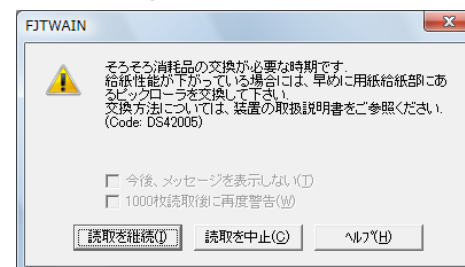
3 [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

## ■消耗品交換メッセージについて

スキャナを使用していると、次のようなメッセージが表示されることがあります。

### 消耗品交換メッセージ



このメッセージが表示されたら、表示内容を確認し消耗品を交換してください。

[読取を継続] ボタンをクリックすると、消耗品交換メッセージが消えて、読み取りが続けられます。できるだけ早くメッセージに表示された消耗品を交換してください。読み取りを中止して消耗品を交換する場合は、[読取を中止] ボタンをクリックします。

消耗品の交換方法は、次を参照してください。

- パッドユニット  
「7.2 パッドユニットの交換」(P.96)
- ピックローラユニット  
「7.3 ピックローラユニットの交換」(P.97)

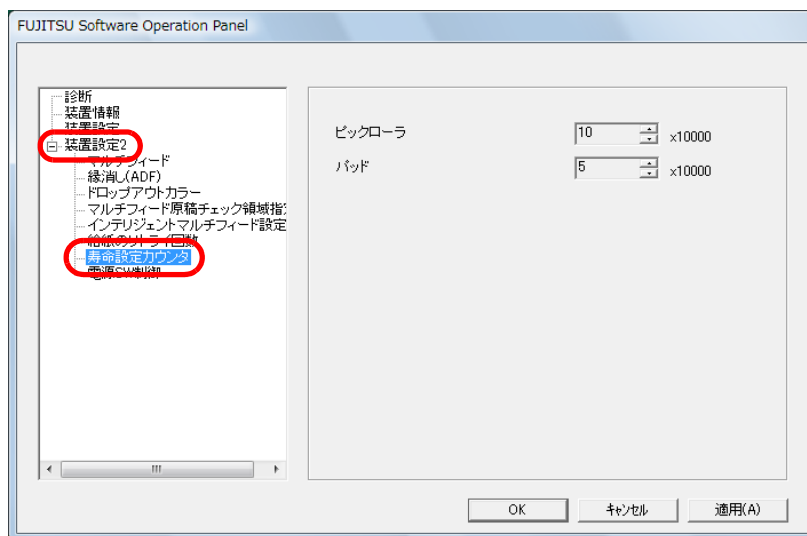
## 消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）

消耗品の交換周期を設定できます。

消耗品交換後の読み取り枚数が、ここで設定する値の95%以上になった場合に「装置設定」カウンターの地色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。

また、消耗品交換メッセージ（P.141）が表示されます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」（P.128）を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「寿命設定カウンタ」をクリックします。



- 3 各消耗品（パッドユニットおよびピックアップローラユニット）の寿命設定カウント値を設定します。  
10,000 枚から 2,550,000 枚まで、10,000 枚単位で設定できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 9.5 読み取りに関する設定

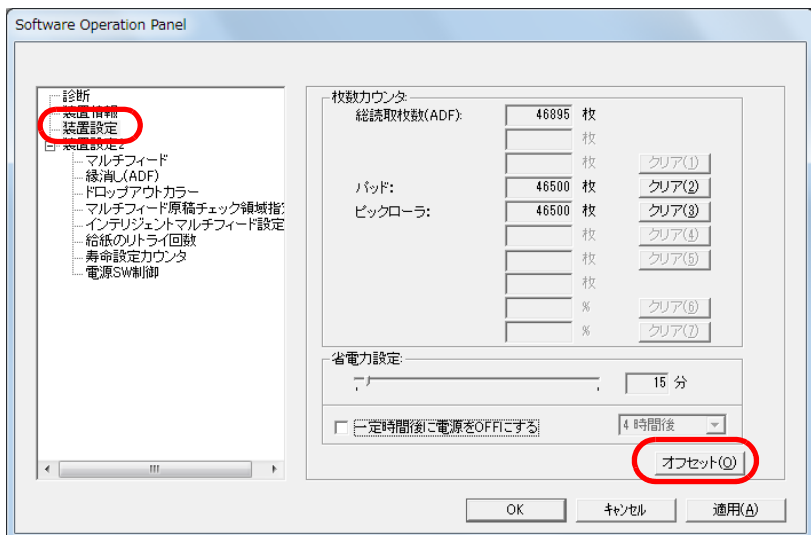
### 読み取り開始位置の調整 (オフセット設定 / 倍率調整)

読み取った原稿に対して、画像の出力位置がずれたり、画像が縦方向につぶれたり間延びしたりして見える場合は、次の手順でオフセット調整および副走査方向の倍率調整を行います。

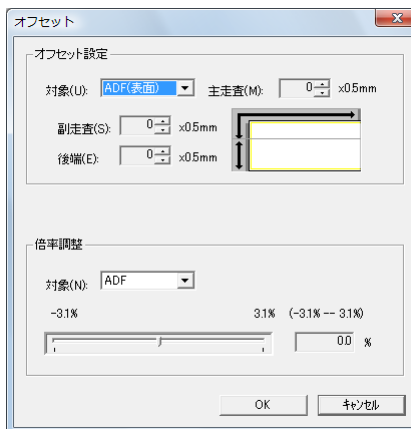


工場出荷時に適切な値に調整されているため、通常は調整していただく必要はありません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.128)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックし、[オフセット] ボタンをクリックします。



- 3 必要に応じて、オフセット / 副走査方向の倍率調整を行います。



オフセット設定	説明
対象	オフセット調整を行う対象を、「ADF (表面)」、「ADF (裏面)」から選択します。
主走査	主走査 (幅) 方向のオフセットを調整します。 -2 ~ +2mm の範囲で 0.5mm 刻みの調整ができます。
副走査	副走査上端 (長さ) 方向のオフセットを調整します。 -2 ~ +2mm の範囲で 0.5mm 刻みの調整ができます。
後端	副走査下端 (長さ) 方向のオフセットを調整します。 -2 ~ +2mm の範囲で 0.5mm 刻みの調整ができます。

倍率調整	説明
対象	倍率調整を行う対象は「ADF」固定です。
倍率調整 (副走査：長さ)	副走査（長さ）方向の倍率を調整します。 -3.1 ~ +3.1% の範囲で 0.1% 刻みの調整ができます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

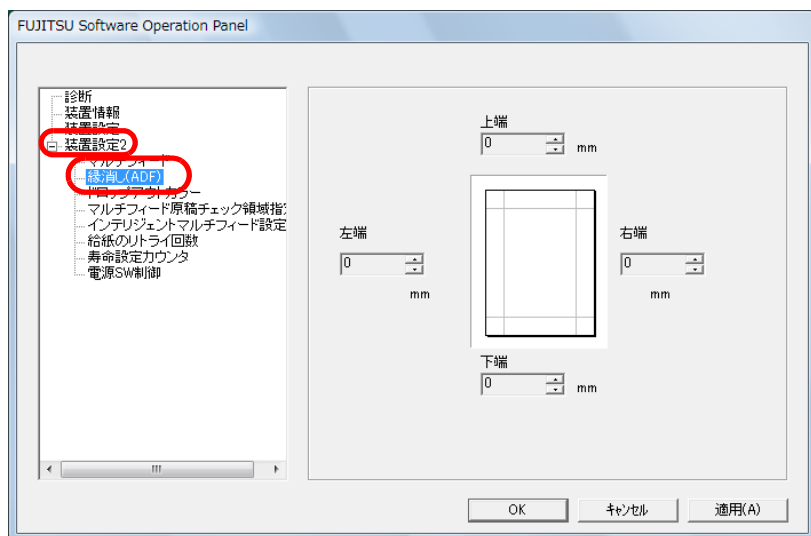
用語集



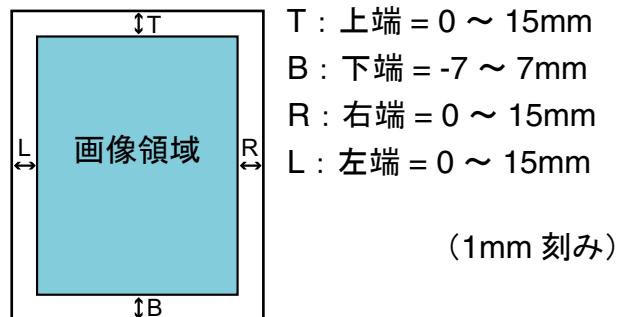
## 読み取った画像の端にできる影やスジの消去 (縁消し (ADF))

読み取る原稿の状態によっては、出力画像の端に原稿の影が写って、黒いスジが発生する場合があります。  
このような場合は、「縁消し」機能を使って原稿の端を塗りつぶすことにより、原稿端部をきれいに処理できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.128)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「縁消し (ADF)」をクリックします。



- 3 上端/下端/右端/左端それぞれの塗りつぶす幅を指定します。



指定した範囲を白色で塗りつぶします。



原稿枠いっぱい文字が書かれた原稿は、縁消し領域を広く取ると、端の方の文字が消えてしまう場合がありますので注意してください。



- 下端の設定については、次のように動作します。
  - プラス指定 (1 ~ 7mm) :  
原稿下端検出位置より上方に指定した範囲を白色に塗りつぶします。
  - マイナス指定 (-1 ~ -7mm) :  
原稿下端検出位置より下方に指定した範囲を白色に塗りつぶさずに出力します (後端検出モード時は、指定した範囲分多く画像を出力します)。  
原稿下端検出位置とは、実際の読み取り原稿の下端をスキャナが検出した位置です。
- TWAIN ドライバの場合、本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、設定した値の大きい方が優先されます。

## 指定した色を除いた読み取りの設定 (ドロップアウトカラー)

「ドロップアウトカラー」機能を使用すると、赤・緑・青（光の三原色）の中から、選択した色情報を除いて読み取りできます。

例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取りできます。

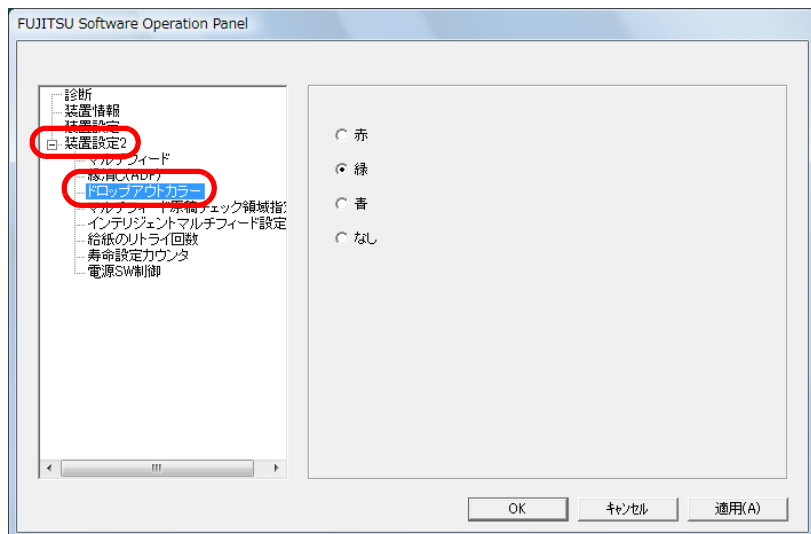


ドロップアウトカラーは、対象となる部分の色が薄い場合は有効に機能しますが、色が濃い場合はうまく機能しないことがあります。



ドロップアウトカラーは、2値白黒、グレースケール読み取り時だけ有効に機能します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.128)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「ドロップアウトカラー」をクリックします。



- 3 ドロップアウトしたい色をクリックします。  
赤、緑、青：赤/緑/青色をドロップアウトします。

なし : ドロップアウトをしません。



Software Operation Panel から設定を行う場合は、赤、緑、青以外の任意の色を指定することはできません。任意の色をドロップアウトカラーに指定したい場合は、スキャナドライバから設定してください。スキャナドライバによる設定については、「指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき」(P.65)を参照してください。

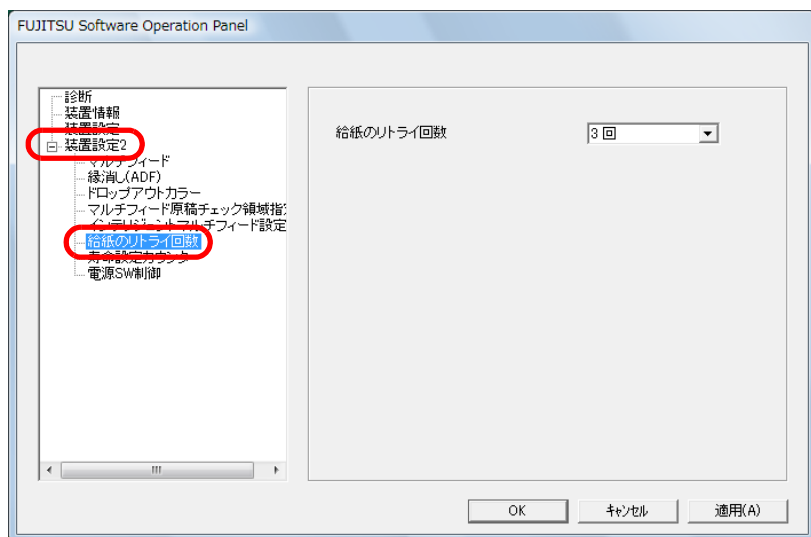


TWAIN ドライバの場合、本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。ISIS ドライバの場合、常にスキャナドライバの設定が有効になります。

## 給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数）

給紙時（ピックアップした場合）のリトライ回数を変更したい場合に設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.128)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「給紙のリトライ回数」をクリックします。



- 3 給紙のリトライ回数を選択します。  
1～12回の範囲で選択できます。

## 9.6 マルチフィード検出に関する設定

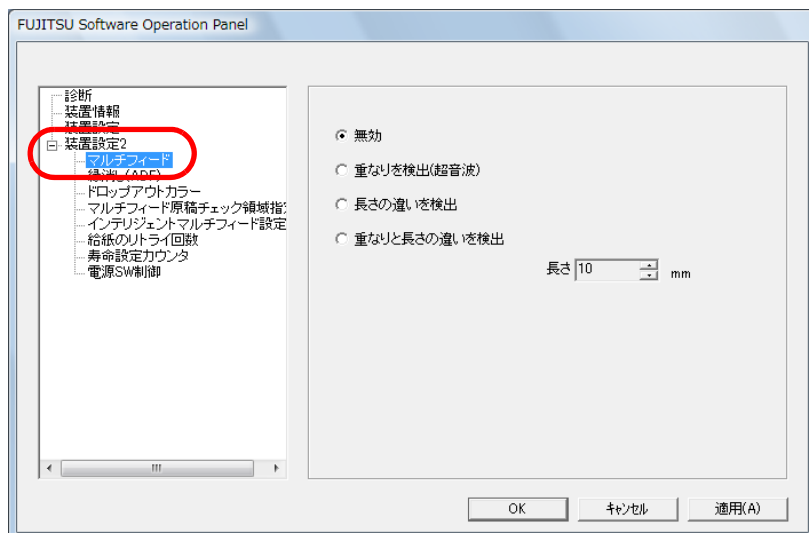
### マルチフィード検出方法の設定（マルチフィード）

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。

気づかずに読み取っていると、あとで重要なデータが抜けていたという事態が発生するかもしれません。

これを防止するために、本製品には、マルチフィード検出機能があります。この機能を有効にしておくことで、マルチフィードを検出した時点で、エラーメッセージを表示して、読み取りを中断します。ただし、原稿の先端から約30mmは、マルチフィードとして検出されません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.128)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「マルチフィード」をクリックします。



- 3 検出方法をクリックします。

検出方法	説明
無効	マルチフィードを検出しません。
重なりを検出(超音波)	原稿の重なりからマルチフィードを検出します。この設定をした場合、さらに次の2つの検出オプションを指定することもできます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 検出領域を原稿先端からの長さで指定できます。 「マルチフィード検出範囲の指定（マルチフィード原稿チェック領域指定）」(P.150)に進みます。</li> <li>● 原稿の決まった位置に、同じ大きさの紙が貼られている場合、その部分のマルチフィードを無視できます。 「決まった条件のマルチフィードを無効にしたとき」(P.85)に進みます。</li> </ul>
長さの違いを検出	原稿の長さの違いから、マルチフィードを検出します。ただし、サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、マルチフィードを正しく検出できません。
重なりと長さの違いを検出	「重なりを検出(超音波)」と「長さの違いを検出」によりマルチフィードを検出します。ただし、サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、マルチフィードを正しく検出できません。
長さ	長さの違いを検出する場合に、マルチフィードとみなすための長さの違いを、10/15/20mm から選択します。選択された長さ以下は、誤差とみなされて、マルチフィードとして検出されません。



- 長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なりを検出（超音波）」を使用してください。
- 原稿の上に写真や紙などが貼られている場合は、「重なりを検出（超音波）」を使用すると、貼り付け部分を重なりと誤検出する場合があります。このような場合は、「長さの違いを検出」を使用してください。ただし、検出範囲を制限することによって、「重なりを検出（超音波）」を使用することもできます。
- A3 キャリアシートはマルチフィードとして検出されません。



本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

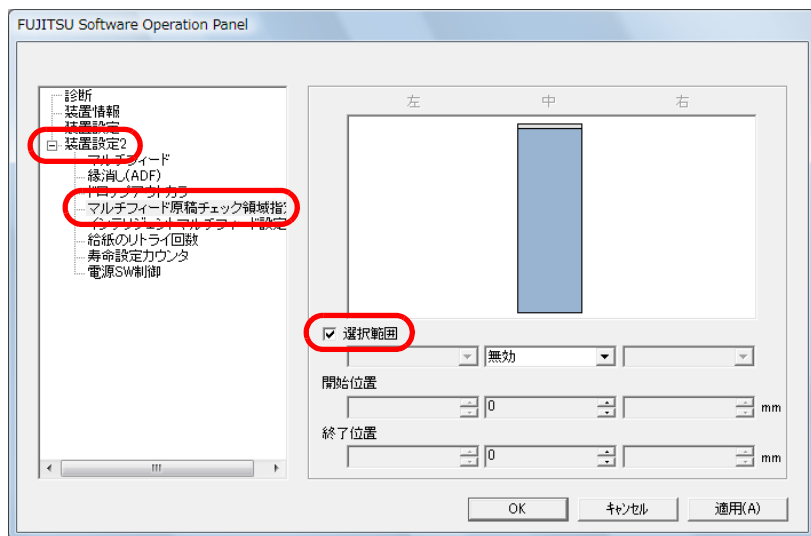
付録

用語集

## マルチフィード検出範囲の指定 (マルチフィード原稿チェック領域指定)

「重なりを検出（超音波）」を設定した場合だけ次の設定があります。

- 画面左のリストから「装置設定2」→「マルチフィード原稿チェック領域指定」をクリックします。画面内の「選択範囲」チェックボックスをチェックします。



## 2 検出範囲を指定します。

検出範囲	説明
選択範囲	<p>次の図にある水色の検出範囲を指定するために、チェックします。</p> <p>この画面で設定する内容を有効にする場合はチェックします。有効にしない場合はチェックを外します。チェックを外すと、開始位置=0 終了位置=0 となり、全範囲についてマルチフィード検出が行われません。 この条件は、原稿がピックアップユニット幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。</p>
無効 (中)	指定した範囲についてマルチフィード検出を行いません。
有効 (中)	指定した範囲についてマルチフィード検出を行います。
開始位置 (中)	範囲指定の開始位置を、原稿の先端からの長さで示します。 設定可能範囲：0~510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置

検出範囲	説明
終了位置 (中)	範囲指定の終了位置を、原稿の先端からの長さで示します。 設定可能範囲：0~510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置



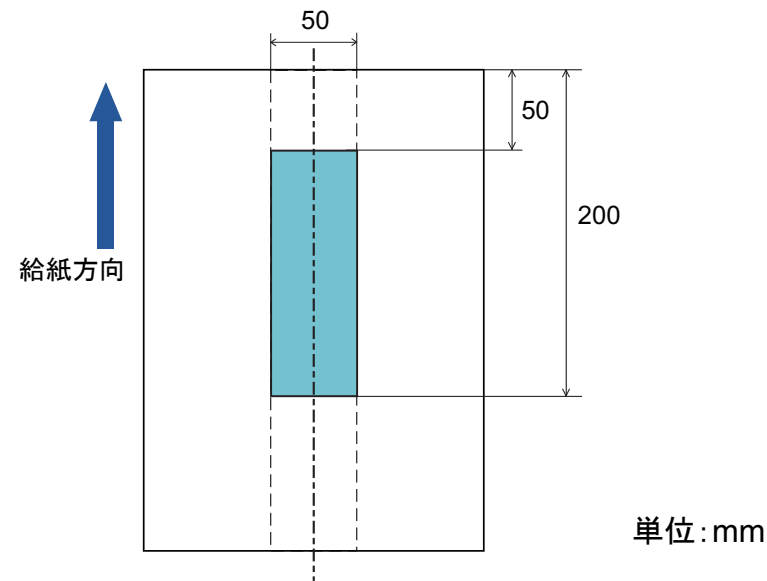
- 開始位置 = 0、終了位置 = 0 に設定した場合、無効 / 有効にかかわらず、全範囲についてマルチフィード検出を行います。
- 原稿の全範囲でマルチフィード検出を無効にしたい場合は、指定モードで「無効」をクリックし、開始位置 = 0、終了位置 ≥ 原稿長さ に設定してください。
- 開始位置が、原稿長さよりも大きな値に設定されると、「無効」の場合は、原稿長さ全域が検出範囲となり、「有効」の場合は、マルチフィードが無効になります。
- マルチフィードを検出するには、5mm 以上の長さが必要になります。  
有効範囲を指定する場合は、終了位置 - 開始位置 ≥ 6mm になるように設定してください。
- 次の方法でも開始位置、終了位置を設定できます。
  - 設定領域を示す画面上で、マウスをドラッグして方形領域を作成する。
  - 設定領域を示す画面上で、開始位置 / 終了位置を示すハンドルをマウスでドラッグする。

### 設定例 1 :

次の場合の設定例について説明します。

指定位置：中

選択範囲 = 有効、開始位置 = 50mm、終了位置 = 200mm



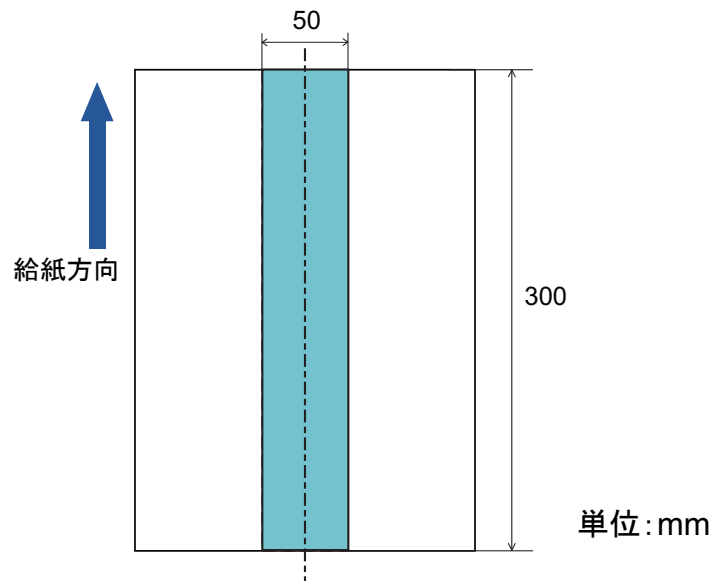
水色の範囲だけマルチフィードが検出されます。

### 設定例 2 :

次の場合の設定例について説明します。

指定位置 : 中

選択範囲 = 有効、開始位置 = 0mm、終了位置 = 0mm



水色の範囲だけマルチフィードが検出されます。



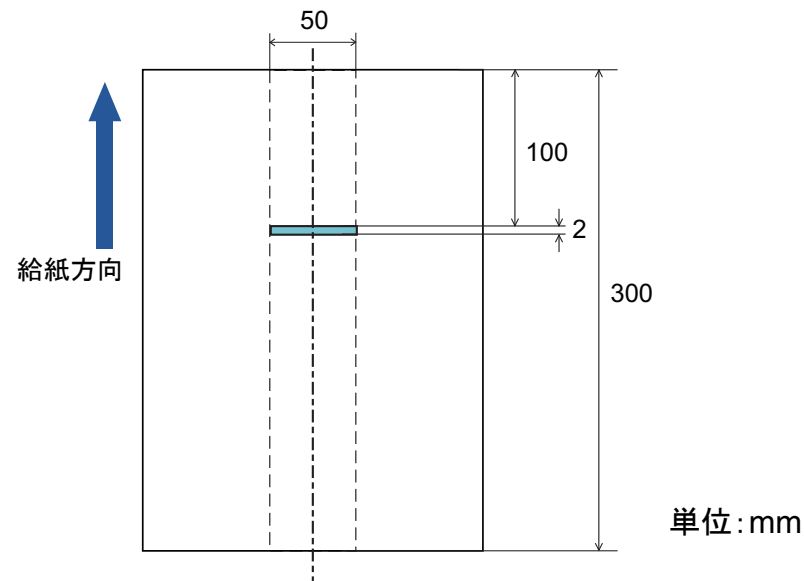
原稿の重なりを検出する場合、密着した原稿（のり付け、静電気による貼り付き）では、マルチフィード検出率が落ちる場合もあります。

### 設定例 3 : (悪い例)

次の場合の設定例について説明します。

指定位置 : 中

選択範囲 = 有効、開始位置 = 100mm、終了位置 = 102mm



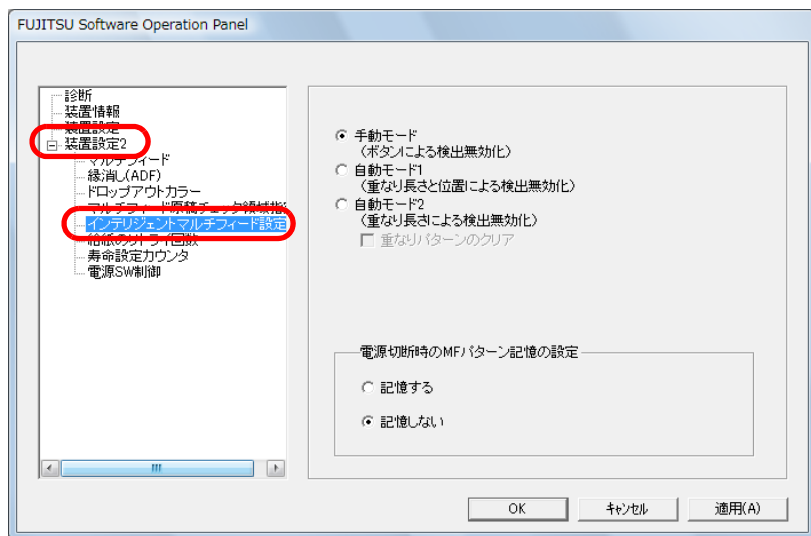
検出範囲（長さ）が5mmに満たないため、正しくマルチフィードを検出できません。



## マルチフィード検出しない範囲の設定 (インテリジェントマルチフィード設定)

原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼られている場合、その貼付位置をスキャナに認識させ、その部分のマルチフィード検出をしないように設定できます。この設定を行うには、スキャナドライバの設定画面または「マルチフィード検出方法の設定 (マルチフィード)」(P.148) のマルチフィード設定で、事前に「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」に設定しておく必要があります。

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.128) を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「インテリジェントマルチフィード設定」をクリックします。



- 3 動作モードを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

動作モード	説明
手動モード	マルチフィードを検出し原稿搬送をやめるが、原稿を ADF 給紙シュートに戻し、読み取りを再開するモード。原稿に貼ってある紙片の位置や大きさは記憶しません。
自動モード1	マルチフィードを検出した場合、その原稿を ADF 給紙シュートに戻し、再読み取り時に、原稿に貼ってある紙片の位置と大きさを記憶します。次の読み取りから、その場合のマルチフィード検出を無効にします。
自動モード2	マルチフィードを検出した場合、その原稿を ADF 給紙シュートに戻し、再読み取り時に、原稿に貼ってある紙片の大きさを記憶します。次の読み取りから、その場合のマルチフィード検出を無効にします。



- 「重なりパターンのクリア」チェックボックスをチェックすると、自動モードで記憶した原稿の重なりパターン（長さや位置）をクリアできます。
- 「電源切断時の MF パターン記憶の設定」で電源切断時にマルチフィードパターンを記憶するか、記憶しないかを選択できます。「記憶する」をクリックすると、電源切断時に記憶された最新のマルチフィードパターン 8 ページ分を、次に電源を投入したときに使用できます。

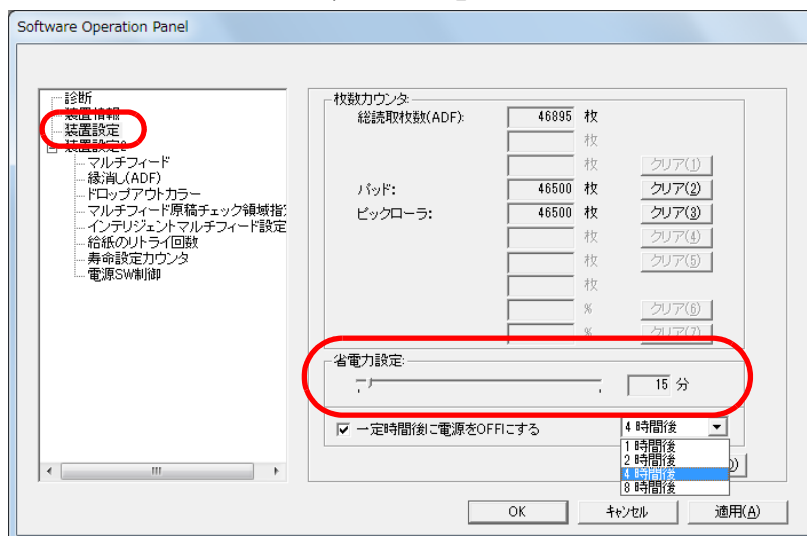
以降の操作については、「決まった条件のマルチフィードを無効にしたとき」(P.85) を参照してください。

## 9.7 待機時間に関する設定

### 省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）

省電力モードに入るまでの待機時間を設定できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.128)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



- 3 スライダーを使い、省電力モードに入るまでの待機時間を設定します。  
5～235分の範囲で設定（5分刻みで設定）できます。



「一定時間後に電源をOFFにする」チェックボックスをチェックした場合、スキャナの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動的にスキャナの電源が切断されます。

自動的にスキャナの電源が切断されるまでの時間は、1時間後 / 2時間後 / 4時間後 / 8時間後から選択できます。

## 9.8 電源投入 / 切断に関する設定

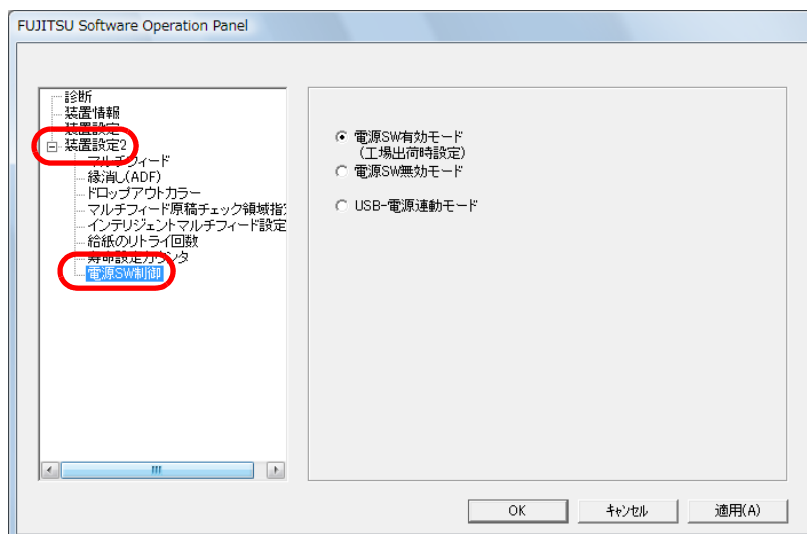
### 電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）

スキャナの電源の投入 / 切断方法を、次のどれかに設定できます。

- スキャナの操作パネルの [Power] ボタンでスキャナの電源を投入 / 切断する
- 電源ケーブルを抜き挿ししてスキャナの電源を投入 / 切断する
- コンピュータの電源の投入 / 切断と連動してスキャナの電源を投入 / 切断する

**1** Software Operation Panel を起動します。  
「9.1 Software Operation Panel の起動」(P.128) を参照してください。

**2** 画面左のリストから「装置設定 2」→「電源 SW 制御」をクリックします。



**3** 電源の投入 / 切断方法をクリックします。

電源 SW 有効モード : スキャナの操作パネルの [Power] ボタンでスキャナの電源を投入 / 切断します。

電源 SW 無効モード : 電源ケーブルを抜き挿ししてスキャナの電源を投入 / 切断します。

USB-電源連動モード : コンピュータの電源の投入 / 切断と連動してスキャナの電源を投入 / 切断します。



- コンピュータやUSBハブの種類によって、コンピュータの電源を切断してもUSBバスに電源を供給し続けるものがあります。そのような環境では、「USB-電源連動モード」が正しく機能しない場合があります。
- 「電源 SW 無効モード」を選択した場合、Software Operation Panel の「装置設定」で、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスをチェックしても、スキャナの電源は切断されません。

# 付録

ここでは、次の情報について説明します。

付 .1 スキャナ基本仕様 .....	157
付 .2 設置諸元.....	159
付 .3 外形寸法.....	160
付 .4 スキャナのオプション .....	161
付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順 .....	163
付 .6 e- 文書法に適合した電子文書の作成 .....	165

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 付 .1 スキャナ基本仕様

項目		仕様	備考
スキャナタイプ		ADF（自動給紙機構）	-
イメージセンサー		カラー CCD × 2（表、裏）	-
光源		白色冷陰極蛍光放電管 × 2（表、裏）	-
読み取り範囲	最小	52 × 74mm（縦 / 横）	-
	最大	216 × 355.6mm	(*1)
原稿の厚さ		52 ~ 127g/m <sup>2</sup> （45 ~ 110kg/ 連） ただし、A8 サイズは 127g/m <sup>2</sup> （110kg/ 連）だけです。	-
読み取り速度 （A4、横）(*2)	バイナリ（2 値白黒）	片面 20 枚 / 分、両面 40 面 / 分	150dpi/200dpi/300dpi
	グレースケール		
	カラー		
原稿搭載容量 (*3)		50 枚	厚さ 80g/m <sup>2</sup> （69kg/ 連）の原稿 原稿の総厚みが 5mm 以下
光学解像度		600dpi	-
出力解像度	バイナリ（2 値白黒）	50 ~ 600dpi、1200dpi	50 ~ 600dpi は 1dpi ごとに設定可 1200dpi はスキャナドライバで設定可
	グレースケール	50 ~ 600dpi、1200dpi	
	カラー	50 ~ 600dpi、1200dpi	
読み取り階調		各色 8 ビット	内部処理時は各色 10 ビット
出力モード（中間調）		ディザ / 誤差拡散	-

項目	仕様	備考
インターフェース	USB2.0/1.1 (*4)	B タイプ
その他の機能	ハードリアルタイム JPEG 圧縮	-

\*1：長尺帳票読み取り時は、給紙方向（長さ方向）最大 3048mm（120 インチ）まで読み取り可能です。

長さが 864mm を超える指定は、解像度を 200dpi 以下に指定する必要があります。

\*2：読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。

\*3：最大枚数は原稿の厚さによって変わります。「[2.2 原稿について](#)」（P.32）を参照してください。

\*4：USB 2.0 で接続する場合、USB ポートおよびハブが USB 2.0 に対応している必要があります。また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなります。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 付 .2 設置諸元

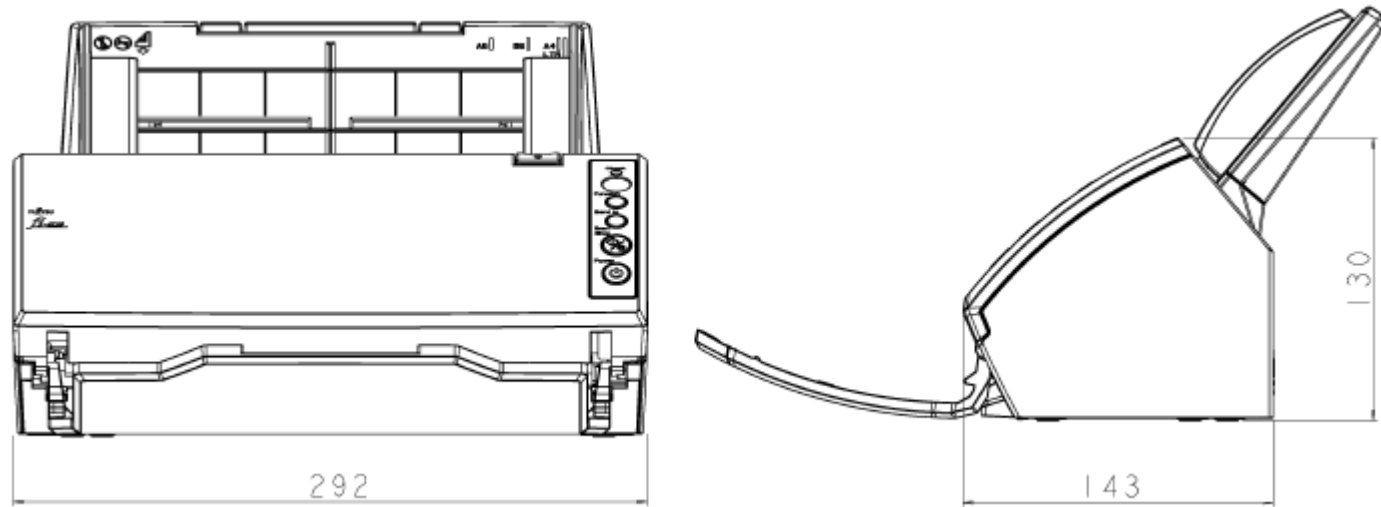
項目		仕様
外形寸法（幅×奥行き×高さ）(*1)		292 × 143 × 130mm
設置スペース（幅×奥行き×高さ）		493.5 × 850 × 380mm
質量		3.0kg
入力電源	電圧範囲	AC100V、±10%
	相	単相
	周波数範囲	50/60、±3Hz
消費電力	動作時	28.0W 以下
	省エネ時	5.36W 以下
	電源オフ時	1.0W 以下
操作環境	温度	動作時：5～35°C、非使用時：-20～60°C
	湿度	動作時：20～80%、非使用時：8～95%
発熱量	動作時	24.1Kcal/Hr 以下
	省エネ時	4.61Kcal/Hr 以下
	電源オフ時	0.86Kcal/Hr 以下
出荷時質量 (*2)		5.5kg
サポート期間		5年

\*1：奥行きは、ADF 給紙シュートおよびスタッカーを除きます。

\*2：梱包品などを含めた質量です。

## 付 .3 外形寸法

外形寸法は次のとおりです。



(単位 : mm)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集



## 付 .4 スキャナのオプション

品名	型名	説明
ScanAid	FI-611SA	スキャナに必要な消耗品・清掃用品（ローラー、クリーナーなど）をまとめたオプションです。ScanAid を購入することで、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。ScanAid の梱包品については、「 <a href="#">ScanAid の梱包品</a> 」(P.162) を参照してください。

スキャナのオプションのご購入については、「[株式会社 PFU PFU ダイレクト](#)」(P.169) にお問い合わせください。  
スキャナのオプションの詳細については、本製品を購入された販社 / 販売店または「[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」(P.169) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換


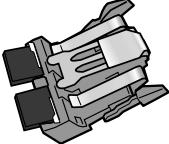

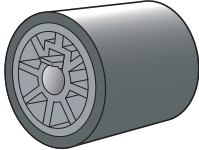
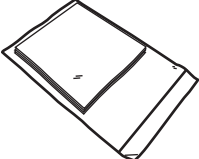
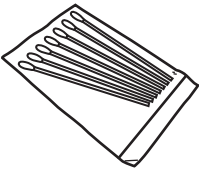
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

ScanAid の梱包品

清掃用品		消耗品	
品名	備考	品名	備考
クリーナ F1 (1本) 	容量 : 50ml	パッドユニット (2個) 	5万枚または1年ごとに交換
クリーニングペーパー (1パック) 	10枚入り / 1パック	ピックローラユニット (1個) 	10万枚または1年ごとに交換  ピックローラと記載している場合もある
クリーニングクロス (1パック) 	20枚入り / 1パック		
綿棒 (2パック) 	50本入り / 1パック		

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順

### 1 コンピュータを起動します。



Administrator の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。

### 2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。

### 3 「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」 → 「プログラムのアンインストール」の順にクリックします。

⇒ 「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。



ご使用のオペレーティングシステムによっては、画面表示が異なる場合があります。各オペレーティングシステムの表示に従ってください。

Windows XP の場合

- 「プログラムのアンインストール」  
→ 「プログラムの追加と削除」
- [アンインストール] ボタンまたは [アンインストールと変更] ボタン → [変更と削除] ボタン

### 4 削除するソフトウェアをクリックします。

- PaperStream IP (TWAIN) ドライバを削除する場合  
「PaperStream IP (TWAIN)」をクリックしてください。
- PaperStream IP (ISIS) ドライバを削除する場合  
「PaperStream IP (ISIS) Bundle」をクリックしてください。
- 2D Barcode for PaperStream を削除する場合  
「2D Barcode for PaperStream」をクリックしてください。
- PaperStream Capture を削除する場合  
「PaperStream Capture」をクリックしてください。

- ScanSnap Manager for fi Series を削除する場合  
「ScanSnap Manager for fi Series」をクリックしてください。
- マニュアルを削除する場合  
「fi Series manuals for fi-6110」をクリックしてください。
- TWAIN ドライバを削除する場合  
「Scanner Utility for Microsoft Windows」をクリックしてください。
- ScandAll PRO を削除する場合  
「Fujitsu ScandAll PRO」をクリックしてください。
- Scan to Microsoft SharePoint を削除する場合  
「Scan to Microsoft SharePoint」をクリックしてください。
- ABBYY FineReader for ScanSnap™ を削除する場合  
「ABBYY FineReader for ScanSnap(TM)」をクリックしてください。
- ISIS ドライバを削除する場合  
「ISIS Driver - Fujitsu fi-6110」をクリックしてください。
- Error Recovery Guide を削除する場合  
「Error Recovery Guide for fi-6110」をクリックしてください。
- Software Operation Panel を削除する場合  
「Software Operation Panel」をクリックしてください。
- FUJITSU Scanner USB HotFix を削除する場合  
「FUJITSU Scanner USB HotFix」をクリックしてください。
- Scanner Central Admin Agent を削除する場合  
「Scanner Central Admin Agent」をクリックしてください。
- fi Series Online Update を削除する場合  
「fi Series Online Update」をクリックしてください。



画像処理ソフトウェアオプション（体験版）のアンインストールについては、画像処理ソフトウェアオプションユーザーズガイドを参照してください。

- 5 [アンインストール] ボタンまたは [アンインストールと変更] ボタンをクリックします。
- 6 アンインストールの確認画面が表示される場合は、[OK] ボタンまたは [はい] ボタンをクリックします。  
⇒ アンインストールが実行されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## 付 .6 e- 文書法に適合した電子文書の作成

これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、e- 文書法(\*1)の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。

次に、本製品を使用して e- 文書法に適合した電子文書を作成する方法をまとめます。



読み取った画像の原本再現性および画質確認（文章の判読不能のないことなど）は、お客様の責任で実施してください。

\*1：e- 文書法とは、民間事業者などに対してこれまで紙による原本保存が義務付けられていた公的文書や書類について、スキャナなどにより電子化した画像を保存文書として容認するという法律です。正式名称は、「民間事業者等が行う書面保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。各種文書の電子的保存の実施にあたっては各関連省庁の定める一定の条件に基づいて紙文書を電子化し、管理する必要があります。

### スキャナドライバの読み取り設定について

本製品で e- 文書に適合した電子文書を作成する場合、適用を受ける各府省令および原本のタイプに従い、次の設定で読み取りを行うことをお勧めします。

適用を受ける府省令 またはガイドライン		経済産業省通達			財務省令（国税関係） 総務省令（地方税関係）			厚生労働省通達		
原本タイプ		カラー	白黒、中間濃度あり	白黒、文字 / 線画	カラー	白黒、中間濃度あり	白黒、文字 / 線画	カラー	白黒、中間濃度あり	白黒、文字 / 線画
推奨読み取り設定 (*1)	画像タイプ	24bitカラー	多値（グレースケール）	2値白黒	24bit カラー					
	ガンマ補正	ガンマパターン：カスタム カスタム指定：1.0		指定なし	ガンマパターン：カスタム カスタム指定：1.0					
	色補正	シャドウ：0 ハイライト：255		-	シャドウ：0 ハイライト：255					
	解像度	150dpi 以上 (*2)		200dpi 以上 (*2)	200dpi 以上 (*2)			300dpi 以上 (*2)		
画像の完全性		原稿の全領域が読み取られていること (*3)								
圧縮		JPEG 圧縮が使用可能 (*4)								

- \*1：これら設定は、2005年5月現在の各府省令およびガイドラインを参照しています。実運用にあたってはお客様の責任に基づいて最新の府省令およびガイドラインをご確認ください。設定方法は「第3章 読み取り条件の設定」(P.39)を参照してください。読み取ったあとは、各府省令に準拠した画像であることを確認してください。
- \*2：細かな文字が含まれる文章が判読できない場合は、解像度を上げて読み取ってください。
- \*3：読み取る原稿の情報をすべて画像に収めるためには、「自動用紙サイズ検出」機能があるスキャナについては、設定のうえ、読み取ることをお勧めします。「自動用紙サイズ検出」機能がないスキャナで読み取る場合や、割印などがある原稿の情報をすべて画像に収める場合は、「用紙サイズ」の設定を、読み取る原稿のサイズよりもひとまわり大きなサイズで読み取ることをお勧めします。読み取ったあとは、読み取り原稿の必要な情報が画像に収まっていることを確認し、各府省令に準拠した画像であることを確認してください。
- \*4：JPEG圧縮機能を使用する場合は、「高品質」設定で読み取ることをお勧めします。読み取り後に、出力されたデータが各府省令に準拠した画像であることを確認したうえで使用してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

# 修理・お問い合わせについて

## トラブル対処

原稿つまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- 「第8章 困ったときには」(P.102)
- サポート & サービスのホームページ  
(<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/>)

それでも解決しない場合は、本製品を購入された販社 / 販売店またはサービスセンター窓口の「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」まで連絡してください。連絡する際は、「8.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.124) を参考に必要事項を確認してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

## サポート&サービスのご案内

当社では、お客様に安心して FUJITSU イメージスキャナ「fi シリーズ」をお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強かにバックアップいたします。

### 契約サービス

事前に契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供いたします。

#### ● 定額定期保守サービス

年に1度予防保守を行います。万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにお伺いして保守修理作業を実施いたします。

#### ● 定額訪問修理サービス

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにお伺いして保守修理作業を実施いたします。

### スポットサービス

必要なときに、その都度ご利用いただけます。

#### ● 訪問修理（有償）(\*1)

本製品の故障発生時にご連絡いただくと、その後、サービスエンジニアが直接修理に伺います。

#### ● 持込/センドバック修理（有償）(\*2)

本製品の故障発生時にお客様の製品を当社の修理センターで修理します。

#### ● 付加サービス

センドバック修理には、次の付加サービスがあります。

(1) 引き取り修理サービス（有償）(\*1)

(2) 代替機サービス（有償）(\*1)

\*1：保証期間中の場合も有償となります。

\*2：保証期間内に正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。

詳細はホームページをご覧ください

<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/maintenance-service/index.html>



## サービスセンター窓口

お客様からの FUJITSU イメージスキャナ「fi シリーズ」全般に関する操作や故障のお問い合わせに迅速に対応いたします。

### 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター

お問い合わせ先

**E-mail : [scanners@pfu.fujitsu.com](mailto:scanners@pfu.fujitsu.com)**

**電話 : 050-3786-0811**

- ・上記の電話番号は、050 IP 電話サービスを利用しております。050 IP 電話については弊社のサポートホームページをご覧ください。上記の電話番号がご利用いただけない場合は、NTT 東日本または NTT 西日本の一般加入電話からおかけいただくか、045-523-1995 にお問い合わせください。
  - ・電話番号をお間違えにならないようお願いいたします。
  - ・トーン信号が出ない電話機でおかけの場合は、そのまましばらくお待ちください。オペレーターが応答します。
- お問い合わせの内容・発信者番号は、対応状況の確認と対応品質向上のため、録音・記録をさせていただいております。

**ホームページ : <http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/>**

受付時間 : 9:00 ~ 17:00

(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)



保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。  
保証期間については、保証書を参照してください。

本サービスは、予告なく変更される場合がございます。詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターまでお問い合わせください。

上記窓口では、ABBYY FineReader for ScanSnap™ に関するお問い合わせにはお答えできません。

ABBYY FineReader for ScanSnap™ に関するお問い合わせについては、次を参照してください。

ABBYY FineReader for ScanSnap™ ユーザーズガイド (\*1) の「技術サポート」の「ABBYY 支店」

\*1 : 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「ABBYY FineReader for ScanSnap(TM)」 → 「ユーザーズガイド」をクリックすると表示されます。  
なお、ABBYY FineReader for ScanSnap™ のバージョンによってメニューが異なります。



- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は製造中止後 5 年間です。

## サプライ用品の購入先

スキャナの清掃方法と消耗品の交換方法については、「[第 6 章 日常のお手入れ](#)」(P.88) および「[第 7 章 消耗品の交換](#)」(P.94) を参照してください。

清掃用品や消耗品などのお問い合わせやご購入については、本製品を購入された販社 / 販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

### 株式会社 PFU PFU ダイレクト

お問い合わせ先

**E-mail : [shop@pfu.fujitsu.com](mailto:shop@pfu.fujitsu.com)**

**電話 : 0120-14-4541**

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

**ホームページ : <http://www.pfu.fujitsu.com/direct/>**

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)

# 用語集

## あ行

明るさ  
インターフェース  
オーバースキャン

## か行

解像度  
画像処理  
画像反転  
片面読み取りモード  
カラーバランス  
ガンマ  
グレースケール  
原稿づまり  
光学センサー  
誤差拡散

## さ行

しきい値  
自動傾き / サイズ検出  
ジョブセパレータ  
白基準  
スムージング  
操作環境  
操作パネル  
装置異常  
ゾーン OCR

## た行

縦向き  
超音波センサー  
ディザ  
デフォルト設定  
テンポラリエラー  
ドライバ  
ドロップアウトカラー

## な行

ノイズ検出  
濃度

## は行

ハーフトーン  
パッチコード  
パッドユニット  
ピクセル  
ピック開始時間  
ピックローラユニット  
フィードローラー  
フィルター  
ブランクページスキップ

## ま行

マルチイメージ  
マルチフィード  
モアレ

## や行

横向き

## ら行

両面読み取りモード  
輪郭処理  
輪郭抽出  
レターサイズ

## 英数字

11 × 17 インチサイズ  
A3 キャリアシート  
A4 サイズ  
A5 サイズ  
A6 サイズ  
A7 サイズ  
A8 サイズ  
ADF（自動給紙機構）  
Canadian DOC  
CCD（電荷結合素子）センサー  
dpi（dots per inch）  
FCC  
iMFF（intelligent Multi Feed  
Function）  
ISIS  
OCR（光学式文字認識）  
TÜV  
TWAIN  
USB

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナにつ  
いて

原稿のセット  
方法

読み取り条件  
の設定

操作パネルの  
操作方法

いろいろな読  
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動  
作設定

付録

用語集

## あ行

### 明るさ

読み取った画像の明るさを指します。

### インターフェース

コンピュータとスキャナの通信に用いられる接続規格です。

### オーバースキャン

指定された原稿サイズより大きめに読み取りを行う機能です。

## か行

### 解像度

画像のクオリティ（精細さ）を示す基準です。1インチあたりのピクセル数によって表します。画像は、微小な点（ピクセル）の集まりです。同じ画像の場合、ピクセル数が多い方が、細部分まで表現できます。そのため、解像度が大きいほど、高精細な画像となります。

### 画像処理

設定したパラメーターを使用して、読み取った画像に処理を加えて出力します。

### 画像反転

画像の白と黒を入れ替える読み取り方式です。

### 片面読み取りモード

原稿の指定した面（表面または裏面）だけを読み取るモードです。（⇄両面読み取りモード）

### カラーバランス

画像中の色のバランスです。

### ガンマ

画像の明るさの変化を示す単位です。機器（スキャナ、ディスプレイなど）への入力電圧と画像の明るさの関数として与えられます。ガンマレートが1以上に設定されている場合、画像は明るくなり、1以下の場合には逆に暗くなります。原稿そのものの明るさを再現する場合は、通常ガンマレートを1に設定します。

## グレースケール

白黒を 256 階調（濃淡）で表現します。写真などの画像を読み取るのに適しています。

## 原稿づまり

搬送路内で原稿がつまった場合または紙滑りにより給紙が中断された場合に表示されるエラーです。

## 光学センサー

光の透過量の変化を検知するセンサーです。原稿の通過を監視することにより、マルチフィード、原稿づまりなどの搬送異常を検知します。

## 誤差拡散

白黒 2 値を使用した、ハーフトーン（擬似グレースケール）画像処理です。あるピクセル（注目画素）と隣接したピクセルの濃度を合計し、隣接ピクセルへの関係に基づいて高濃度順に黒いピクセルを再配置し、読み取り画像と出力画像間の格差を最小限にできます。注目画素のエラーを周辺画素に分散させることで、隣接ピクセルの濃度データを決定し 2 値化します。新聞の写真など点により構成される画像のモアレを抑え、グレースケールのグラデーションを再現します。

## さ行

### しきい値

ある色を黒または白と判定するために用いられる値です。グレースケールのグラデーションを持つ画像を読み取る際は、設定が必要となります。設定したしきい値に従って、各ピクセルは黒または白に変換されます。

### 自動傾き / サイズ検出

後端検出：

ADF 読み取り時に、原稿の後端を検出して、原稿長さ分の読み取りを行います。

自動用紙サイズ検出：

原稿の形状を検出し、読み取った原稿を同じサイズで出力します。

白背景：

オーバースキャン読み取りをするときに指定します。

[はじめに](#)[スキャナについて](#)[原稿のセット方法](#)[読み取り条件の設定](#)[操作パネルの操作方法](#)[いろいろな読み取り方](#)[日常のお手入れ](#)[消耗品の交換](#)[困ったときには](#)[スキャナの動作設定](#)[付録](#)[用語集](#)

## ジョブセパレータ

原稿の間に挿入し、ジョブの区切りとして認識させる場合に用いるシートです。  
ジョブセパレータには次のようなものがあります。

パッチコードを使用したジョブセパレータ：  
パッチコードが印刷された用紙です。

バーコードを使用したジョブセパレータ：  
任意の位置にバーコードが印刷された用紙です。

## 白基準

白色の基準となるシートです。  
スキャナは、このシートの色を白として、その他の部分の明るさを調整します。

## スムージング

斜めの線やカーブ上の凹凸を一定にし、ギザギザを除去する処理。OCR アプリケーションなどに用います。

## 操作環境

スキャナを正常に動作 / 保管するために必要な条件（温度、湿度など）です。

## 操作パネル

表示部およびボタンから構成されるパネルです。機能の設定および変更など、スキャナの操作に使用します。

## 装置異常

サービスエンジニアによる復旧作業が必要なエラーです。

## ゾーン OCR

読み取った原稿の指定した領域に対して、文字認識を行う機能です。

## た行

---

## 縦向き

原稿の長辺を給紙方向と平行にセットする方法です。  
原稿 / 画像が縦にセット / 表示されます。

[はじめに](#)[スキャナについて](#)[原稿のセット方法](#)[読み取り条件の設定](#)[操作パネルの操作方法](#)[いろいろな読み取り方](#)[日常のお手入れ](#)[消耗品の交換](#)[困ったときには](#)[スキャナの動作設定](#)[付録](#)[用語集](#)

## 超音波センサー

超音波によりマルチフィードを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、マルチフィードを検出します。

## ディザ

グレースケールの濃度を再現するよう点を配置する処理です。事前に点の配置パターンを設定しておき、グレースケールの濃度を再現します。グレースケールを多値で再現する方式に比べ、必要とするメモリ容量が少量となります。

## デフォルト設定

(ハードウェアの場合)

工場出荷時に設定されている各種設定値です。

(ソフトウェアの場合)

インストール直後に設定されている各種設定値です。

## テンポラリエラー

ユーザーによる修復が可能なエラーです。

## ドライバ

コンピュータに接続されたハードウェアを、オペレーティングシステム上で制御するためのプログラムです。

## ドロップアウトカラー

指定した色成分を、読み取った画像から取り除いて出力します。

## な行

---

## ノイズ検出

白い（黒い）領域に黒い（白い）点として表示される孤立点を除去し、画像の質を向上させる機能です。

## 濃度

表示色の深さを指します。

## は行

### ハーフトーン

ドットパターンによって、濃淡を2値白黒で再現します。写真などの画像を2値白黒で読み取る際に有効です。

### パッチコード

スキャナで読み取って、ジョブや画像タイプの区切りとして認識させるための、専用コードです。

### パッドユニット

ADF 内部に搬送する前に、原稿同士を分離する部品です。ピックアップユニットに原稿を押し当てる部分はゴム製部材となっています。

### ピクセル

読み取った画像を構成する点です。

### ピック開始時間

原稿をセットしてから、ホッパエンプティセンサー上を通過してピックが開始されるまでの時間です。

### ピックアップユニット

ADF 給紙シュートの原稿から1ページだけ分離させ、ADF 内に繰り込むローラーです。

### フィードローラー

ADF 内で原稿を搬送するローラーです。

### フィルター

読み取った画像に対して、フィルター処理を実行する機能です。  
フィルターには次のようなものがあります。

デジタルエンドーサ :

読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加する機能です。

縁消し :

読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶす機能です。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

## ブランクページスキップ

原稿に含まれるブランクページ（白紙または黒紙）を検出し、自動的に削除して読み取る機能です。

## ま行

---

### マルチイメージ

一度の読み取りで、カラー/グレースケール画像と、2値白黒画像の両方を出力（マルチイメージ出力）する機能です。

### マルチフィード

一度に2枚以上の原稿が重なってADFに送り込まれてしまう現象のことです。長さによる違いを検出した場合も「マルチフィード」と呼びます。

### モアレ

原稿の角度設定が不適切なために生じる、画像上の干渉縞です。

## や行

---

### 横向き

原稿の短辺を給紙方向と平行にセットする方法です。

## ら行

---

### 両面読み取りモード

原稿の両面を一度に読み取るモードです。（⇔片面読み取りモード）

### 輪郭処理

黒い部分に隣接した、白以外の明るい色の濃度を減少させる機能です。この機能の値を高く設定すると、点状のノイズの除去や、画像をソフトにできます。

### 輪郭抽出

白と黒の各領域の境界線をトレースし、輪郭として抽出する機能です。



## レターサイズ

米国などにおける定型原稿サイズです。8.5×11 インチです。

## 英数字

### 11×17 インチサイズ

米国などにおける定型原稿サイズです。ダブルレターサイズです。

### A3 キャリアシート

A4 サイズより大きい原稿を読み取るときに使用するクリアファイルです。

### A4 サイズ

210×297mm の定型原稿サイズです。

### A5 サイズ

148×210mm の定型原稿サイズです。

### A6 サイズ

105×148mm の定型原稿サイズです。

### A7 サイズ

74×105mm の定型原稿サイズです。

### A8 サイズ

52×74mm の定型原稿サイズです。

### ADF（自動給紙機構）

ADF（=Automatic Document Feeder）

複数枚の原稿を、自動的に1枚ずつ搬送しながら読み取るための搬送機構です。

**Canadian DOC**

カナダ産業省（Industry Canada, a department of the Canadian government）の制定する規格です。デジタル機器が発生する電波・ノイズに対して技術水準を定めています。

**CCD（電荷結合素子）センサー**

原稿からの反射光を感知し、デジタル化（電子化）するセンサーです。スキャナ、カメラなどのデバイスで、目の役割を果たします。

**dpi（dots per inch）**

1インチあたりのドット数です。スキャナやプリンターの解像度の単位として用いられます。dpiの値が高いほど、解像度は高くなります。

**FCC**

独立行政委員会（Independent United States government agency）の1つである連邦通信委員会（Federal Communications Commission）の略称です。ラジオ、テレビ、無線、有線、衛星などによる通信を管理しています。FCC規格第15章の規格は、通信機器が発生する有害な電磁波の干渉を防ぐもので、こうした機器の認定条件を定めています。また低電力送信機器の認定条件を定めると同時に、ライセンスなしでの認定機器の操作を認証します。

**iMFF（intelligent Multi Feed Function）**

マルチフィードを検出する際に、一度検出した重なりパターンをスキャナに記憶させ、マルチフィード対象から除外する機能です。

例えば、原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼られている場合、その貼り付け位置をスキャナに認識させ、その部分のマルチフィード検出をしないように設定できます。

**ISIS**

1990年に米国 Pixel Translations（現：Captiva, a division of EMC Corporation）がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。ISIS規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

**OCR（光学式文字認識）**

原稿の文字を認識し、操作可能なテキストデータに変換する機器および技術です。原稿に投光し、反射光の差異を文字の形として認識します。

## TÜV

セキュリティ、ユーザービリティ、環境問題関連の規格に対する製品の適合性を管理する機関です。

## TWAIN

Technology Without Any Interesting Name の略です。TWAIN Working Group がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。TWAIN 規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

## USB

Universal Serial Bus の略称です。キーボード、スキャナなどの接続に用いられるインターフェースの規格です。最大 127 機までの機器の接続が可能です。また機器の電源を切断せずに、接続・取り外しが可能となっています。

USB 2.0 でのデータ転送速度は、ロースピードモードで 1.5Mbps、フルスピードモードで 12Mbps、ハイスピードモードで最大 480Mbps となっています。

USB 1.1 でのデータ転送速度は、ロースピードモードで 1.5Mbps、フルスピードモードで最大 12Mbps となっています。

# 索引

## A

A3 キャリアシートの購入 .....	101
A3 キャリアシートの清掃 .....	93
ADF 給紙シュートの設定 .....	21
ADF の開け方 .....	20
ADF の閉じ方 .....	20

## E

e- 文書法に適合した電子文書の作成 .....	165
--------------------------	-----

## I

ISIS ドライバ .....	44
-----------------	----

## S

[Scan/Stop] ボタン .....	81
ScanAid .....	161
[Send to] ボタン .....	81
Software Operation Panel の起動 .....	128
Software Operation Panel のパスワード設定 .....	129

## T

TWAIN ドライバ .....	40
------------------	----

## あ

アンインストール手順 .....	163
------------------	-----

## い

いろいろな読み取り方 .....	53
------------------	----

## お

オプション .....	161
-------------	-----

## か

外形寸法 .....	160
各部の名称と働き .....	16
画像読み取り用アプリケーションの紹介 .....	27

## き

基本仕様 .....	157
------------	-----

## け

原稿づまりが発生したときは .....	103
原稿について .....	32
原稿のセット .....	29
原稿のセット方法 .....	28, 30

## こ

困ったときには .....	102, 107
混載条件 .....	36

## さ

サービスセンターに連絡する前に .....	124
-----------------------	-----

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

<b>し</b>			
修理・お問い合わせについて.....	167		
種類やサイズが異なる原稿の読み取り.....	55		
省電力モード.....	23		
消耗品.....	95		
消耗品の交換.....	94		
消耗品の交換周期.....	95		
<b>す</b>			
スキャナ外部の清掃.....	90		
スキャナ内部の清掃.....	91		
スキャナについて.....	14		
スキャナの動作設定.....	127		
スキャナの特長.....	15		
スタッカーの設定.....	22		
<b>せ</b>			
清掃が必要な場所.....	89		
清掃用品.....	89		
清掃（A3 キャリアシート）.....	93		
清掃（スキャナ外部）.....	90		
清掃（スキャナ内部）.....	91		
設置諸元.....	159		
設定できる項目.....	135		
<b>そ</b>			
操作パネル.....	51		
操作パネルのエラー表示.....	104		
操作パネルの操作方法.....	50		
装置ラベル.....	126		
<b>た</b>			
待機時間に関する設定.....	154		
<b>て</b>			
電源 SW 制御.....	155		
電源投入 / 切断に関する設定.....	155		
電源の切断.....	19		
電源の投入.....	19		
<b>と</b>			
特長.....	15		
<b>に</b>			
日常のお手入れ.....	88		
<b>は</b>			
はじめに.....	3		
パッドユニットの交換.....	96		
<b>ひ</b>			
ピックアップユニットの交換.....	97		
<b>ふ</b>			
縁消し.....	145		
<b>ほ</b>			
本書の使い方.....	2		
本書をお読みにする前に.....	5		
<b>ま</b>			
枚数カウンタに関する設定.....	140		
マルチフィード検出に関する設定.....	148		

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

よ

読み取り条件の設定 .....	39
読み取り方一覧 .....	54
読み取り方の変更 .....	65
読み取り後の動作や処理の設定 .....	71
読み取り時のスキャナ動作の変更 .....	81
読み取り操作の流れ .....	24
読み取りに関する設定 .....	143

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

操作パネルの操作方法

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

---

fi-6110 イメージスキャナ

オペレーターガイド

P3PC-3012-05Z0

発行日 2014 年 12 月

発行責任 株式会社 PFU

---

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責を負いません。
- 無断転載を禁じます。